



Level



Pressure



Flow



Temperature



Liquid  
Analysis



Registration



Systems  
Components



Services



Solutions

## 機能説明書

# タンクビジョン NXA820/NXA821/NXA822 在槽管理



※ 本機器を安全にご使用いただくために

● 取扱説明書に対する注意

- 1) 取扱説明書は、最終ユーザまでお届けいただきますようお願いいたします。
- 2) 本製品の操作は、取扱説明書をよく読んで内容を理解した後に行なって下さい。
- 3) 取扱説明書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合するものではありません。
- 4) 取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載、複製することは固くお断りいたします。
- 5) 取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 6) 取扱説明書の内容については、細心の注意を払って作成しておりますが、もし不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら当社営業所・サービスまたはお買い求めの代理店までご連絡下さい。

● 本製品の保護・安全および改善に関する注意

- 1) 当該製品、および当該製品で制御するシステムの保護・安全のため当該製品を取り扱う際には、取扱説明書の安全に関する指示事項に従って下さい。なお、これらの指示事項に反する扱いをされた場合は、当社は安全性の保証をいたしません。

● 電源が必要な製品について

1) 電源を使用している場合

機器の電源電圧が、供給電源電圧に合っているか必ず確認した上で本機器の電源をいれて下さい。

2) 危険地区で使用する場合

「工場電気設備防爆指針」に示される爆発性ガス・蒸気の発生する危険雰囲気でも使用できる機器がございます（0 種場所、1 種場所および 2 種場所に設置）。設置する場所に応じて、本質安全防爆構造・耐圧防爆構造あるいは特殊防爆構造の機器を選定して頂きご使用下さい。

これらの機器は安全性を確認するため、取付・配線・配管など十分な注意が必要です。また保守や修理には安全のために制限が加えられております。

3) 外部接続が必要な場合

保護接地を確実にしてから、測定する対象や外部制御回路への接続を行って下さい。

● 製品の返却に関する注意

製品を返却される場合、いかなる事情でも弊社従業員と技術員および取り扱いに関わるすべての関係者の健康と安全に対する危険性を回避するために、適正な洗浄を行なってください。

返却時には必ず添付「安全 / 洗浄確認依頼書」に記入していただき、この依頼書と製品を必ず一緒に送ってください。

必要事項を記入して頂かない限り、ご依頼をお受けすることができません。

また返却の際、弊社従業員あるいは技術員と必ず事前に打ち合わせの上、返却をして下さい。

安全 / 洗浄確認依頼書

物品を受け取る弊社従業員と技術員および、取扱いに関わるすべての関係者の健康と安全に対する危険性を回避するために、適正な洗浄を行なって頂くと共に被測定物についての的確な情報を記載下さるようお願い申し上げます。

For the health and safety of all personnels related with returned instruments, please proceed proper cleaning and give the precise information of the matter.

会社名 : \_\_\_\_\_ 担当者名 : \_\_\_\_\_  
 (Company:) (Person to contact:)

住所 : \_\_\_\_\_  
 (Address:)

電話 : \_\_\_\_\_ F A X : \_\_\_\_\_  
 (Tel:) (Fax:)

返品理由 / Process data

型式 : \_\_\_\_\_ シリアルナンバー : \_\_\_\_\_  
 (Type of instruments:) (Serial number:)

<input type="checkbox"/> 修理 / Repair	<input type="checkbox"/> 校正 / Calibration	<input type="checkbox"/> 交換 / Exchange
<input type="checkbox"/> 返品 / Return	<input type="checkbox"/> その他 / Other _____	

プロセスデータ / Process data

被測定物 : \_\_\_\_\_ 使用洗浄液名 : \_\_\_\_\_  
 (Process matter:) (Cleansed with : )

特性 / Properties :

<input type="checkbox"/>	毒性 / Toxic	<input type="checkbox"/>	水と反応 / Reacts with water
<input type="checkbox"/>	腐食性 / Corrosive	<input type="checkbox"/>	水溶性 / Soluble in water
<input type="checkbox"/>	爆発性 / Explosive	<input type="checkbox"/>	判別不能 / Unknown
<input type="checkbox"/>	生物学的危険性 / Biologically dangerous		
<input type="checkbox"/>	放射性 / Radioactive		

安全 / 洗浄確認依頼書をすべて記入して頂かない限り、ご依頼をお受けすることができません。  
 The order can not be handled without the completed safety sheet.

私（達）は、返送した製品に毒性（酸性、アルカリ性溶液、触媒体等）またはすべての危険性がないことをここに承認します。放射性汚染機器は放射線障害防止法に基づき、お送りになる前に洗浄されていなければなりません。  
 We herewith confirm, that the returned instruments are free of any dangerous or poisonous materials (acids, alkaline solutions, solvents) . Radioactive contaminated instruments must be decontaminated according to the radiological safety regulations prior to shipment.

日付 / date : \_\_\_\_\_ ご署名 / signature : \_\_\_\_\_

本依頼書は製品と一緒に送り下さい。

# 目次

<b>1</b>	<b>本書について</b> .....	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>「警報グループ」メニュー</b> .....	<b>84</b>
1.1	本書の目的 .....	5	9.1	警報グループの設定 .....	84
1.2	対象者 .....	5	9.2	警報グループ ステータスの表示 .....	86
1.3	表記規則 .....	5	<b>10</b>	<b>「タンクグループ」メニュー</b> .....	<b>88</b>
<b>2</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>6</b>	10.1	スタティック タンク グループ .....	89
2.1	タンクビジョン システム について .....	6	10.2	ダイナミック タンク グループ .....	90
2.2	タンクビジョン システム へのログイン .....	8	10.3	リアルタイム タンク グループ 詳細の表示 .....	91
2.3	タンクビジョン のユーザー インターフェイス .....	9	<b>11</b>	<b>「移送」メニュー</b> .....	<b>96</b>
2.4	タンクビジョン システム の終了 .....	12	11.1	製品移送グループ 詳細のグラフィック形式での表示 .....	98
<b>3</b>	<b>タンクビジョン 操作画面</b> .....	<b>13</b>	11.2	製品移送グループ 詳細のテーブル形式での表示 .....	98
<b>4</b>	<b>「タンク」メニュー - タンク詳細</b> .....	<b>16</b>	<b>12</b>	<b>「システム」メニュー</b> .....	<b>99</b>
4.1	全般詳細 .....	17	12.1	カスタム設定 .....	101
4.2	容量詳細 .....	19	12.2	ネットワーク設定 .....	110
4.3	外壁詳細 .....	24	12.3	環境設定 .....	113
4.4	浮屋根 .....	26	12.4	トレンド グローバル設定 .....	114
4.5	流量演算 .....	28	12.5	フィールド スキャン - MODBUS EIA485 .....	115
4.6	水尺 .....	30	12.6	フィールド スキャン設定 - Sakura V1 .....	119
4.7	在槽値演算 .....	32	12.7	保税タンク 封印 .....	124
4.8	タンクを校正済みステータスにする .....	33	12.8	タンク スキャナ ユニット およびタンク 割当て .....	125
<b>5</b>	<b>「タンク」メニュー - 警報設定</b> .....	<b>35</b>	12.9	ホストリンク .....	126
5.1	測定データ 警報設定 .....	36	12.10	アーカイブ設定 .....	140
5.2	演算データ 警報設定 .....	38	12.11	ダウンロード .....	141
<b>6</b>	<b>「タンク」メニュー - ゲージ コマンド</b> .....	<b>40</b>	12.12	オペレータ ワークステーション 設定 .....	144
<b>7</b>	<b>「タンク詳細」画面</b> .....	<b>42</b>	12.13	システム 診断 .....	146
7.1	「全般詳細」タブ .....	43	12.14	アップロード .....	147
7.2	「マニュアル データ」タブ .....	44	<b>13</b>	<b>「レポート」メニュー</b> .....	<b>154</b>
7.3	「ゲージ コマンド」タブ .....	46	<b>14</b>	<b>「ユーザー」メニュー</b> .....	<b>155</b>
7.4	「リアルタイム トренд」タブ .....	50	14.1	ユーザー 管理 .....	155
7.5	「ヒストリカル トренд」タブ .....	53	14.2	ユーザー アクセス権限の管理 .....	159
7.6	「製品移送」タブ .....	55	<b>15</b>	<b>警報とイベント パネル</b> .....	<b>161</b>
7.7	「タンク ステータス」タブ .....	63	15.1	警報とイベント パネルの概要 .....	161
7.8	「製品割当て」タブ .....	66	15.2	警報タイプ .....	164
7.9	「製品移送レポート」タブ .....	67	15.3	警報色機構 .....	165
7.10	「タンク演算」タブ .....	69	15.4	警報の確認 .....	166
<b>8</b>	<b>「製品」メニュー</b> .....	<b>71</b>	<b>16</b>	<b>別のグローバル設定</b> .....	<b>167</b>
8.1	製品の追加、変更、削除 .....	71			
8.2	全般 .....	74			
8.3	容量換算係数 (VCF) .....	75			
8.4	基準密度演算 (RDC) .....	76			
8.5	沈殿物と水 .....	77			
8.6	質量と重量 .....	78			
8.7	詳細設定 (保税タンク) .....	80			
8.8	製品タンク グループ の表示 .....	81			

## 1 本書について

### 1.1 本書の目的

本書はタンクビジョン システムの日常的な使用に必要なものであり、その設定や使用をサポートするものです。

### 1.2 対象者

本書はタンクビジョン システムのユーザーを対象としており、次のような方が含まれます。

- ・ タンク ビジョンのオペレータ
- ・ システム管理者

### 1.3 表記規則

表記	意味
斜体	別の説明書や文書への参照
「」（かぎカッコ）	画面に表示されるリンク
大文字	キーボードのキーまたはダイアログ ボックス / 子ウィンドウのボタン
太字	メニュー、メニュー オプション、ラジオ ボタン名、チェック ボックス、ドロップダウン リスト、ダイアログ ボックス名、ウィンドウ名
Type	入力が必要な情報

## 2 はじめに

この章では以下の項目について説明します。

- ・ タンクビジョン システム
- ・ タンクビジョン システムへのログイン
- ・ タンクビジョンのユーザー インターフェイス
- ・ タンクビジョン システムの終了

### 2.1 タンクビジョン システム について

タンクビジョンはタンク在槽管理システムです。幅広いエンジニアリング サービス、インテリジェントなフィールド装置設定、標準化されたバス テクノロジーやトレンド設定ソフトウェアソリューションに基づき、貯蔵や移送のプロセスを最適化するために開発されたウェブベースのシステムであり、在槽およびプロセス管理が含まれます。このシステムは、タンク在槽データをエンド ユーザーに提供するものです。タンク在槽管理システムは主に石油、ガス、石油化学製品といった産業分野で使用されます。

タンクビジョンにより在槽データへのワールドワイドなアクセスが可能になります。これにより、貯蔵エリアをさらに最適化し、供給メーカーと最終顧客間のロジスティクスを改善できます。また、タンクビジョンでは在槽データをアーカイブしてヒストリカル レポートを提供します。また、製品の移送を管理して製品移送レポートも作成します。

#### 2.1.1 タンクビジョンの特長

タンクビジョンはイントラネットを経由したウェブベースのシステムで、使いやすい GUI ベースの多言語インターフェイスが装備されています。システムの設定や表示にウェブ ブラウザ以外必要ありません。

レベル、温度、圧力、密度などの測定データはフィールド ゲージから取得されます。その後、製品容量、質量などのタンク在槽データが演算されます。タンクビジョンの機能には次のようなものがあります。

- ・ 測定データの提供
- ・ 在槽値演算の実行
- ・ 演算した在槽データの提供
- ・ リアルタイムトレンドとヒストリカルトレンドの表示
- ・ 在槽レポートの表示と印刷
- ・ 警報とイベント通知の表示

また、システムとして次のような特長を備えています。

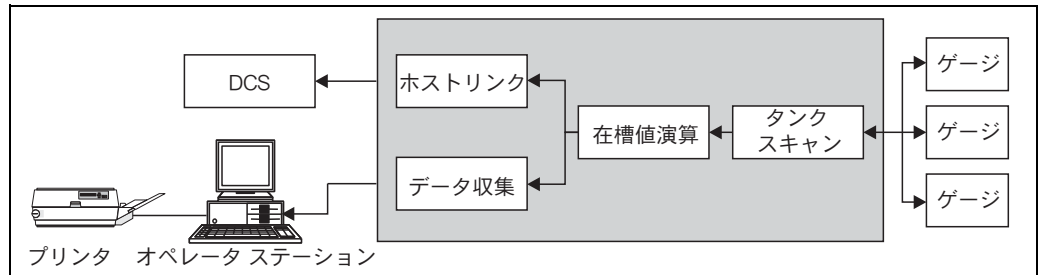
- ・ ウェブベースのインターフェイス
- ・ 最小限の事前設定
- ・ 追加ソフトウェアのインストール不要
- ・ あらゆるタイプの設置に適合する多彩な機能
- ・ 高い拡張性
- ・ 標準ネットワーク プロトコルを介したインターフェイス
- ・ カスタマイズ可能なウェブ ページ
- ・ 保税タンク準拠（未決定）
- ・ 在槽および製品移送レポート
- ・ 多言語ユーザー インターフェイス
- ・ 二重化（予定）

### 2.1.2 システム設計

タンクビジョン システムは全体として以下の 4 つのモジュールで構成されています。

- ・ タンク スキャン
- ・ 在槽値演算
- ・ データ収集
- ・ ホストリンク

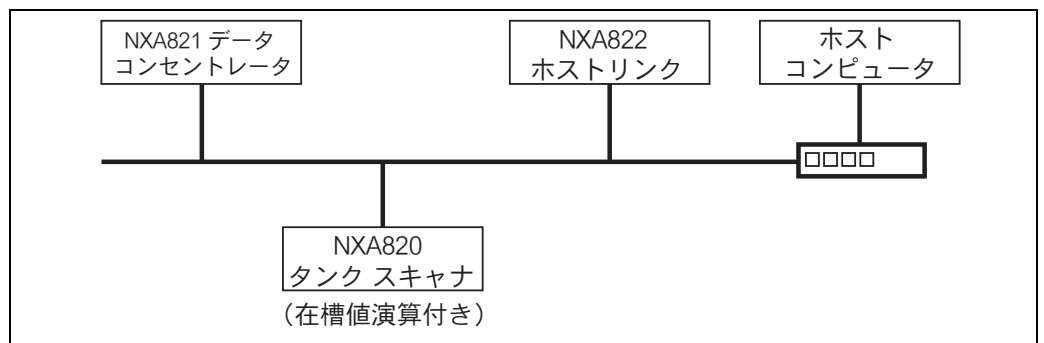
以下の図に、タンクビジョン システムの概要を示します。



モジュール	説明
タンク スキャン	フィールド ゲージから測定データを取得し、在槽値演算の入力値として提供します。
在槽値演算	測定データと製品設定に基づいて在槽データを演算します。
データ収集	ヒストリカルトレンドと在槽レポート生成用に在槽データを保存します。
ホストリンク	システムから在槽データを読み込むための、インターフェイスを分散制御システム (DCS) ホストへの提供します。

### 2.1.3 システム コンポーネント

タンクビジョン システムは物理的に複数のユニットに分かれており、各ユニットは特定の機能を受け持っています。これらのユニットはすべてイーサネット リンクで全体に接続されています。以下の図に、タンクビジョン システムのアーキテクチャを示します。



ユニット	説明
NXA820 タンク スキャナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タンクに設定されたゲージから測定データを取得します。</li> <li>・ 別のタンクビジョン ユニットへ測定データを提供するとともに、エンド ユーザーにわかるよう視覚的に表示します。</li> <li>・ 測定データをリアルタイムトレンド表示します。</li> <li>・ 在槽値演算を含みます。</li> </ul>
NXA821 データ コンセントレータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種タンク スキャナ NXA820 で測定および演算された在槽データを集約して、一定期間保存します。</li> <li>・ 在槽レポートおよびヒストリカルトレンドを生成します。</li> </ul>
NXA822 ホストリンク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DCS ホストへの MODBUS リンク (シリアル MODBUS または MODBUS TCP/IP) を搭載しています。</li> <li>・ タンク ファーム操作のモニタおよび制御用の MODBUS 対応 DCS ソフトウェアを使用可能にします。</li> </ul>

## 2.2 タンクビジョン システムへのログイン

タンクビジョンのログイン方法

1. ウェブブラウザでタンクビジョン ユニット<sup>1</sup>のタンクビジョン URL または IP アドレスを入力し、キーボードの「ENTER」キーを押します。次のようなタンクビジョンのログイン画面が表示されます。



フィールド	説明
ユーザー ID	適切なユーザー ログイン名を入力します。 <sup>a</sup> ユーザー ログイン名は英数字で、大文字と小文字が区別されます。
パスワード	適切なパスワードを入力します。 <sup>1</sup> ユーザー パスワードは英数字で、大文字と小文字が区別されます。 文字数は 3～8 文字です。
オプション	「オプション」ボタンをクリックすると、接続オプションが表示されます。 使用可能なオプションは「ローカル」と「リモート」です。 初期設定では「ローカル」オプションが選択されています。このオプションでは、ローカル エリア ネットワーク (LAN) 内のコンピュータからタンクビジョンシステムにログインできます。 「リモート」オプションでは、ネットワーク外 (インターネット) のタンクビジョンシステムにログインできます。

- a. ユーザー ID (=ユーザー ログイン名) とパスワードは、システムにユーザーを追加する際にシステム管理者が定義します (154 ページ参照)。
2. 該当するフィールドに適切な情報を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。  
入力したユーザー ID またはパスワードを訂正する場合は「リセット」ボタンをクリックします。

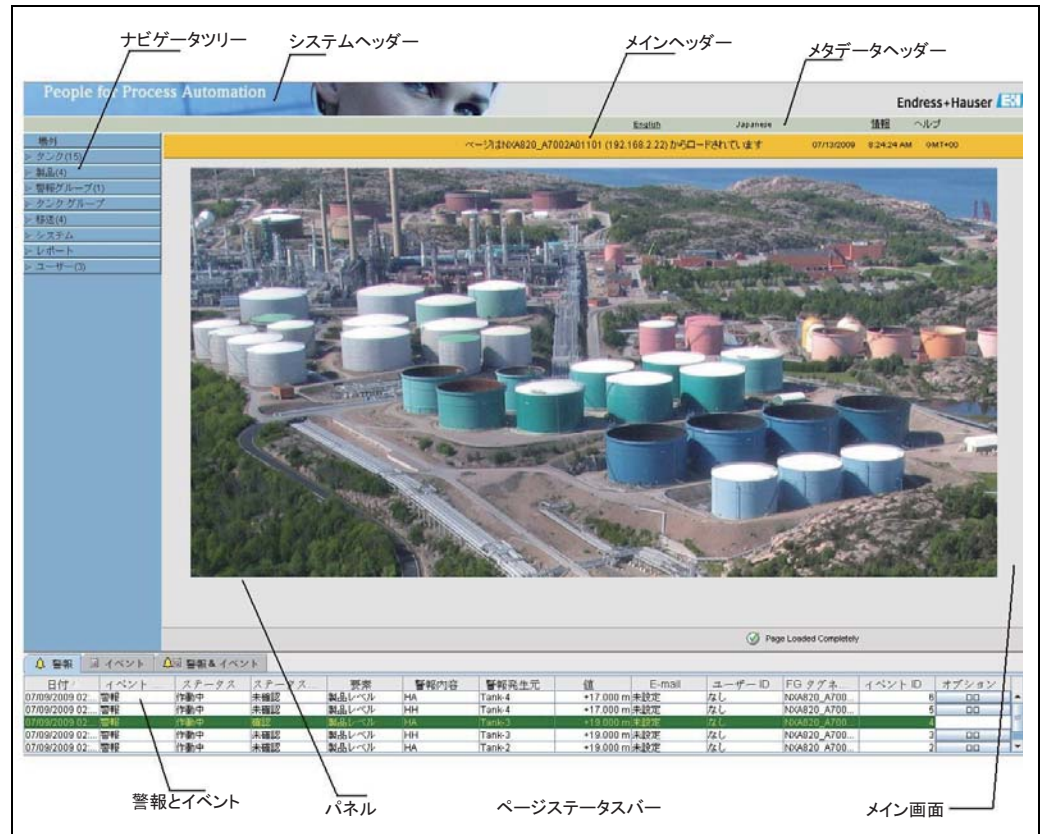
1. タンクビジョン ユニートを初めて設定する場合は、サービス LAN ポートを使用してください。IP アドレスは 192.168.1.1 です。ユニットがすでにネットワークにセットアップされている場合は、システム IP アドレスを使用して LAN 経由でアクセスできます。システム IP アドレスはタンクビジョン ユニットのネットワーク設定で定義されています (システム / グローバル設定 / ネットワーク設定 / プライマリ IP アドレス)。





### 2.3 タンクビジョンのユーザー インターフェイス

タンクビジョンには、システム内を素早くナビゲートできる直感的なユーザー インターフェイスが搭載されています。これ以降のセクションで、タンクビジョンのユーザー インターフェイスのさまざまな要素や使用法について説明します。

#### 2.3.1 ホーム ページ



フィールド	説明
システム ヘッダー	会社のロゴまたは画像が表示されます。
ナビゲーション ツリー	システムの各種機能やグループに対応するヘッダー バーが表示されます。詳細については、「ナビゲーション ツリー - 詳細説明」(9 ページ) を参照してください。
メタデータ ヘッダー	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザー名とユーザー タイプ</li> <li>・ 言語オプションのリンク</li> <li>・ ヘルプのリンク</li> <li>・ ログアウト オプション</li> </ul>
メイン ヘッダー	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイト名、タンク名、タンクビジョン タグネーム、製品名 (ヘッダー下のメイン画面に表示されているものによって異なります)</li> <li>・ システムの日付と時刻</li> </ul> メイン ヘッダーの背景色は、システムにログインしたユーザーのアクセス権限に応じて異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 灰色：設定の権限がなく、表示できるのは非リアルタイム データのみです。</li> <li>・ オレンジ：設定の権限があり、リアルタイム データを表示することが可能です。</li> </ul>
メイン画面	設定用に選択した画面や操作情報を確認するための画面が表示されます。詳細については「メイン画面セクション - 編集データ エリアの色」(11 ページ) を参照してください。

フィールド	説明
警報とイベント パネル	警報とイベント パネルには、警報とイベントに関するリアルタイム情報が表示されます。 詳細については「警報とイベント パネル セクション - 説明」(11 ページ) を参照してください。
ページ ステータス バー	ページ ステータス バーには、メイン画面セクションでアクティブになっている内容に関する情報が表示されます。  ページ情報  ページ読み込み完了

## ナビゲーション ツリー - 詳細説明

ナビゲーション ツリーは画面左側に表示されます。通常は、ナビゲーション ツリーでタンクまでナビゲートできます。ナビゲーション ツリーを展開すると、以下のようになります。



フィールド	説明
ヘッダー	ヘッダーのテキスト部分または矢印をクリックすると、ツリーをブランチに展開したり折りたたんだりできます。 ヘッダー名には、動的に追加される数が表示され、この数はそれぞれ以下を意味しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タンク：タンクビジョン ユニットに割り当てられているタンク数</li> <li>・ 製品：システムで定義されている製品数</li> <li>・ 警報グループ：システムで定義されている警報グループ数</li> <li>・ タンクグループ：システムで定義されているタンクグループ数</li> <li>・ 移送：システムで定義されている製品移送工程数（待機中、実行中、完了、中止）</li> <li>・ ユーザー：システムで定義されているユーザー数</li> </ul> ヘッダーが展開されている場合、テキストは黒の太字で表示されます。
折りたたみ矢印	このタイプの矢印は、ヘッダーが折りたたまれた状態のときに表示されます。折りたたみ矢印をクリックすると、ヘッダーが展開されます。
展開矢印	このタイプの矢印は、ヘッダーが展開された状態のときに表示されます。展開矢印をクリックすると、ヘッダーが折りたたまれます。
ノード	ノードをクリックすると、メイン画面セクションに操作情報が表示されます。選択されたノードは赤色になります。 ノード名にはグループ内のタンク番号が追加されます。

### メイン画面セクション - 編集データ エリアの色

アクセス権限に応じて、表示される編集データ エリアの色は異なります。

1. ユーザーにアクセス権限がある場合は、編集データ エリアの行背景色が交互に薄灰色と薄黄色になります。設定を保存するための「送信」ボタンが使用できます。

タンクタイプ テーブル サマリー:			
配管内容量: *	0.000 m <sup>3</sup>	TCTレベルタイプ:	イナージェ
タンク最大容量:	+0.000 m <sup>3</sup>	最小ポンプ送り可能容量:	+0.000 m <sup>3</sup>
容量演算法:	Raw	タンクテーブル行数:	2
サブテーブルあり:	はい	水尺あり:	はい
FRA 用製品密度:	+0.0 kg/m <sup>3</sup>	浮屋根補正量:	+0.000 m <sup>3</sup>
デッドストック:	+0.000 m <sup>3</sup>	TCTファイルダウンロード:	Default

2. ユーザーにアクセス権限がない場合は、編集データ エリアの行背景色が交互に薄灰色と暗い灰色になります。設定を保存するための「送信」ボタンは使用できません。

タンクタイプ テーブル サマリー:			
配管内容量: *	+0.000 m <sup>3</sup>	TCTレベルタイプ:	イナージェ
タンク最大容量:	+49.738 m <sup>3</sup>	最小ポンプ送り可能容量:	+0.000 m <sup>3</sup>
容量演算法:	Raw	タンクテーブル行数:	310
サブテーブルあり:	はい	水尺あり:	はい
FRA 用製品密度:	+0.0 kg/m <sup>3</sup>	浮屋根補正量:	+0.001 m <sup>3</sup>
デッドストック:	+0.000 m <sup>3</sup>	TCTファイルダウンロード:	R18_TCT.XML

### 警報とイベント パネル - 説明

警報とイベント パネルには、システムが動的に生成する警報とイベントが表示されます。

日付	イベント...	ステータス	ステータス...	要素	警報内容	警報発生元	値	E-mail	ユーザー ID	FG タグネ	イベント ID	オプション
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	H/A	Tank-4	+17.000 m	未設定	なし	NXA820_A700	6	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	H/H	Tank-4	+17.000 m	未設定	なし	NXA820_A700	5	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	確認	製品レベル	H/A	Tank-3	+19.000 m	未設定	なし	NXA820_A700	4	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	H/H	Tank-3	+19.000 m	未設定	なし	NXA820_A700	3	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	H/A	Tank-2	+19.000 m	未設定	なし	NXA820_A700	21	DD

タブ	説明
警報	システムが生成した警報の詳細が表示されます。
イベント	システムが生成したイベントの詳細が表示されます。
警報とイベント	システムが生成した警報とイベントの詳細が表示されます。



**注意!**  
警報とイベント パネルの詳細説明については 15 章 を参照してください。

## 2.4 タンクビジョン システムの終了

タンクビジョン システムはどの画面からでも終了させることができます。

タンクビジョン システムの終了方法

1. メタデータ ヘッダーの「ログアウト」リンクをクリックします。タンクビジョンのログイン画面が表示されます。

### 3 タンクビジョン操作画面

操作画面	NXA820	NXA821	NXA822	ページ
タンク - タンク詳細タブ				16
全般詳細	X	X		17
容量詳細	X	X		19
外壁詳細	X	X		24
浮屋根	X	X		26
流量演算	X	X		28
水尺	X	X		30
在槽値演算	X	X		32
タンクを校正済みステータスにする	X	X		33
タンク - 警報設定タブ				35
測定データ警報設定	X	X		36
演算データ警報設定	X	X		38
タンク - ゲージ コマンド タブ	X	X		40
タンク詳細				42
全般詳細タブ	X	X		43
アニュアル データ タブ	X	X		44
ゲージ コマンド タブ				46
ゲージ コマンド スケジュール	X	X		46
ゲージ コマンド送信	X	X		48
リアルタイムトレンド タブ	X	X		50
ヒストリカルトレンド タブ	X	X		53
製品移送タブ	X	X		55
タンク ステータス タブ	X	X		63
製品割当てタブ	X	X		66
製品移送レポート タブ	X	X		67
タンク演算タブ	X	X		69
製品				71
全般	X	X		74
容量換算係数 (VCF)	X	X		75
基準密度演算 (RDC)	X	X		76
沈殿物と水	X	X		77
質量と重量	X	X		78
詳細設定 (保税タンク)	X	X		80
警報グループ	X	X		84
タンク グループ	X	X		88
移送	X	X		96
システム				99
カスタム設定				101
サイト情報	X	X	X	101
単位	X	X	X	103
デフォルト言語設定	X	X	X	105

操作画面	NXA820	NXA821	NXA822	ページ
電子メール サーバ設定	X	X	X	105
日付と時刻	X	X	X	106
設定保存詳細の定義	X	X	X	107
プリンタ エージェント設定	X	X	X	108
ネットワーク設定	X	X	X	110
環境設定	X	X	X	113
トレンド グローバル設定	X	X		114
フィールドスキャン - MODBUS EIA485				115
フィールド プロトコル	X			115
周囲温度スキャン - MODBUS	X			116
ゲージ マップ ファイル追加 - MODBUS	X			116
フィールドスキャン設定管理 - MODBUS	X			117
フィールドスキャン 開始 / 停止	X			118
フィールドスキャン設定 - Sakura V1				119
フィールド プロトコル	X			119
V1 タイプ選択	X			120
周囲温度スキャン - V1	X			120
ゲージ マップ ファイル追加 - V1	X			121
フィールドスキャン設定管理 - V1	X			121
フィールドスキャン 開始 / 停止	X			123
保税タンク封印	X	X	X	124
タンク スキャナ ユニットおよびタンク割当て		X		125
ホストリンク				126
ホストリンク設定			X	126
警報ステータス用 MODBUS コイル マップ インポート			X	127
ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタ設定 インポート			X	130
パラメータ用 MODBUS レジスタ マップ インポート			X	133
MODBUS シリアル			X	138
MODBUS TCP 設定			X	139
アーカイブ設定	X	X		140
ダウンロード				141
タンクビジョン設定のダウンロード	X	X	X	141
レポート テンプレートのダウンロード	X	X	X	142
オペレータ ワークステーション設定				144
オペレータ ワークステーション設定	X	X	X	144
オペレータ ワークステーション管理	X	X	X	145
システム診断	X	X	X	146
アップロード				147
一般的なアップロード	X	X	X	147
タンクビジョン設定のアップロード	X	X	X	147
警報ポップアップ エージェント (Win 32)	X	X	X	148

操作画面	NXA820	NXA821	NXA822	ページ
プリンタ エージェント (Win 32)	X	X	X	152
事後分析ダンプ	X	X	X	152
装置ステータス コード	X	X	X	153
レポート	X	X	X	154
ユーザー	X	X	X	155

## 4 「タンク」メニュー - タンク詳細

この章では以下の項目について説明します。

- ・ 全般詳細
- ・ 容量詳細
- ・ 外壁詳細
- ・ 浮屋根
- ・ 流量演算
- ・ 水尺
- ・ 在槽値演算
- ・ タンクを校正済みステータスにする

タンクビジョン システム全体の機能は、タンクやその内容物に応じて異なります。タンクビジョン システムはゲージから測定データを取得し、タンク在槽値演算を使用してそのデータを処理してから、ユーザーが確認やアクセスできるように表示します。

容量や質量など、在槽データの一部は、タンク設定やタンクに割当てられた製品により表示内容が異なります。

### タンクの設定方法

1. ナビゲーション ツリーの「タンク」ヘッダーをクリックします（設定されているタンク数がヘッダー名の後ろのカッコ内に表示されます）。次のようなタンク管理画面が表示されます。

選択	タンク名	所在地	タンク形状	製品
<input checked="" type="radio"/>	Tank-1	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-2	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	Alcohol
<input type="radio"/>	Tank-3	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input checked="" type="radio"/>	Tank-4	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-5	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-6	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-7	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-8	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-9	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-10	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-11	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-12	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-13	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-14	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-15	Terminal-1	固定屋根タンク、内筒管なし	No Product

2. 適切なタンクを選択します。
3. 「変更」ボタンをクリックして、タンク詳細を変更します。次のような「タンク詳細」画面が表示されます。

Manage Tanks - Tank-1	
タンク詳細	警告設定
タンク	タンク変更 - Tank-1 - タンク詳細
▶ 全般詳細	✓
▶ 容量詳細	✓
▶ 外壁詳細	✓
▶ 浮屋根	✓
▶ 流量演算	✓
▶ 水尺	✓
▶ 在槽値演算	✓
▶ タンクを校正済みステータスにする	✓
▶ HART コマンド	✓

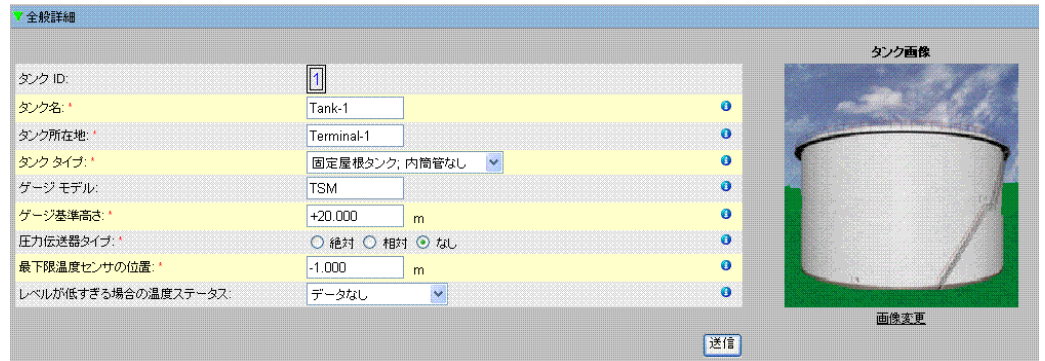


### 4.1 全般詳細

「全般詳細」画面では、タンクの全般詳細を表示したり、要件に応じて変更したりすることが可能です。

タンク全般詳細の設定方法

1. 「全般詳細」の をクリックするします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
タンク ID	システム内の各タンクには 1 ～ 15 の固有の識別番号がつけられています。この ID は、タンク データの表示、製品移送の実行、レポートの生成などを行うタンクを照会するときシステム内で使用されます。このフィールドは編集できません。
タンク名	タンク名を入力します。タンクビジョン システム内の各タンクには照会用に固有の名前がつけられますが、文字数が最大 16 文字を超えてはいけません。このフィールドのデータ型は英数文字型で、特殊文字の「-」と「_」(ハイフンとアンダーバー) も使用できます。このフィールドの長さは最大 16 文字です。
タンク所在地	タンクの所在地を入力します。このフィールドは、タンク ファーム内のタンクの物理的な所在地に応じてタンク グループを作成し、識別するとき使用します。このフィールドのデータ型は英数文字型で、すべての特殊文字が使用できます。
タンク タイプ	ドロップダウン リストから適切なタンク タイプを選択します。このフィールドは、タンクの浮屋根の有無を示します。それにより、タンクビジョン システムはタンク演算中に浮屋根補正を実行するかしないかを決定することができます。
ゲージ モデル	タンクの適切なゲージ モデル名または番号を入力します。このフィールドのデータ型は英数文字型で、すべての特殊文字も使用できます。
ゲージ 基準高さ	ゲージまたはタンク トップの適切な高さを入力します。このフィールドは製品のアレイ レベルをイナージュ レベルに換算するとき使用します。このフィールドのデータ型は数値型です。
圧力伝送器タイプ	適切な圧力タイプのオプションを選択します。このフィールドは、圧力ゲージで測定する場合の測定圧力が絶対か相対かを示します。
下限温度センサの位置	下限温度センサ位置の値を入力します。このフィールドは、下限温度センサのレベルを示します。製品レベルがこの下限温度センサの位置を下回った場合、タンク演算においてこのセンサの測定温度を製品温度と見なすことはできません。
レベルが低すぎる場合の温度ステータス	ドロップダウン リストから適切な温度ステータスを選択します。このフィールドは、製品レベルが下限温度センサの位置を下回った場合に適用される温度ステータスを示します。これにより、システムで温度ステータス値をドロップダウン リスト内の既存の値に変更することが可能になります。
画像変更	「画像変更」リンクをクリックすると、タンクの画像を変更できます。詳細については「タンク画像の変更」セクション (17 ページ) を参照してください。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、タンク全般詳細を保存します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

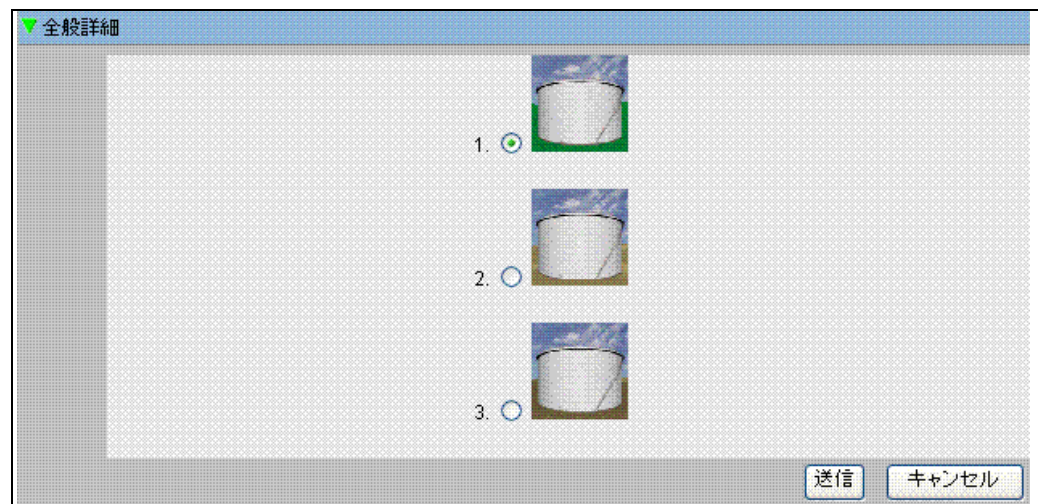
**注意！**

タンク全般詳細を設定すると、イベントが発生します。イベントの詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

#### 4.1.1 タンク画像の変更

タンク画像の変更方法

1. 「全般詳細」画面の「画像変更」リンクをクリックします。次のような画面が表示されます。




2. 適切なオプションをクリックして、画像を選択します。
3. 「送信」ボタンをクリックしてタンク画像を保存するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
4. 「全般詳細」画面に戻ります。

## 4.2 容量詳細

「容量詳細」は、製品レベルから製品容量を演算するときを使用します。業界で最も一般的な製品容量の測定手法は、タンクタイプテーブル (Tank Capacity Table、TCT) の使用です。タンクタイプテーブル (TCT) には、タンク内の各レベル用に複数のデータポイントがあり、これらのレベルに応じて製品容量が出されます。

「容量詳細」画面では、タンクタイプテーブル、合計容量、タンクからポンプ抽出可能な製品の最小容量などのタンク詳細を表示、変更することが可能です。

タンク容量詳細の設定方法

1. 「容量詳細」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
ダウンロードする TCT ファイルの選択	ダウンロードする TCT ファイルのパスを入力するか、「参照」ボタンをクリックしてファイルの適切な保存場所を検索します。 タンクタイプテーブル (TCT) には、タンク内の各レベル用に複数のデータポイントがあり、これらのレベルに応じて容量が出されます。製品レベルが読み取られ、TCT の対応する容量がそれ以降の演算用で製品容量として使用されます。 TCT ファイル コンテンツについては以下を参照してください。
配管内容量	配管内容量の値を入力します。このフィールドは、配管内の製品容量を示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 「参照」ボタンをクリックして、TCT ファイルの保存場所を検索します。
3. 「TCT XML ファイルのダウンロード」ボタンをクリックして、システムから TCT XML ファイルをダウンロードします。
4. 「配管内容量」フィールドに配管内の容量を入力します。
5. 「送信」ボタンをクリックして、タンク容量詳細を保存します。
6. TCT ファイルからインポートされた「タンクタイプテーブル サマリー」セクションに容量詳細が表示されます。詳細が保存されると、確認メッセージが表示されます。



注意！

タンク容量詳細を設定すると、イベントが発生します。イベントの詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 4.2.1 TCT XML ファイル コンテンツ

TCT ファイルは XML ファイル形式で、タンクに関する以下の情報を提供します。

フィールド	XML タグ
TCT Date	TCT_Date
TCT Calibrated Date	TCT_CalDate
Level Type	Level_Type
Volume Method	Volume_Method
Units	Units
- Level Unit	Level
- Volume Unit	Volume
- Weight Unit	Weight
- Density Unit	P_Density_FRA
Floating Roof Details	FRA_TCT
- Used Liquid Density	P_Density_FRA
- Volumetric FR Correction	V_FRC
Heel Volume	Heel_Volume
Max Tank Capacity	Max_Tank_Capacity
Total Tank Volume	Total_Tank_Volume
Minimum Pumpable Volume	Min_Pump_Volume
Main TCT Table	P_TCT
- Number of TCT straps	CNT
-- Each Strap	P_Strap
--- Level	P_Level
--- Volume	P_Volume
Sub TCT Present	Sub_TCT
Minimum Sub TCT level	Min_Sub_TCT_Level
Sub TCT Table	P_S_TCT
- Number of Sub TCT Straps	CNT
-- Each Strap	P_S_Strap
--- Level	P_S_Level
--- Volume	P_S_Volume
Water Table Present	WATER_TCT
Water Table	Water
- Number of Water TCT Straps	CNT
-- Each Strap	W_Strap
--- Level	W_Level
--- Volume	W_Volume

## サンプル TCT ファイル

```
<NXA820 CRC="12345">
```

```
  <TCT TCT_Date="7/3/2005" TCT_CalDate="1/1/2002" Sub_TCT="Y" WATER_TCT="Y">
```

```
    <Level_Type>Innage</Level_Type>
```

```
    <Units>
```

```
      <Level>m</Level>
```

```
      <Volume>m3</Volume>
```

```
      <P_Density_FRA>kg/m3</P_Density_FRA>
```

```
    </Units>
```

```
    <FRA_TCT>
```

```

    <P_Density_FRA>800</P_Density_FRA>
    <V_FRC>1.01234</V_FRC>
  </FRA_TCT>
  <Heel_Volume>100</Heel_Volume>
  <Total_Tank_Volume>1100</Total_Tank_Volume>
  <Max_Tank_Capacity>900</Max_Tank_Capacity>
  <Min_Pump_Volume>1000</Min_Pump_Volume>
  <Volume_Method>RAW</Volume_Method>
  <Min_Sub_TCT_Level>0.5</Min_Sub_TCT_Level>
  <P_TCT_CNT="9">
    <P_Strap>
      <P_Level>0</P_Level>
      <P_Vol>50</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>1.25</P_Level>
      <P_Vol>168.75</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>2.5</P_Level>
      <P_Vol>287.5</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>3.75</P_Level>
      <P_Vol>406.25</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>5</P_Level>
      <P_Vol>525</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>6.25</P_Level>
      <P_Vol>643.75</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>7.5</P_Level>
      <P_Vol>762.5</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>8.75</P_Level>
      <P_Vol>881.25</P_Vol>
    </P_Strap>
    <P_Strap>
      <P_Level>10</P_Level>
      <P_Vol>1000</P_Vol>
    </P_Strap>
  </P_TCT>
  <P_S_TCT_CNT="5">
    <P_S_Strap>
      <P_S_Level>0</P_S_Level>
      <P_S_Vol>0</P_S_Vol>
    </P_S_Strap>
    <P_S_Strap>
      <P_S_Level>0.25</P_S_Level>
      <P_S_Vol>22.23</P_S_Vol>
    </P_S_Strap>
    <P_S_Strap>
      <P_S_Level>0.5</P_S_Level>
      <P_S_Vol>41.566</P_S_Vol>
    </P_S_Strap>
  </P_S_TCT_CNT="5">

```

```

    </P_S_Strap>
    <P_S_Strap>
      <P_S_Level>0.75</P_S_Level>
      <P_S_Vol>59.046</P_S_Vol>
    </P_S_Strap>
    <P_S_Strap>
      <P_S_Level>1</P_S_Level>
      <P_S_Vol>77.497</P_S_Vol>
    </P_S_Strap>
  </P_S_TCT>
  <Water CNT="5">
    <W_Strap>
      <W_Level>-1</W_Level>
      <W_Vol>0</W_Vol>
    </W_Strap>
    <W_Strap>
      <W_Level>-0.5</W_Level>
      <W_Vol>25</W_Vol>
    </W_Strap>
    <W_Strap>
      <W_Level>0</W_Level>
      <W_Vol>50</W_Vol>
    </W_Strap>
    <W_Strap>
      <W_Level>0.5</W_Level>
      <W_Vol>75</W_Vol>
    </W_Strap>
    <W_Strap>
      <W_Level>1</W_Level>
      <W_Vol>100</W_Vol>
    </W_Strap>
  </Water>
</TCT>
</NXA820G>

```

1. 日付形式は、設定と一致していなければなりません。例えば MM/DD/YYYY の場合、値は 01/21/2005 のようにする必要があります（月日が1桁の場合、先行ゼロが必要です）。
2. FRA 演算設定を TCT XML から読み込む場合、「タンク全般詳細」画面で「タンクの浮屋根あり」、「浮屋根補正法」を「TCT で FRA」に設定する必要があります。これらが設定されていないと、TCT XML にデータがあったとしても無視されます。
3. TCT XML のファイル名には、#、%、@、& などの特殊文字は使用できません。
4. 桁設定の精度を変更した場合、TCT XML をダウンロードして変更内容を反映させる必要があります。
5. TCT XML には通常の XML コメントを追加することができます。

例

```

<P_TCT CNT="2">
  <P_Strap>
    <P_Level>0</P_Level>
    <!-- Prev value = 0 -->
    <P_Vol>0.1</P_Vol>
  </P_Strap>

```

```
<P_Strap>  
<P_Level>10</P_Level>  
<! -- changed by XYZ prev value = 1000 -->  
<P_Vol>800</P_Vol>  
</P_Strap>  
</P_TCT>
```

### 4.3 外壁詳細

タンクは多くの場合、鉄、スチールまたはその他の合金製です。そのため、タンク 外壁は熱膨張によりしばしば寸法が変化します。タンク 外壁の寸法変化によって見掛け製品レベルが変化し、その結果、それ以降の容量演算のエラーを引き起こします。したがって、タンクのタンク 外壁詳細で設定したタンク 外壁変形補正 (Correction of the Tank Shell Deformation, CTSh) に基づいて、容量を補正する必要があります。

「外壁詳細」画面では、タンク 外壁熱膨張係数、断熱係数などのタンク詳細を表示、変更することが可能です。

#### タンク 外壁詳細の設定方法

1. 「外壁詳細」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
タンク 外壁外壁補正使用可	タンク 外壁外壁補正を製品容量に適用できるようにする場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、製品容量にタンク 外壁外壁補正は適用されません。
タンク 外壁外壁校正温度	タンク 外壁外壁の校正温度を入力します。このフィールドのタンク 外壁外壁校正温度を使ってタンク 外壁外壁補正係数が演算されます。このフィールドのデータ型は数値型です。
リニア熱膨張係数	タンク 外壁外壁材質のリニア熱膨張係数を入力します。このフィールドのリニア熱膨張係数を使ってタンク 外壁外壁補正係数が演算されます。タンク 外壁外壁材質のリニア熱膨張係数値は 0 より大きくなければなりません。このフィールドのデータ型は数値型です。
エリア熱膨張係数	タンク 外壁外壁材質のエリア熱膨張係数の適切な値を入力します。このフィールドのエリア熱膨張係数を使ってタンク 外壁外壁補正係数が演算されます。タンク 外壁外壁材質のエリア熱膨張係数値は 0 より大きくなければなりません。このフィールドのデータ型は数値型です。
温度ステータスを伝える	ドロップダウン リストから適切な温度ステータスを選択します。このフィールドは、自動温度が使用できない場合に、温度ステータスを伝えることを示します。
タンク 外壁外壁断熱タイプ	ドロップダウン リストから適切なタンク 外壁外壁断熱タイプを選択します。このフィールドのタンク 外壁外壁断熱タイプ値を使ってタンク 外壁外壁補正係数が演算されます。タンク 外壁外壁断熱タイプは次の通りです。 「断熱なし」(API に準拠) - このタイプが選択された場合、タンク 外壁外壁断熱係数は +0.8750 になります。この値は編集できません。 「断熱あり」- このタイプが選択された場合、タンク 外壁外壁断熱係数は +1.0000 になります。この値は編集できません。 「カスタム」- このタイプが選択された場合、タンク 外壁外壁断熱係数フィールドは編集可能になります。タンク 外壁外壁温度を演算するための適切な値を入力できます。



フィールド	説明
タンク 外壁外壁断熱係数	適切なタンク 外壁外壁断熱係数を入力します。 このフィールドは、「タンク 外壁外壁断熱タイプ」フィールドで「カスタム」オプションを選択した場合に入力可能になります。 タンク 外壁外壁断熱係数を使ってタンク 外壁外壁温度が演算されます。タンク 外壁外壁断熱係数値は 0 ~ 1 にしてください。 このフィールドのデータ型は数値型です。
ベッセル半径	タンクのベッセル半径を入力します。ベッセル半径値は 0 より大きくなければなりません。 ベッセル半径を使ってタンク演算が行われます。 このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、タンク 外壁外壁容量詳細を保存します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

タンク 外壁外壁詳細を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

**エラー メッセージ**

1. 「校正温度が無効です」  
このメッセージは、入力したタンク 外壁外壁校正温度値が有効な実数ではない場合に表示されます。
2. 「リニア温度係数が無効です」  
このメッセージは、入力したリニア温度係数値が有効な実数でない場合に表示されます。
3. 「リニア温度係数は次の値未満でなければいけません ... 10E-7/ °C」  
このメッセージは、入力したリニア温度係数値が内部的に定義された範囲より大きい場合に表示されます。
4. 「エリア温度係数が無効です」  
このメッセージは、入力したエリア温度係数値が有効な実数でない場合に表示されます。
5. 「エリア温度係数は次の値未満でなければいけません ... 10E-7/ °C」  
このメッセージは、入力したエリア温度係数値が最大温度係数より大きい場合に表示されます。
6. 「必須項目をすべて入力してください」  
このメッセージは、リニアまたはエリア温度係数の値が入力されていない場合に表示されます。
7. 「断熱係数が無効です。0 から 1 の間にしてください」  
このメッセージは、入力されたタンク 外壁外壁断熱係数値が有効な実数でないか、0 より小さいまたは 1 より大きい場合、表示されます。

## 4.4 浮屋根


タンクにはしばしば浮屋根が装備されています。これは、タンクに貯蔵されている製品の上に浮いているため、このように呼ばれます。浮屋根は、製品レベルに合わせて上下移動します。タンクに浮屋根が浮いているため、浮屋根重量と製品密度に応じて、製品レベルがわずかにずれます。この製品レベルのずれにより見掛けレベルが変わり、容量演算のエラーにつながります。そのため製品容量を補正する必要があります。

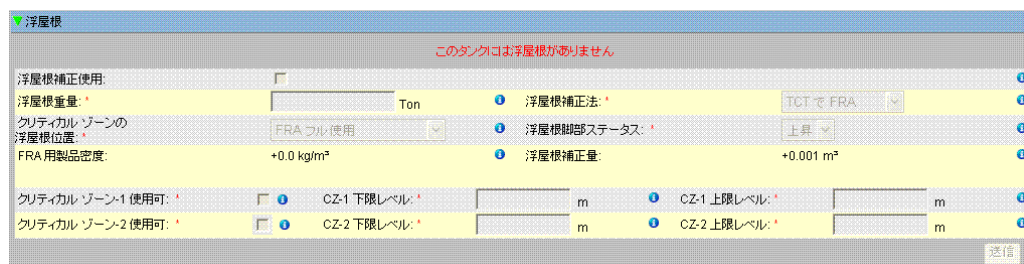
浮屋根には多くの場合支持脚部があります。レベルが低すぎる場合やタンクが空の場合、浮屋根をこの脚部上に載せることが可能です。また、脚部に載せることにより、タンク保守作業のために保守要員が浮屋根の下に入ることもできます。このように、製品レベルに応じて、浮屋根は脚部上に載るかまたは製品上に浮いた状態になります。ただし、製品レベルの特定の範囲では、浮屋根が部分的に脚部に載ることがあります。この範囲は「クリティカルゾーン」と呼ばれます。タンクビジョン システムには、浮屋根脚部の位置に関連して2つのクリティカルゾーンがあります。

「浮屋根」画面のフィールドは、「全般詳細」画面の「タンクタイプ」で「外部浮屋根タンク；内筒管なし」、「外部浮屋根タンク；内筒管あり」、「内部浮屋根タンク；内筒管なし」、または「内部浮屋根タンク；内筒管あり」を選択した場合に入力可能になります。「タンクタイプ」で「固定屋根タンク；内筒管なし」、「固定屋根タンク；内筒管あり」、「オープンタンク」、「球形タンク」、または「プレットタンク」を選択した場合は、「浮屋根」画面のフィールドは入力できず、「このタンクには浮屋根がありません」というメッセージが表示されます。

「浮屋根」画面では、浮屋根補正タイプ、クリティカルゾーン詳細などのタンク詳細を表示、変更することが可能です。

### 浮屋根詳細の設定方法

1. 「浮屋根」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
浮屋根補正使用	画面上の浮屋根補正フィールドのテキストボックスやチェックボックスをすべて使用できるようにする場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、浮屋根補正は使用できません。
浮屋根重量	浮屋根重量を入力します。 このフィールドは浮屋根の重量を示し、浮屋根のあるタンクの浮屋根補正係数として使用されます。 このフィールドのデータ型は数値型です。
浮屋根補正法	ドロップダウン リストから適切な浮屋根補正法を選択します。 該当するタンクの浮屋根補正演算を行う場合には、ここで選択された補正法が使用されます。補正法には以下があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「TCT で FRA」- TCT に浮屋根補正 (Floating Roof Adjust、FRA) があり、FRA 演算に使用されます。</li> <li>・「TCT 以外で FRA」- TCT に浮屋根補正 (Floating Roof Adjust、FRA) がなく、浮屋根重量を使用して演算する必要があります。</li> <li>・「日本方式」- これは主に日本で使用される特殊な補正法です。詳細についてはエンドレスハウザーのサービス部門にお問い合わせください。</li> </ul>

フィールド	説明
クリティカルゾーンの浮屋根位置	ドロップダウン リストから適切なクリティカルゾーンの浮屋根位置 (Floating Roof Position、FRP) を選択します。 このフィールドにより、浮屋根がクリティカルゾーンにある場合の、タンクの適切な浮屋根位置補正係数を使用できます。以下の位置があります。 ・ 「FRA フル使用」- 浮屋根がクリティカルゾーンにある場合に、演算した FRA を使用します。 ・ 「FRA を使用しない」- 浮屋根がクリティカルゾーンにある場合に、FRA を使用しません。つまり FRP ステータスは 1 になります。 ・ 「FRA 一部使用 (補間)」- 浮屋根がクリティカルゾーンにある場合に、クリティカルゾーン (製品レベルに基づく下限レベルと上限レベル) の間の FRP を補間します。 ・ 「FRA と GOV を演算しない」
浮屋根脚部ステータス	ドロップダウン リストから適切な浮屋根脚部ステータスを選択します。 浮屋根脚部ステータスと製品レベルおよびクリティカルゾーン レベルを使用して、浮屋根が脚部に乗っているか、浮いているか、あるいはクリティカルゾーンにあるかが判定されます
クリティカルゾーン-1 使用可	クリティカルゾーン (Critical Zone、CZ) 1 を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。 チェックボックスの選択を解除すると、クリティカルゾーン 1 は使用できません。選択すると、「CZ-1 下限レベル」と「CZ-1 上限レベル」フィールドが入力可能になります。 このフィールドを使用して、浮屋根がクリティカルゾーン 1 にあるかどうかを確認されます。 クリティカルゾーン 1 は、浮屋根脚部ステータスが「上昇」の場合に使用されます。
CZ-1 下限レベル	クリティカルゾーン 1 の下限レベル値を入力します。 このフィールドは、タンク浮屋根がクリティカルゾーン 1 にあるかどうかの確認に使用されます。
CZ-1 上限レベル	クリティカルゾーン 1 の上限レベル値を入力します。 このフィールドは、タンク浮屋根がクリティカルゾーン 1 にあるかどうかの確認に使用されます。
クリティカルゾーン-2 使用可	クリティカルゾーン 2 を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。 チェックボックスの選択を解除すると、クリティカルゾーン 2 は使用できません。 このフィールドを選択すると、「CZ-2 下限レベル」と「CZ-2 上限レベル」フィールドが入力可能になります。 このフィールドを使用して、浮屋根がクリティカルゾーン 2 にあるかどうかを確認されます。 クリティカルゾーン 2 は、浮屋根脚部ステータスが「下降」の場合に使用されます。
CZ-2 下限レベル	適切なクリティカルゾーン 2 の下限レベル値を入力します。 このフィールドは、タンク浮屋根がクリティカルゾーン 2 にあるかどうかの確認に使用されます。
CZ-2 上限レベル	適切なクリティカルゾーン 2 の上限レベル値を入力します。 このフィールドは、タンク浮屋根がクリティカルゾーン 2 にあるかどうかの確認に使用されます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、タンク浮屋根詳細を保存します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**  
タンク浮屋根詳細を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 4.5 流量演算

「流量演算」画面では、流量演算、最低レベル変更、最小流量などのタンク詳細を表示、変更することが可能です。

流量演算詳細の設定方法

1. 「流量演算」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

▼流量演算					
移動検知間隔:*	10	秒	①	最低レベル変位:*	+0.001 m
流量演算ウィンドウ:*	45	秒	①	最低レベル変位レート:*	+1.0 mm/s
メインレベル変更レート:*	+0.0	mm/s	①	最小容量変更レート:*	+0.1 m <sup>3</sup> /min
メイン容量変更レート:*	+0.0	m <sup>3</sup> /min	①		

送信

フィールド	説明
移動検知間隔	移動検知間隔の値を入力します。 受信した直後のレベル データと 1 間隔前のレベル データが比較されます。 例：移動検知間隔を 10 秒に設定した場合、新規データを受信すると、その新規データと 10 秒前に受信したデータが比較されます。製品レベルの変化が「最低レベル変更」を超えると、製品レベルの移動があったことが検知されます。 このフィールドのデータ型は数値型です。
最低レベル変更	最低レベル変更の値を入力します。 このフィールドは、製品移送開始の検知に使用される製品レベルの最低変更を示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
流量演算ウィンドウ	流量演算ウィンドウの値を入力します。 このフィールドは、製品レベルの変更レートを演算する期間を示します。
最低レベル変更レート	製品の最低レベル変更レートの値を入力します。 このフィールドは、製品移送開始の検知に使用される製品レベルの最小変更レートを示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
メインレベル変更レート	製品のメインレベル変更レートの値を入力します。 このフィールドは、製品移送開始の検知に使用される製品レベルのメイン変更レートを示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
最小容量変更レート	製品の最小容量変更レートの値を入力します。 このフィールドは、製品移送終了の検知に使用される製品容量の最小変更レートを示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
メイン容量変更レート	製品のメイン容量変更レートの値を入力します。 このフィールドは、製品移送開始の検知に使用される製品容量のメイン変更レートを示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして続行し、流量演算詳細を保存します。
4. 変更が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**  
流量演算詳細を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。


エラー メッセージ

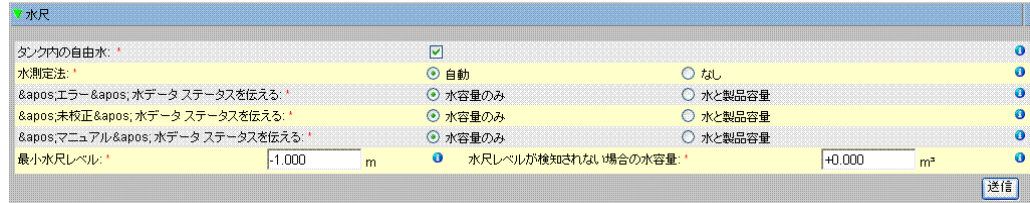
1. 「移動 検知間隔 最大値より大」  
このメッセージは、移動検知間隔のユーザー入力値が 15 秒より大きい場合に表示されま  
す。
2. 「移動検知間隔 最小値未満」  
このメッセージは、移動検知間隔のユーザー入力値が 3 秒未満の場合に表示されます。
3. 「最低レベル変更 最小値未満」  
このメッセージは、最低レベル変更のユーザー入力値が 0 未満の場合に表示されます。
4. 「最低レベル変更 最大値より大」  
このメッセージは、最低レベル変更のユーザー入力値が 99 より大きい場合に表示されま  
す。
5. 「流量演算ウィンドウ 最小値未満」  
このメッセージは、流量演算ウィンドウのユーザー入力値が 5 秒未満の場合に表示されま  
す。
6. 「流量演算ウィンドウ 最大値より大」  
このメッセージは、流量演算ウィンドウのユーザー入力値が 120 秒より大きい場合に表示  
されます。
7. 「最低レベル変更レート 最小値未満」  
このメッセージは、最低レベル変更レートのユーザー入力値が 0 未満の場合に表示されま  
す。
8. 「最低レベル変更レート 最大値より大」  
このメッセージは、最低レベル変更レートのユーザー入力値が 999 より大きい場合に表示  
されます。
9. 「メイン レベル変更レート 最小値未満」  
このメッセージは、メイン レベル変更レートのユーザー入力値が 0 未満の場合に表示され  
ます。
10. 「メイン レベル変更レート 最大値より大」  
このメッセージは、メイン レベル変更レートのユーザー入力値が 999 mm/s より大きい場  
合に表示されます。
11. 「最小容量変更レート 最大値より大」  
このメッセージは、最小容量変更レートのユーザー入力値が 999999 m<sup>3</sup>/s より大きい場  
合に表示されます。
12. 「最小容量変更レート 最小値未満」  
このメッセージは、最小容量変更レートのユーザー入力値が 0 未満の場合に表示されま  
す。
13. 「メイン容量変更レート 最大値より大」  
このメッセージは、メイン容量変更レートのユーザー入力値が 999999 m<sup>3</sup>/s より大きい場  
合に表示されます。
14. 「メイン容量変更レート 最小値未満」  
このメッセージは、メイン容量変更レートのユーザー入力値が 0 未満の場合に表示されま  
す。

## 4.6 水尺

「水尺」画面では、タンク水尺、測定法、ステータス伝達などのタンク詳細を表示、変更することが可能です。

水尺演算詳細の設定方法

1. 「水尺」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
タンク内の自由水	タンク内の自由水容量を測定できるようにする場合は、このチェックボックスを選択します。 チェックボックスの選択を解除すると、タンク内の自由水容量は測定されません。 このフィールドは、タンク内の水の有無を示します。このフィールドが選択されていると、自由水容量演算が行われます。
水測定法	適切な水測定法を選択します。 このフィールドを使用して、選択した水測定法に基づく水レベルと自由水容量ステータスが表示されます。
「エラー」水データステータスを伝える	適切なオプションを選択します。 このフィールドを使用して、「エラー」水データステータスが「水容量のみ」または「水と製品容量」に伝えられます。
「未校正」水データステータスを伝える	適切なオプションを選択します。 このフィールドを使用して、「未校正」水データステータスが「水容量のみ」または「水と製品容量」に伝えられます。
「マニュアル」水データステータスを伝える	適切なオプションを選択します。 このフィールドを使用して、「マニュアル」水データステータスが「水容量のみ」または「水と製品容量」に伝えられます。
最小水レベル	タンク内の最小水レベルの適切な値を入力します。 最小水レベルは、水レベルが検知されない場合に自由水容量を割り出すために使用されます。このフィールドを使用して、水レベルがタンクの最小水レベルマーク未満になった場合、タンク内に水がないことが示されます。
水レベルが検知されない場合の水容量	水レベルが検知されない場合の水容量の適切な値を入力します。 水レベルが最小水レベル未満になった場合、「水の検知なし」として処理されます。この場合に、このフィールドに入力された値が水容量として使用されます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして設定を保存するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



### 注意！

水尺演算詳細を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### エラー メッセージ

1. 「水容量が無効です」  
このメッセージは、水容量のユーザー入力値が有効な実数ではない場合に表示されます。

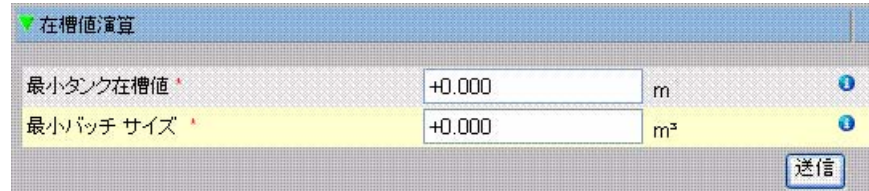
2. 「検知されない場合の水容量は容量ユニットの最小値以上にしてください」  
このメッセージは、水容量のユーザー入力値が  $0 \text{ m}^3$  未満の場合に表示されます。
3. 「検知されない場合の水容量は容量ユニットの最大値以下にしてください」  
このメッセージは、水容量のユーザー入力値が  $999999 \text{ m}^3$  より大きい場合に表示されます。

## 4.7 在槽値演算

「在槽値演算」画面では、タンク在槽値演算などのタンク詳細を表示、変更することが可能です。

タンク在槽値演算詳細の設定方法

1. 「在槽値演算」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
最小タンク在槽値	最小タンク在槽値を入力します。 このフィールドは最小タンク在槽値を示します。タンク内の製品容量が製品移送の開始または終了時に最小タンク在槽値未満であった場合、その製品移送は保管移送である保税タンク承認とはみなされません。 このフィールドのデータ型は数値型です。
最小バッチ サイズ	最小バッチ サイズを入力します。 このフィールドは最小バッチ サイズ値を示します。製品移送のバッチ サイズが最小バッチ サイズ未満であった場合、その製品移送は保管移送である保税タンク承認とはみなされません。 このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、在槽値演算詳細を保存します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**  
在槽値演算詳細を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。



### 4.8 タンクを校正済みステータスにする


タンクビジョンは各種タンク在槽レポートを生成し、ウェブ ページにタンク在槽データを表示します。レポートやレポートに表示されるデータが保税タンク承認となるのは、タンクが保税タンクとして校正されている場合に限りです。

タンクおよびタンク パラメータは、ユーザーが保税タンク校正済みステータスに設定することができます。一度タンクを保税タンク校正済みステータスに設定すると、そのタンク設定は保税タンク承認になります。

その後、保税タンク封印スイッチを「ON」にした場合のみ、システムは保税タンク承認となります。保税タンク封印スイッチは、ステッカやワイヤなどの保税タンク封印で保護されます。保税タンクの封印を行うことができるのは、保税タンク当局者または正式に認可を受けた者に限られます。

保税タンク封印スイッチを ON にした後、保税タンク校正済みとしてマークされたタンクの設定を変更することはできません。

#### タンクを校正済みステータスに設定する方法

1. 「タンクを校正済みステータスにする」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
タンク名	このフィールドはタンク名を表示します。
タンク	タンクを校正する場合は、このチェックボックスを選択します。
タンク 外壁外壁	タンク 外壁外壁を校正する場合は、このチェックボックスを選択します。
製品レベル	タンク パラメータ「製品レベル」を校正する場合は、このチェックボックスを選択します。 タンクのパラメータ測定値は、自動またはマニュアル モードで校正済みとしてマークされます。 ここにマークされた各パラメータ測定値の校正済みステータスは、実際のパラメータ モードに応じて、パラメータ測定値の校正済みステータスの判定に使用され、したがってそれ以降の演算パラメータのためのものとなります。
製品温度	タンク パラメータ「製品温度」を校正する場合は、このチェックボックスを選択します。 タンクのパラメータ測定値は、自動またはマニュアル モードで校正済みとしてマークされます。 ここにマークされた各パラメータ測定値の校正済みステータスは、実際のパラメータ モードに応じて、パラメータ測定値の校正済みステータスの判定に使用され、したがってそれ以降の演算パラメータのためのものとなります。
ベーパー温度	タンク パラメータ「ベーパー温度」を校正する場合は、このチェックボックスを選択します。 タンクのパラメータ測定値は、自動またはマニュアル モードで校正済みとしてマークされます。 ここにマークされた各パラメータ測定値の校正済みステータスは、実際のパラメータ モードに応じて、パラメータ測定値の校正済みステータスの判定に使用され、したがってそれ以降の演算パラメータのためのものとなります。
測定密度	タンク パラメータ「測定密度」を校正する場合は、このチェックボックスを選択します。 タンクのパラメータ測定値は、自動またはマニュアル モードで校正済みとしてマークされます。 ここにマークされた各パラメータ測定値の校正済みステータスは、実際のパラメータ モードに応じて、パラメータ測定値の校正済みステータスの判定に使用され、したがってそれ以降の演算パラメータのためのものとなります。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして設定を保存するか、または「リセット」ボタンをクリックして画面をリセットします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

**注意！**

- ・タンクおよびタンク パラメータの保税タンク校正済みステータスは、レポートとユーザー インターフェイス ページに伝えられます。
- ・タンクおよびタンク パラメータを校正済みステータスに設定する前に、保税タンク封印スイッチのステータスを「OFF」にしておく必要があります。
- ・タンクおよびタンク パラメータを校正済みステータスに設定した後は、保税タンク封印スイッチのステータスを「ON」に変える必要があります。
- ・製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 5 「タンク」メニュー - 警報設定

この章では以下の項目について説明します。

- ・ 測定データ警報設定
- ・ 演算データ警報設定

ヒステリシス値、ホールドオフ時間、および各タンクとそのパラメータ用の各種警報設定値を定義するために、警報の設定を行います。「警報設定」画面では、オペレータの E-mail アドレスを保存することができるため、オペレータは各種警報通知をメールで受信することが可能です。

警報の設定方法

1. ナビゲーション ツリーの「タンク」ヘッダーをクリックします（設定されているタンク数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。

選択	タンク名	所在地	タンク形状	製品
<input checked="" type="radio"/>	Tank-1	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-2	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	Alcohol
<input type="radio"/>	Tank-3	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-4	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-5	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-6	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-7	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-8	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-9	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-10	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-11	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-12	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-13	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-14	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-15	Terminal-1	固定屋根タンク;内筒管なし	No Product

2. 適切なタンクを選択します。
3. 「変更」ボタンをクリックして、タンク詳細を変更します。次のような「タンク詳細」画面が表示されます。

タンク詳細	警報設定	ゲージコマンド
タンク - タンク変更 - Tank-1 - タンク詳細		
▶ 全般詳細		✓
▶ 容量詳細		✓
▶ 外壁詳細		✓
▶ 浮屋根		✓
▶ 流量演算		✓
▶ 水尺		✓
▶ 在槽値演算		✓
▶ タンクを校正済みステータスにする		✓
▶ HART コマンド		✓


4. 「警報設定」タブをクリックすると、次のような「警報設定」画面が表示されます。

タンク詳細	警報設定	ゲージコマンド
タンク - タンク変更 - Tank-1 - 警報設定		
▶ 測定データ警報設定		✓
▶ 演算データ警報設定		✓

## 5.1 測定データ警報設定

「測定データ警報設定」画面では、ヒステリシス値、ホールドオフ時間、および製品レベル、製品温度、圧力、密度などのタンク パラメータ用の各種警報設定値を定義することが可能です。

測定データ警報の設定方法

1. 「測定データ警報設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



列	説明
単位タイプ	この列はタンク パラメータの区分に基づく単位タイプを表示します。
単位	この列は対応するパラメータに適用される測定単位を表示します。
タンク パラメータ	この列は設定値の設定を行う各種タンク パラメータを表示します。
現在値	この列は対応するタンク パラメータの現在値を表示します。
HH 警報設定値	HH 警報設定値の適切な値を入力します。 この設定値は、製品レベルまたは第 2 製品レベル <sup>a</sup> が各 HH 警報値に達したかどうかの検知に使用されます。 HH 警報設定値は、レベルの H 警報設定値より大きく、かつゲージ基準高さ未満でなければいけません。 このフィールドのデータ型は数値型です。
HA 警報設定値	HA 警報設定値の適切な値を入力します。 この設定値は、次のパラメータのいずれかがその HA 警報値に達したかどうかの検知に使用されます：製品レベル、第 2 レベル、水レベル、製品温度、ベーパー温度、ベーパー圧力、測定密度。 HA 警報設定値は、対応するパラメータの HH 警報未満、かつゲージ基準高さ未満でなければいけません。 このフィールドのデータ型は数値型です。
LA 警報設定値	LA 警報設定値の適切な値を入力します。 この設定値は、次のパラメータのいずれかがその LA 警報値に達したかどうかの検知に使用されます：製品レベル、第 2 レベル、製品温度、ベーパー温度、ベーパー圧力、測定密度。 LA 警報設定値は、対応するパラメータの LL 警報より大きく、かつゲージ基準高さ未満でなければいけません。 このフィールドのデータ型は数値型です。
LL 警報設定値	LL 警報設定値の適切な値を入力します。 この設定値は、製品レベルまたは第 2 製品レベルがその LL 警報値に達したかどうかの検知に使用されます。 LL 警報は、製品レベルの LL 警報以上、かつゲージ基準高さ未満でなければいけません。 このフィールドのデータ型は数値型です。
DF 警報設定値	DF 警報設定値の適切な値を入力します。 DF 警報は「差分警報 (Difference Alarm)」を意味し、製品レベルと第 2 レベルの差が DF 警報の設定値を超えた場合に発生します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
データおよびエラー警報使用可	当該タンク パラメータのデータおよびエラー警報を使用する場合には、このチェックボックスを選択します。 チェックボックスの選択を解除すると、当該タンク パラメータのデータおよびエラー警報は使用できません。

列	説明
ヒステリシス値	適切なヒステリシス値をテキストボックスに入力します。 ヒステリシスは、測定値の変動により警報ステータスの「作動」と「非作動」が誤って切り替わるのを防止するため、各警報設定値に適用されます。例えば、製品レベルは製品表面の波によって変動することがあります。 このフィールドのデータ型は数値型です。
ホールドオフ時間 (秒)	適切なホールドオフ時間をテキストボックスに入力します。 実際値が警報の設定値に反すると、ホールドオフ時間がトリガされます。実際値がホールドオフ時間以上、各警報設定値を上回るか下回っていた場合にのみ、警報は作動します。これにより、データの実際値の急上昇による、誤った警報の発生が防止されます。 このフィールドのデータ型は数値型です。

- a. 例えば浮屋根の位置を、第 2 レベルにすることができます。これは、製品レベルと浮屋根位置を測定し、浮屋根の動きが滞らずに常に製品レベルに追隨していることを確認する場合などに役立ちます。

フィールド	説明
E-Mail アドレス	新規の警報が発生した場合に、E-mail 通知を送信するユーザーの E-mail アドレスを入力します。 このフィールドのデータ型はテキスト型で、有効な E-mail アドレスに対応します。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、測定データ警報を設定します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

警報設定値を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

エラー メッセージ

1. 「... 警報値の順序が正しくありません」  
このメッセージは以下のいずれかの場合に表示されます。
  - HH 警報値が、H 警報、L 警報、または LL 警報の値より低い。
  - H 警報値が、L 警報 または LL 警報の値より低い。
  - L 警報値が、LL 警報の値より低い。
2. 「... レベル警報値は GRH 以下でなければいけません」  
このメッセージは、製品レベル警報値のユーザー入力値が最大ゲージ基準高さ (Gauge Reference Height) より大きい場合に表示されます。

## 5.2 演算データ警報設定

「演算データ警報設定」画面では、製品容量、質量、製品レベルの変更レート、流量、ヒステリシス値、ホールドオフ時間などのタンクパラメータ用の各種警報設定値を設定することが可能です。

演算データ警報の設定方法

1. 「演算データ警報設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



単位タイプ	単位	タンクパラメータ	現在値	HH 警報設定値	HA 警報設定値	LA 警報設定値	LL 警報設定値	DF 警報設定値	データおよびエラー警報使用可	ヒステリシス値	ホールドオフ時間 (秒)
		製品レベル	+0.000 データなし						<input type="checkbox"/>		
レベル	m	第2レベル	データなし						<input type="checkbox"/>		
		水尺レベル	+0.000 データなし						<input type="checkbox"/>		
温度	°C	製品温度	+0.0 データなし						<input type="checkbox"/>		
		ペーパー温度	+0.0 データなし						<input type="checkbox"/>		
圧力	kPa	ペーパー圧力	+0.00 データなし						<input type="checkbox"/>		
密度	kg/m³	測定密度	+0.0 データなし						<input type="checkbox"/>		
E-Mail アドレス: <input type="text"/>											

列	説明
単位タイプ	この列はタンクパラメータの区分に基づく単位タイプを表示します。
単位	この列は対応するパラメータに適用される測定単位を表示します。
パラメータ	この列は設定値の設定を行う各種パラメータを表示します。
現在値	この列は対応するパラメータの現在値を表示します。
HA 設定値	HA 警報設定値の適切な値を入力します。 この設定値は、次のパラメータのいずれかがその HA 警報値に達したかどうかの検知に使用されます：合計測定容量 (Total Observed Volume、TOV)、グロス測定容量 (Gross Observed Volume、GOV)、グロス標準容量 (Gross Standard Volume、GSV)、負圧下の質量、流量。 このフィールドのデータ型は数値型です。
LA 設定値	L 警報設定値の適切な値を入力します。 この設定値は、次のパラメータのいずれかがその L 警報値に達したかどうかの検知に使用されます：合計測定容量 (TOV)、グロス測定容量 (GOV)、グロス標準容量 (GSV)、負圧下の質量。 このフィールドのデータ型は数値型です。
CH 設定値	CH 警報設定値の適切な値を入力します。 製品レベル変更レートが CH 警報設定値を超えると、CH 警報がトリガされます。この警報がトリガされるのは、タンクステータスが「ロック」の場合に限られます。 このフィールドのデータ型は数値型です。
データ エラー	当該パラメータのデータエラー警報を使用する場合には、このチェックボックスを選択します。 チェックボックスの選択を解除すると、当該パラメータのデータエラー警報は使用できません。
ヒステリシス	適切なヒステリシス値をテキストボックスに入力します。 ヒステリシスは、測定値の変動により警報ステータスの「作動」と「非作動」が誤って切り替わるのを防止するため、各警報設定値に適用されます。例えば、製品レベルは製品表面の波によって変動することがあります。 このフィールドのデータ型は数値型です。
ホールドオフ時間 (秒)	適切なホールドオフ時間をテキストボックスに入力します。 実際値が警報の設定値に反すると、ホールドオフ時間がトリガされます。実際値がホールドオフ時間以上、各警報設定値を上回るか下回っていた場合にのみ、警報は作動します。これにより、データの実値の急上昇による、誤った警報の発生が防止されます。 このフィールドのデータ型は数値型です。

フィールド	説明
E-Mail アドレス	新規の警報が発生した場合に、E-mail 通知を送信するユーザーの E-mail アドレスを入力します。 このフィールドのデータ型はテキスト型で、有効な E-mail アドレスに対応します。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、演算データ警報を設定します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

**注意！**

警報設定値を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 6 「タンク」メニュー - ゲージ コマンド

タンクに使用可能なゲージ コマンドは、ゲージ タイプに依存します。個々のゲージでサポートされるゲージ コマンドに関する情報は、「ゲージ定義ファイル」に保存されています。タンクビジョン システムはゲージ定義ファイルからゲージ コマンド リストを読み込むことができます。この機能は、ゲージ コマンドを使用可能または使用不可にする必要がある場合に使われます。「ゲージ コマンド設定」画面では、システム要求に応じてゲージ コマンドを使用可能または使用不可にすることが可能です。

### ゲージ コマンドの設定方法

1. ナビゲーション ツリーの「タンク」ヘッダーをクリックします（設定されているタンク数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。

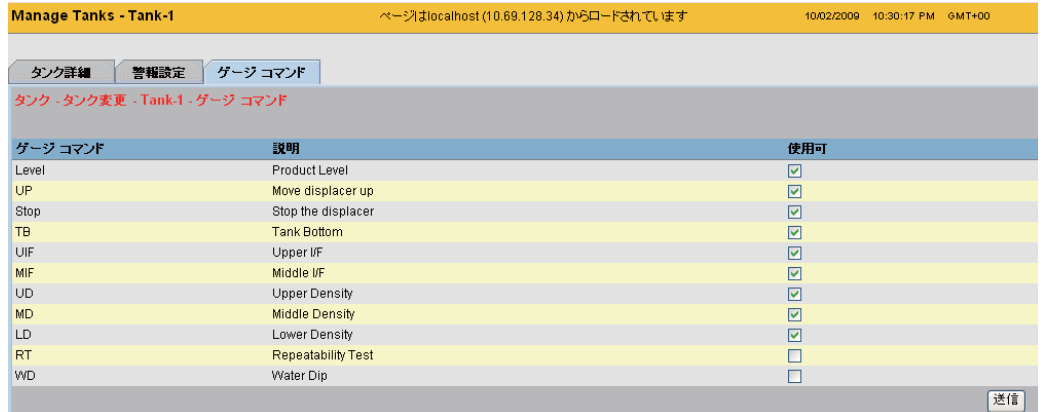
選択	タンク名	所在地	タンク形状	製品
<input checked="" type="radio"/>	Tank-1	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-2	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	Alcohol
<input type="radio"/>	Tank-3	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-4	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-5	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-6	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-7	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-8	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	Petrol
<input type="radio"/>	Tank-9	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-10	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-11	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-12	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-13	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-14	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product
<input type="radio"/>	Tank-15	Terminal-1	固定屋根タンク,内筒管なし	No Product

2. 適切なオプションをクリックして、タンク名を選択します。
3. タンク詳細を変更するには、「変更」ボタンをクリックします。次のような「タンク詳細」画面が表示されます。


Manage Tanks - Tank-1	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>タンク詳細</span> <span>警報設定</span> <span>ゲージコマンド</span> </div> <p>タンク - タンク変更 - Tank-1 - タンク詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全般詳細 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ 容量詳細 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ 外観詳細 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ 浮屋根 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ 流量演算 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ 水尺 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ 在槽演算 <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ タンクを校正済みステータスにする <span style="float: right;">✔</span></li> <li>▶ HART コマンド <span style="float: right;">✔</span></li> </ul>	<a href="#">すべて</a> <a href="#">タンク管理</a>

4. 「ゲージ コマンド」タブをクリックすると、次のような画面が表示されます。

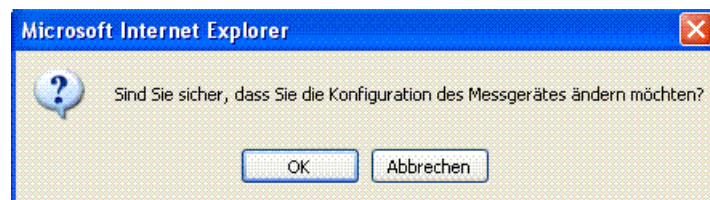





フィールド	説明
ゲージ コマンド	この列は特定のタンクやゲージ タイプで使用可能なゲージ コマンドを表示します。 ゲージ コマンドの意味については、適宜プロセッサまたはサーボの各説明書を参照してください。 例： ・ 「Level」：製品レベルを測定します。 ・ 「UP」：ディスプレイサをゲージのハウジング内に移動させます（例：保守時） ・ 「Stop」：ディスプレイサを現在の位置で保持します。
説明	この列は対応するゲージ コマンドの簡単な説明を表示します。
使用可	必要なゲージ コマンドを使用可能にする場合には、このチェックボックスを選択します。 チェックボックスの選択を解除すると、必要のないゲージ コマンドは使用不可になります。 使用不可になっているゲージ コマンドにスケジュールを設定したり、タンクへ送信したりすることはできません。 初期設定では、すべて使用可のチェックボックスが選択されています。

 **注意！**  
ゲージ コマンドを設定する前に、タンクをフィールドスキャン用に設定する必要があります（「システム / グローバル設定 / フィールドスキャン / フィールドスキャン設定管理」）。フィールドスキャン用に設定していないと、ゲージ コマンドはこの画面に表示されません。

- 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
- 「送信」ボタンをクリックして、ゲージ コマンドを設定します。次のような確認画面が表示されます。



- 「OK」ボタンをクリックして、ゲージ設定を変更します。
- 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

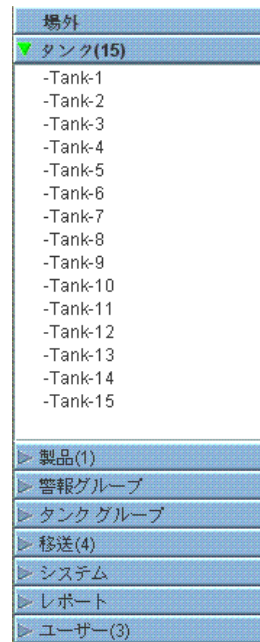
 **注意！**  
ゲージ コマンドを設定すると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

## 7 「タンク詳細」画面

「タンク詳細」画面では、リアルタイム タンク データの動的な表示や、通常のタンク ファーム操作（例：タンク製品割当て、製品移送、...）を行うことが可能です。  
「タンク詳細」画面には各種タブがあり、さまざまなタスクに使用されます。

「タンク詳細」画面の表示方法

1. ナビゲーション ツリーの「タンク」ヘッダーをクリックします（設定されたタンク数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。「タンク」ヘッダーが次のように展開されません。



2. 作業するタンクの〈タンク名〉をクリックします。次のような画面が表示されます。

測定値	タンク表示と警報設定値
製品レベル マニュアル +10.000 m 07:00:00 01:48:42 PM	
製品温度 データなし +0.0 °C 01:01:1970 12:00:00 AM	
水位レベル データなし +0.000 m 01:01:1970 12:00:00 AM	
深さ値	
見掛容量 未校正 +77.378 m³	自由水容量 データなし +0.041 m³
見掛測定容量 未校正 +77.337 m³	

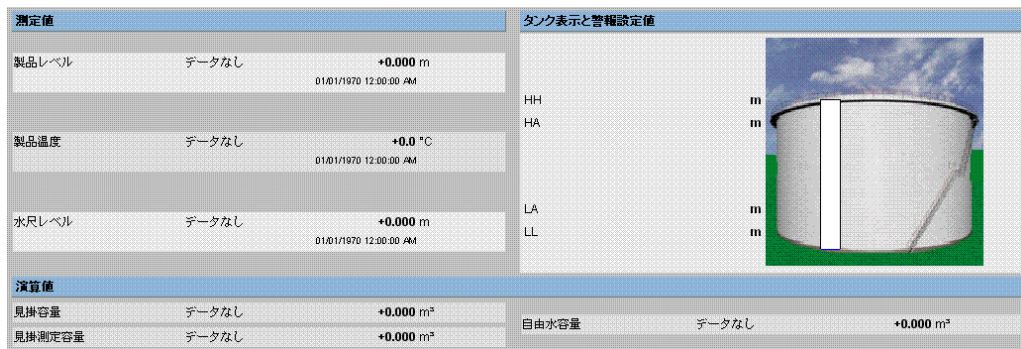
日付	イベント	ステータス	ステータス	異常	警報内容	警報発生元	値	E-mail	ユーザーID	FG タグネ	イベントID	オプション
07/09/2009 02:	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17.000 m未設定	なし		NXA820_A700	6	<input type="checkbox"/>
07/09/2009 02:	警報	作動中	未確認	製品レベル	HH	Tank-4	+17.000 m未設定	なし		NXA820_A700	5	<input type="checkbox"/>
07/09/2009 02:	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-3	+19.000 m未設定	なし		NXA820_A700	4	<input type="checkbox"/>
07/09/2009 02:	警報	作動中	未確認	製品レベル	HH	Tank-3	+19.000 m未設定	なし		NXA820_A700	3	<input type="checkbox"/>
07/09/2008 02:	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-2	+19.000 m未設定	なし		NXA820_A700	21	<input type="checkbox"/>

### 7.1 「全般詳細」タブ

「全般詳細」タブには、最も重要なタンク データが動的に表示されます。

「全般詳細」の表示方法

1. 「タンク詳細」画面の「全般詳細」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



他のパラメータを表示する場合は、右側のスクロールバーを使用します。

フィールド	説明
測定値	このフィールドは、製品パラメータの測定値（温度、圧力、密度、水レベル）とその単位を表示します。測定値とともに、パラメータの値が変更された日付と時刻も表示されます。
タンク表示と警報設定値	この領域には、タンク画像とそのタンクに対応する警報設定値が表示されます。
演算値	この領域には、製品パラメータの演算値（容量、タンク容量、基準密度、浮屋根補正、製品質量、ペーパー質量）とその単位が表示されます。
製品移送詳細	この領域には、製品移送のステータスと詳細が表示されます。
設定データ	この領域には、演算に使用する設定データが表示されます。

## 7.2 「マニュアル データ」タブ

「マニュアル データ」タブでは、製品レベル、温度、密度、および圧力をマニュアルで入力することが可能です。

マニュアル データの入力方法

1. 「マニュアル データ」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

パラメータ名	マニュアル/ゲージ値	自動	サーボ	マニュアル
製品レベル:	+10.000 07/09/2009 01:58:52 PM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
水尺レベル:	+0.000 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
製品温度:	+0.0 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ベーパー温度:	+0.0 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
周囲温度:	+0.0 01/01/1970 01:00:00 AM	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
測定密度:	+0.0 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
サンプル温度:	+0.0 <input type="checkbox"/> 比重補正 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
基準密度:	+0.0 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ベーパー圧力:	+0.00 <input checked="" type="radio"/> 絶対 <input type="radio"/> 相対 01/01/1970 01:00:00 AM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
マニュアル上書き 日付 (mm/dd/yyyy):	07/13/2009			<input checked="" type="radio"/>
マニュアル上書き 時刻 (HH:MM:SS AM):	04 07 16 PM			<input checked="" type="radio"/>

列	説明
パラメータ名	この列はマニュアルで設定できるタンク パラメータを表示します。
マニュアル / ゲージ値	この列は当該パラメータのデータを入力するためのテキストボックスを表示します。
自動	フィールドスキャンにより自動的にパラメータを更新する場合には、「自動」を選択します。
サーボ	サーボ元によりパラメータを更新する場合には、「サーボ」を選択します。これは水レベルに使用されます。
マニュアル	マニュアルでパラメータを更新する場合には、「マニュアル」を選択します。

フィールド	説明
製品レベル	適切な製品レベルの値を横のテキストボックスに入力します。このフィールドのデータ型は数値型です。
水レベル	適切な水レベルの値を横のテキストボックスに入力します。このフィールドのデータ型は数値型です。
製品温度	適切な製品温度の値を横のテキストボックスに入力します。このフィールドは、タンク内の製品の温度を表示します。このフィールドのデータ型は数値型です。
ベーパー温度	適切なベーパー温度の値を横のテキストボックスに入力します。このフィールドは、タンク内のベーパー温度を表示します。このフィールドのデータ型は数値型です。
周囲温度	適切な周囲温度の値を横のテキストボックスに入力します。このフィールドは、タンク外側の周囲温度を表示します。このフィールドのデータ型は数値型です。
測定密度	適切な測定密度の値を横のテキストボックスに入力します。このフィールドは、タンク内の製品の測定密度を表示します。このフィールドのデータ型は数値型です。

フィールド	説明
サンプル温度	サンプルの密度測定時の温度を横のテキストボックスに入力します。 このフィールドは、密度サンプルの温度を表示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
比重補正	密度の比重補正を有効にする場合には、このチェックボックスを選択します。
基準密度	適切な基準密度の値を横のテキストボックスに入力します。 このフィールドは、タンク内の製品の基準密度を表示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
ベーパー圧力	適切なベーパー圧力の値を横のテキストボックスに入力します。 このフィールドは、タンク内の製品のベーパー圧力を表示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。 フィールドの下にあるラジオボタンで圧力測定法を選択します：「絶対」または「相対」。
マニュアル上書き日付	適切な日付をテキストボックスに入力します。この日付は、マニュアルでの入力値の時刻スタンプとして使用されます。 このフィールドのデータ型は日付型です。
マニュアル上書き時刻	適切な時刻をテキストボックスに入力します。この時刻は、マニュアルでの入力値の時刻スタンプとして使用されます。 このフィールドのデータ型は時刻型です。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

タンク パラメータの値をマニュアル入力すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 7.3 「ゲージ コマンド」 タブ

このセクションでは以下の項目について説明します。

- ・ ゲージ コマンド スケジュール
- ・ ゲージ コマンドの送信

すべてのゲージは、特定のコマンド セットをサポートしています。タンクビジョン システムはこれらのゲージをサポートしており、ゲージ データと対応するゲージ コマンドを「ゲージ定義ファイル」に保存しています。ゲージ コマンドの機能は、タンクに割当てられたゲージ タイプに依存しますが、一方でゲージ コマンドの完了はゲージ ステータスやゲージ コマンド ステータスに左右されます。タンクビジョン システムはゲージ コマンドの設定中に「ゲージ定義ファイル」からこれらのコマンドを読み込みます (40 ページ参照)。

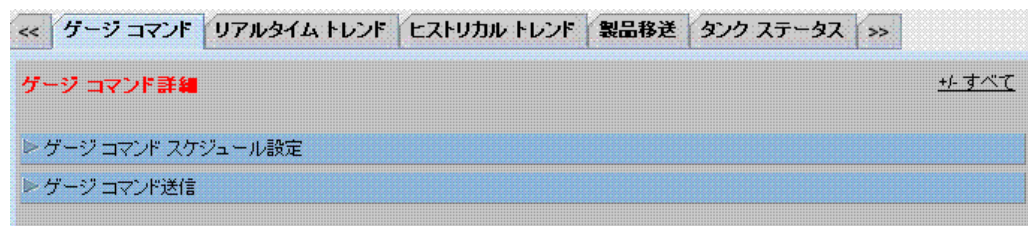
権限を有するユーザーであれば、ゲージ コマンドのスケジュール作成と送信を行うことができます。ゲージ コマンドの多くは、サーボ ゲージ用の独自のものです。タンクに取り付けられたゲージにマニュアルで送信することも、自動的に送信されるようにスケジュール作成することもできます。

#### 7.3.1 ゲージ コマンド スケジュール

タンクビジョン システムでは、ゲージ コマンドのスケジュール作成が可能です。それにより、即時あるいは一定時間後にゲージ コマンドを実行できます。オペレータがゲージ コマンドのスケジュールを設定できるのは、「ゲージ コマンド」設定画面で特定のゲージ コマンドが使用可能になっている場合に限られます。

ゲージ コマンドのスケジュール作成方法

1. 「ゲージ コマンド」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「ゲージ コマンド スケジュール」の をクリックすると、次のような画面が表示されます。

Tank-1 - Petrol ページはNXA820\_A7002A01101 (192.168.2.44)からロードされています 07/13/2009 4:12:21 PM GMT+00

タンク所在地	Terminal-1	浮屋根ステータス	なし	タンク高さ	+20.000 m
保残ステータス	未封印	閉部ステータス	なし	タンク全容量	+49.738 m <sup>3</sup>

<< ゲージコマンド リアルタイムトレンド ヒストリカルトレンド 製品移送 タンク ステータス >>

**ゲージ コマンド詳細** +/- すべて

▶ ゲージコマンド スケジュール設定

▶ ゲージコマンド送信

---

▼ ゲージコマンドスケジュール設定

エラー このタンクはフィールドスキャン用に設定されていません

ゲージタイプ:  スケジュールタイプ:

ゲージコマンド:  ステータス:

間隔:  時刻:

日付: (mm/dd/yyyy)  時刻:

使用可  使用不可

ゲージ コマンド	スケジュール タイプ	日付	開始時刻	間隔	スケジュール作成者作動中	ステータス	処理

フィールド	説明
タンク所在地	このフィールドは、タンクの所在地名を表示します。
浮屋根ステータス	このフィールドは、タンクの浮屋根ステータスを表示します。
タンク高さ	このフィールドは、タンクの高さを表示します。

フィールド	説明
保税タンク ステータス	このフィールドは、保税タンク封印スイッチのステータスを表示します。
脚部ステータス	このフィールドは、脚部のステータスを表示します。
タンク全容量	このフィールドは、タンク的全容量を表示します。
ゲージ タイプ	このフィールドは、ゲージ タイプを表示します。
ゲージ コマンド	ドロップダウン リストから適切なゲージ コマンドを選択します。 このフィールドのデータ型は文字型です。
スケジュール タイプ	ドロップダウン リストから適切なスケジュール タイプを選択します。 ゲージ コマンドを「1 回送信」、または「自動繰り返し」としてスケジュールを設定することができます。 「1 回送信」: ゲージ コマンドを 1 回だけ送信する場合には、これを選択します。 「自動繰り返し」: これを選択すると、「間隔」フィールドが入力可能になります。 このフィールドでは、ゲージ コマンドを一定期間ごとに送信するようスケジュール設定することができます。 このフィールドのデータ型は文字型です。
間隔	適切な間隔をテキストボックスに入力します。ゲージ コマンドのスケジュールタイプで「自動繰り返し」を選択すると、このフィールドは入力可能になります。 このフィールドのデータ型は数値型です。 また、横のテキストボックスで: ドロップダウン リストから適切な間隔の単位を選択します。時間または分間隔でゲージ コマンドのスケジュールを設定することが可能です。 このフィールドのデータ型は文字型です。
日付	適切な日付を入力するか、ドロップダウン カレンダーから選択します。 タンクビジョン システムでは、ゲージ コマンドの送信日を選択することが可能です。 このフィールドのデータ型は英数字型です。 また、適切な時刻 (時間と分) を入力するか、各ドロップダウン リストから選択します。 タンクビジョン システムでは、ゲージ コマンドを送信する正確な時刻を選択することが可能です。 ゲージ コマンドのスケジュール タイプが「自動繰り返し」の場合は、テキストボックスに入力された時刻は最初にゲージ コマンドが送信される時刻を示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
ステータス	適切なオプションを選択します。 このフィールドは、ゲージ コマンドのステータスを示します。このフィールドで、ゲージ コマンドを使用可または使用不可にすることができます。

3. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
4. 「送信」 ボタンをクリックしてゲージ コマンドを送信するか、または「リセット」 ボタンをクリックして終了します。
5. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意!**  
ゲージ コマンドを送信すると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」 タブに表示されます。

エラー メッセージ

1. 「ゲージ コマンドを送信できません。タンク ステータスがマニュアル、メンテナンス中、またはロック中です」  
このメッセージは、タンク ステータスが「マニュアル」、「メンテナンス中」、「ロック」のときにゲージ コマンドを送信した場合に表示されます。

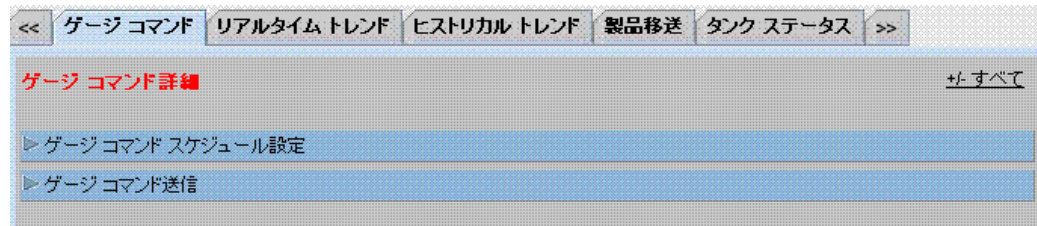
### 7.3.2 ゲージ コマンド送信


タンクビジョン システムでは、タンクに取り付けられたゲージにコマンドを送信することが可能です。ゲージ コマンドを送信できるのは、「ゲージ コマンド」設定画面でそのタンクの特定のコマンドが使用可能になっている場合に限られます。

ゲージ コマンドを送信すると、システムがゲージから適切な応答を受信するまで、そのコマンドは有効なままとなります。ゲージ コマンドに対する応答は、ゲージおよび通信プロトコルに応じて異なります。

ゲージ コマンドの送信方法

1. 「ゲージ コマンド」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「ゲージ コマンド送信」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。

選択	ゲージコマンド	コマンド パラメータ	説明
<input type="radio"/>	Level		Product Level
<input type="radio"/>	UP		Move displacer up
<input type="radio"/>	Stop		Stop the displacer
<input type="radio"/>	TB		Tank Bottom
<input type="radio"/>	UIF		Upper I/F
<input type="radio"/>	MIF		Middle I/F
<input type="radio"/>	UD		Upper Density
<input type="radio"/>	MD		Middle Density
<input type="radio"/>	LD		Lower Density
<input type="radio"/>	RT		Repeatability Test
<input type="radio"/>	WD		Water Dip

フィールド	説明
<タンク名><製品名>	このフィールドは、タンクに関連付けられたタンク名および製品名を表示します。
タンク所在地	このフィールドは、タンクの所在地名を表示します。
浮屋根ステータス	このフィールドは、タンクの浮屋根ステータスを表示します。
タンク高さ	このフィールドは、タンクの高さを表示します。
保税タンク ステータス	このフィールドは、保税タンク封印スイッチのステータスを表示します。
脚部ステータス	このフィールドは、脚部のステータスを表示します。
タンク全容量	このフィールドは、タンク的全容量を表示します。
製品レベル	このフィールドは、タンク内の製品の現在のレベルを表示します。
製品温度	このフィールドは、タンク内に貯蔵されている製品の現在温度を表示します。
作動コマンド	このフィールドは、ゲージの有効なコマンドのステータスを表示します。ゲージ コマンドが有効になると、このフィールドはゲージ コマンド名と有効になった日時を表示します。



列	説明
選択	ゲージ コマンド名に応じて適切なゲージ コマンド オプションを選択します。 ラジオボタンは、対応するゲージ コマンドが「ゲージ コマンド」画面で設定されている場合のみハイライト表示されます。
ゲージ コマンド	この列はゲージ コマンドの省略表記を表示します。
説明	この列は各ゲージ コマンドの簡単な説明を表示します。

- 適切なゲージ コマンド オプションを選択します。
- 「送信」ボタンをクリックしてゲージ コマンドを有効にするか、または「閉じる」ボタンをクリックして終了します。
- 設定が保存されると、次の確認メッセージが表示されます。



- 上の図では、「停止」オプションを除き、「選択」列はすべて使用不可になっています。ゲージ コマンドを停止させる場合には、「停止」オプションを選択してから「送信」ボタンをクリックします。



**注意！**

ゲージ コマンドが有効になると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

**エラー メッセージ**

- 「ゲージ コマンドを送信できません。タンク ステータスがマニュアル、メンテナンス中、またはロック中です」  
このメッセージは、タンク ステータスが「マニュアル」、「メンテナンス中」、「ロック」のときにゲージ コマンドを送信した場合に表示されます。

## 7.4 「リアルタイムトレンド」タブ

タンクビジョンシステムは、タンクからデータを集め、トレンドを使用してその値をモニタします。トレンドとは、時間に対する測定値の最近の変化を表した折れ線グラフのことです。リアルタイムトレンド作成はタンクビジョンユニット内で行われます。選択したタンクの時間に対する測定値と要素が、折れ線グラフで表示されます。初期設定があり、これを各タンク要素の要件に応じてカスタマイズし、トレンド上にプロットすることが可能です。

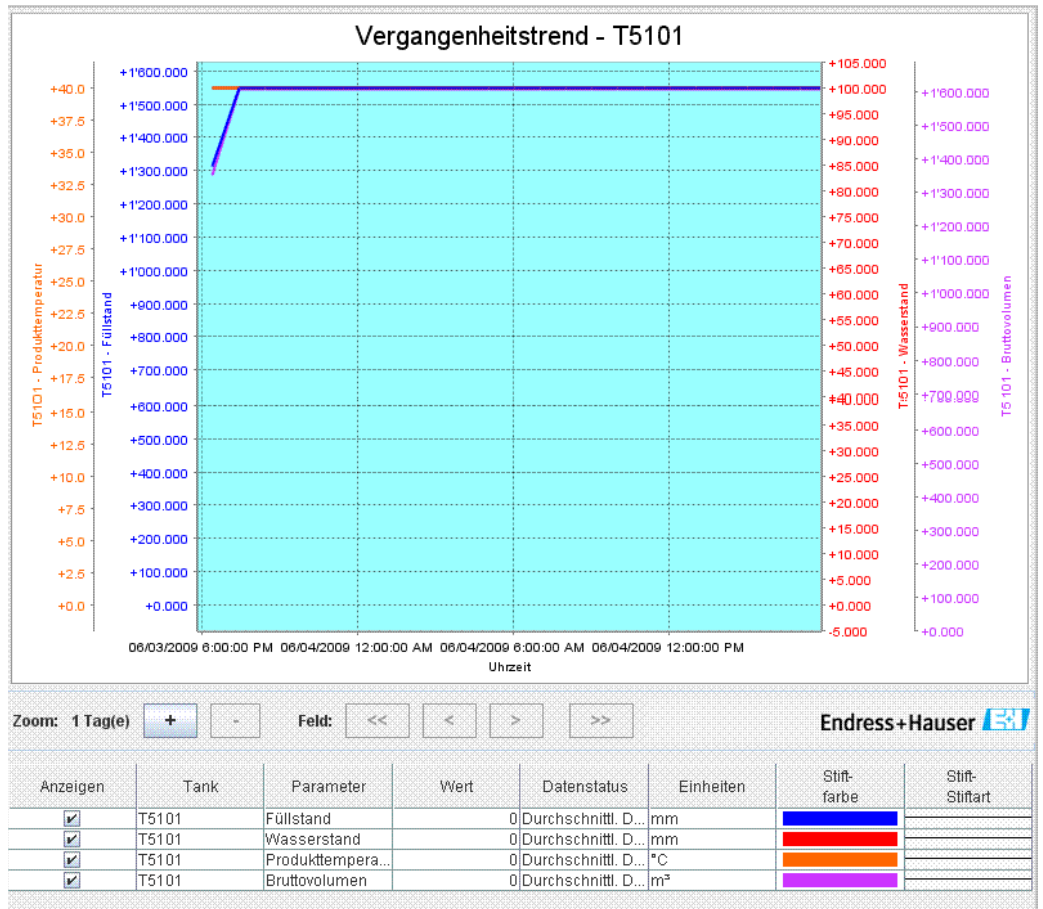
リアルタイムトレンドの表示方法

1. 「リアルタイムトレンド」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



列	説明
ペン	この列は、選択したパラメータの識別に使用するペンリスト（ペン 1、ペン 2、ペン 3、ペン 4）を示します。
パラメータ名	ドロップダウンリストから適切なパラメータを選択します。

2. 各ペンに対して適切なパラメータ名を選択し、「送信」ボタンをクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
トレンド グラフ エリア	トレンド グラフ エリアには、指定したペン設定で作成されたタンク要素の矩形グラフが表示されます。
トレンド設定	トレンド設定エリアでは、トレンドの表示設定ができます。
折れ線グラフ	トレンド設定エリアでのタンクパラメータの選択に応じて、折れ線グラフが表示されます。
プロッタ	このシステムでは、グラフエリアにカーソルでプロットできます。
ズーム	ズームアイコンで、現在の時間枠を変更することが可能です。ズームは時間枠の割合で指定されます。現在のズームレベルは、プロットエリアの幅（時間間隔）に反映されます。 <input type="button" value="+"/> 拡大は最大 20 秒まで、 <input type="button" value="-"/> 縮小は 24 時間までできます。
パン	パンアイコンで、トレンドに表示される現在の時間枠を変更することが可能です。 <input type="button" value="&lt;&lt;"/> 「最初へ」ボタンでは、トレンドの定期的なデータバッファの中で最も古い利用可能な値に戻してトレンド表示します。 <input type="button" value="&lt;"/> 「1 つ前へ」ボタンでは直前、つまり 1 つ前の時間枠を表示します。 <input type="button" value="&gt;"/> 「次へ」ボタンでは、次の時間枠を表示します。 <input type="button" value="&gt;&gt;"/> 「最後へ」ボタンでは現在、つまり最新のトレンド値を表示します。
表示	当該タンクパラメータの折れ線グラフを表示する場合には、適切なチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、当該タンクパラメータの折れ線グラフは作成されません。
タンクパラメータ	この列は、折れ線グラフとして表示できるパラメータのリストを示します。

フィールド	説明
値	値の列は、現在のプロッタ位置におけるタンクパラメータの値を示します。この列のヘッダーには日付と時刻が表示されます。トレンド表示するように現在選択されていないタンクパラメータの値や、プロッタ位置の値のステータスが「エラー」の場合は、値が表示されません。その場合、この行は薄青色で表示されます。
データステータス	この列はデータのステータスを示します。ステータスが「OK」の値のみがプロットされます。
単位	この列はタンクパラメータの単位を示します。
ペン色	カラーパレットをクリックして、折れ線グラフに使用する固有の色を選択します。この列は、折れ線グラフの作成に使用するペン色を示し、特定のタンクパラメータ値がこの色でトレンドに表示されます。
ペンスタイル	ペンスタイルをクリックして、当該パラメータを表示する線種を選択します。この列は、折れ線グラフの線種を示し、特定のタンクパラメータ値がこの線種でトレンドに表示されます。

**注意！**

トレンドグラフエリアをクリックすると、トレンドがプロットされます。プロッタはリアルタイムで移動します。トレンド設定エリアには、プロットカーソル位置でプロットされているパラメータ値がすべて表示されます。

### 7.5 「ヒストリカルトレンド」タブ

タンクビジョン システムは、タンクからデータを集め、トレンドを使用してその値をモニタします。トレンドとは、時間に対する測定値の最近の変化を表した折れ線グラフです。ヒストリカルトレンド作成は NXA820 ユニット内で行われます。選択したタンクの時間に対する測定値と要素が、折れ線グラフで表示されます。初期設定があり、これを各タンク要素の要件に応じてカスタマイズすることが可能です。

ヒストリカルトレンドの表示方法

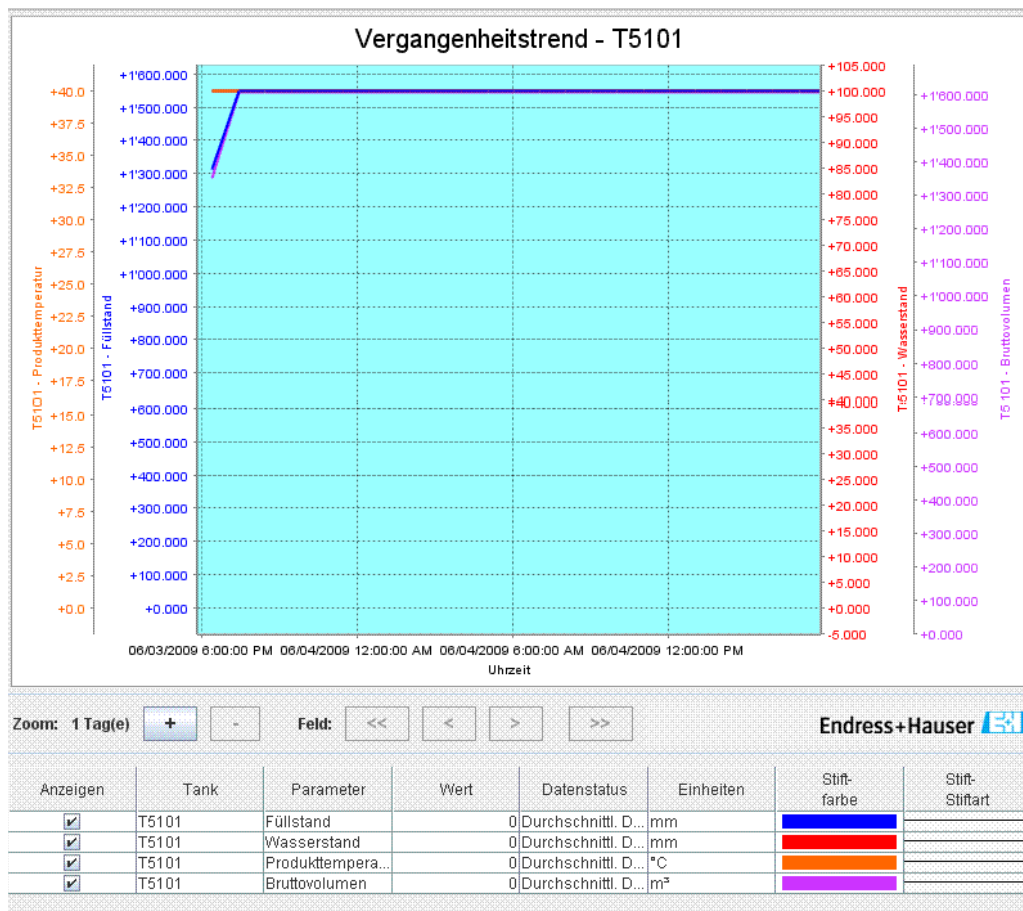
1. 「ヒストリカルトレンド」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

Stift	Tankname	Parametername
Stift 1	T5101	Füllstand
Stift 2	T5101	Wasserstand
Stift 3	T5101	Produkttemperatur
Stift 4	T5101	Bruttovolumen TOV

フィールド	説明
開始日	適切なデータ形式で開始日を入力し、ドロップダウン リストから開始時刻を選択します。
終了日	適切なデータ形式で終了日を入力し、ドロップダウン リストから終了時刻を選択します。

列	説明
ペン	この列は、選択したパラメータの識別に使用するペン リスト (ペン 1、ペン 2、ペン 3、ペン 4) を示します。
タンク名	この列はタンク名を示します。
パラメータ名	ドロップダウン リストから適切なパラメータを選択します。

2. 「ヒストリカルトレンド表示」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



上記画面の説明については、「リアルタイムトレンドの表示方法」セクション（50 ページ）を参照してください。

## 7.6 「製品移送」タブ

このセクションでは以下の項目について説明します。

- ・ 製品移送のライフ サイクル
- ・ 製品移送のステータス

製品移送とは、日常のタンク ファーム操作のことです。タンク ファームの操作では、製品をポンプでタンクへの受け入れや払い出しを行います。タンクは、パイプライン、タンカー、船、または別のタンクから製品を受け入れます。また、タンクから製品をパイプライン、タンカー、船、または別のタンクへポンプ送りすることもあります。

タンクに製品を充填する場合は、使用できるタンクの容量を確認する必要があります。同様に、タンクから製品をポンプ送りする場合は、タンク内の製品容量を確認しなければなりません。タンクビジョンでは、オペレータが新規の製品移送を作成することが可能です。タンクビジョンは製品移送を制御するものではありませんが、製品移送のモニタ、および製品移送のデータとレポートの作成を行います。

タンクに貯蔵している製品を企業が別の企業に販売する場合、そのタンクが正確な測定の保税タンクとして認証を受けていることが重要になります。タンクビジョン システムでは、システムを校正することによりそのような設備を提供し、保税タンクとして承認を得ることができます。保税タンクとして認証を受けたタンクはすべて、保管移送に使用することが可能です。この場合、製品移送レポート (67 ページ参照) に保税タンク承認ステータスが記載され、正確な量の製品が移送されたことの証明として使用できます。

### 7.6.1 製品移送のライフ サイクル

タンクビジョン システムでは、製品移送の作成、完了、中止が可能です。製品移送を作成すると、製品移送をモニタして「製品移送開始 (作動中)」、「製品移送一時停止」または「製品移送完了」を検知します。

製品移送のライフ サイクル

製品移送では、そのライフ サイクルを通じて以下のことが行われます。

- ・ タンクの製品移送の作成
- ・ 製品移送開始の検知
- ・ 移送一時停止の検知
- ・ 移送完了の検知
- ・ 移送の完了または中止
- ・ 製品移送レポート

タンクの製品移送の方法

1. 「製品移送」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

The screenshot displays the '製品移送' (Product Transfer) configuration screen. At the top, there are navigation tabs: '<< 製品移送 | タンク ステータス | 製品割当て | 製品移送レポート | タンク演算 >>'. The main form area contains the following fields and values:

- 移送元/移送先: Source
- 移送タイプ: 受入
- バッチ モード: 容量
- バッチ サイズ: [ ] m<sup>3</sup>
- 最小バッチ偏差 %: 95 %
- 最大バッチ偏差 %: 105 %
- 事前警報 %: 80 %
- コメント: [ ]
- E-Mail アドレス: [ ]

A '送信' (Send) button is located at the bottom right of the form.

フィールド	説明
移送元 / 移送先	製品の流入または流出のステータスが表示されます。移送タイプが「受入」の場合、このフィールドには「移送元」が表示されます。移送タイプが「払出」の場合、このフィールドには「移送先」が表示されます。
移送タイプ	ドロップダウン リストから適切な製品移送タイプを選択します。 このフィールドで「受入」または「払出」オプションを選択することにより、製品をタンク内へまたはタンク外へ移送できるようになります。 「受入」：製品がタンクに充填されます。 「払出」：製品がタンクからポンプ送りされます。 新規の製品移送を作成すると、このフィールドは入力できなくなります。
バッチ モード	ドロップダウン リストから適切なバッチ モードを選択します。 このフィールドでは、製品移送のモードを選択することが可能です。バッチモードには「容量」と「質量」があります。 「容量」：移送する製品の量を合計測定容量 (TOV) で指定します。 「質量」：移送する製品の量を質量で指定します。 新規の製品移送を作成すると、このフィールドは入力できなくなります。
バッチ サイズ	適切なバッチ サイズをテキストボックスに入力します。 このフィールドは、移送する製品の量を表示します。単位は、製品移送モードが「容量」か「質量」かに応じて異なります。 このフィールドのデータ型は数値型です。
最小バッチ偏差 %	最小バッチ偏差 % を入力します。 このフィールドは、製品移送が完了したかどうかの判定に使用されます。次の場合、製品搬送は完了したとみなされます。 ・ これまでに移送された製品の量 (バッチ モードにより演算) が、バッチ サイズの最小バッチ偏差 % 以上、最大バッチ偏差 % 未満で、 ・ なおかつ容量変更レートが容量の最小変更レート未満の場合 このフィールドのデータ型は数値型です。
最大バッチ偏差 %	最大バッチ偏差 % を入力します。 このフィールドは、製品移送が完了したかどうかの判定に使用されます。次の場合、製品搬送は完了したとみなされます。 ・ これまでに移送された製品の量 (バッチ モードにより演算) が、バッチ サイズの最小バッチ偏差 % 以上、最大バッチ偏差 % 未満で、 ・ なおかつ容量変更レートが容量の最小変更レート未満の場合 このフィールドのデータ型は数値型です。
事前警報 %	事前警報 % を入力します。 移送された製品の量 (バッチ モードにより演算) が、「受入」移送の際にバッチ サイズの事前警報 % を上回って増加した場合、または「払出」移送の際に事前警報 % 下回って減少した場合、事前警報が発生します。 このフィールドのデータ型は数値型です。
コメント	コメント フィールドに適切なコメントを入力します。 このフィールドには、製品移送に関するコメントを入力することが可能です。 この情報は製品移送レポートに記録されます。 このフィールドのデータ型は文字型です。
E-Mail アドレス	適切な E-mail アドレスを入力します。 製品の移送が完了すると、このフィールドに入力した E-mail アドレス宛てに、E-mail で製品移送レポートが送信されます。
移送ステータス	このフィールドは、製品移送のステータスを表示します。 製品移送ステータスには、「準備完了」、「作動中」、「一時停止」、「完了」、「終了」または「中止」があります。 ・ 「準備完了」 (開始準備が整っている) ・ 「作動中」 (実行中) ・ 「一時停止」 (保留状態) ・ 「完了」 (最低バッチ偏差 % が 0 に達して、流量が 0 になった場合) ・ 「終了」 (タンク移送の終了) ・ 「中止」 (終了する前に直ちに停止)

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして、新規の製品移送を作成します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。





注意！

製品移送を作成すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 7.6.2 製品移送のステータス

### 新規製品移送の作成

システムで製品移送の前提条件を設定した後の最初のステップは、新規の製品移送の作成です。新規製品移送の作成中は、タンクの移送ステータスは「なし」となります。製品移送ステータス「なし」は、そのタンクに関連する製品移送（「準備完了」または「作動中」ステータス）がなく、したがって新規の製品移送を作成できるということを意味しています。ステータスが「なし」のタンクビジョンの画像は次のようになります。

### 製品移送詳細の確認

新規製品移送を作成すると、そのタンクは製品移送が「準備完了」になったとみなされます。製品移送開始を自動検知するために、製品移送が「準備完了」となったタンクのモニタが始まります。製品移送が準備完了になると、現行の移送をキャンセルしない限り、そのタンクに対して別の製品移送を作成することはできません。

ステータスが「準備完了」のタンクビジョンの画像は次のようになります。



### 注意！

ステータスが「なし」から「準備完了」に変わると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

### 製品移送開始の検知

製品移送の準備が完了すると、レベルおよびレベル変更レートに基づいて製品移送の開始が検知されます。次の場合、製品移送の開始処理が行われ、製品移送ステータスは「作動中」に変わります。

- ・ 製品レベルが、最低レベル変更より大きく変わり、なおかつレベル変更レートが流量演算詳細で設定された最小レベル変更レートより大きい場合
- ・ ステータスが製品移送「作動中」になると、作動中の移動を終了または中止しない限り、そのタンクに対して別の製品移送を作成することはできません。
- ・ ステータスが「作動中」のタンクビジョンの画像は次のようになります。

Tank-1 - Petrol ページはNXA820\_A1 (192.168.2.65)からロードされています 05/25/2008 4:41:04 PM GMT+00

タンク所在地:	Terminal-1	浮屋根ステータス:	なし	タンク高さ:	+2.000 m
保税ステータス:	未封印	脚部ステータス:	なし	タンク全容量:	+0.000 m³
製品イナージェレベル:	+0.387 m	見掛容量:	+38.660 m³	製品 (液体) 質量:	+0.000 Ton
GOV:	+38.660 m³	GSV:	+38.660 m³	NSV:	+38.660 m³
移送終了時の製品イナージェレベル: +0.187 m		移送終了時の見掛容量: +18.660 m³			

<< 浸漬データ ゲージコマンド リアルタイムトレンド ヒストリカルトレンド 製品移送 >>

移送元/移送先: Source

製品移送作成の日付と時刻: 05/25/2008 04:37:05 PM

移送タイプ: 抽出

バッチモード: 容量

バッチサイズ容量:  m³

バッチサイズ質量:  Ton

最小バッチ偏差 %:  %

最大バッチ偏差 %:  %

事前警報 %:  %

コメント:

E-Mail アドレス:

移送ステータス	OK	PAUSED なし	流れ方向	OK	IN なし
バッチサイズ (容量)	OK	+20.000 m³	バッチサイズ (質量)	OK	+20.000 Ton
容量流量	OK	+0.4 m³/min	質量流量	OK	+0.0 ton/min
移送済み容量	OK	+10.880 m³	移送済み質量	OK	+0.000 Ton
完了時間	OK	00:00:00 なし	54%		

### 製品移送の一時停止

次の場合、作動中の製品移送に対して一時停止処理が行われ、製品移送ステータスは「一時停止」に変わります。

- ・ 流量が最小容量変更レートを下回った場合
  - ・ レベル変更レートが、タンク流量演算詳細で設定された最小レベル変更レートを下回り、
  - ・ なおかつ、移送された製品の量がバッチサイズの最小バッチ偏差%未満の場合
- ステータスが「一時停止」のタンクビジョンの画像は次のようになります。

製品移送が変更されました

移送元/移送先: Source  
 製品移送作成の日付と時刻: 05/25/2008 07:44:50 PM  
 移送タイプ: 払出  
 バッチモード: 容量  
 バッチサイズ容量: +20.000 m³  
 バッチサイズ質量: +20.000 Ton  
 最小バッチ偏差 %: 95 %  
 最大バッチ偏差 %: 105 %  
 事前警報 %: 80 %

コメント:  
 E-Mail アドレス:

送信 製品移送 中止 製品移送 完了

移送ステータス	OK	PAUSED なし	流れ方向	OK	STEADY なし
バッチサイズ (容量)	OK	+20.000 m³	バッチサイズ (質量)	OK	+20.000 Ton
容量流量	OK	+0.0 m³/min	質量流量	OK	+0.0 ton/min
移送済み容量	OK	+13.770 m³	移送済み質量	OK	+0.000 Ton
完了時間	OK	00:00:00 なし	60%		

製品移送の完了

次の場合、製品搬送は完了したとみなされます。

- ・ これまでに移送された製品の量 (バッチモードにより演算) が、バッチサイズの最小バッチ偏差 % 以上、最大バッチ偏差 % 未満で、
  - ・ なおかつ容量変更レートが容量の最小変更レート未満の場合
- ステータスが「完了」のタンクビジョンの画像は次のようになります。

Tank-1 - Petrol ページはNXA820\_A1 (192.168.2.65) からロードされています 05/25/2008 4:51:05 PM GMT+00

タンク所在地:	Terminal-1	浮屋根ステータス:	なし	タンク高さ:	+2.000 m
保税ステータス:	未封印	脚部ステータス:	なし	タンク全容量:	+0.000 m³
製品イナージェルレベル:	+0.387 m	見掛容量:	+38.660 m³	製品 (液体) 質量:	+0.000 Ton
GOV:	+38.660 m³	GSV:	+38.660 m³	NSV:	+38.660 m³
移送終了時の製品イナージェルレベル: +0.187 m		移送終了時の見掛容量: +18.660 m³			

浸漬データ ゲージコマンド リアルタイムトレンド ヒストリカルトレンド 製品移送

製品移送が変更されました

移送元/移送先: Source  
 製品移送作成の日付と時刻: 05/25/2008 04:37:05 PM  
 移送タイプ: 払出  
 バッチモード: 容量  
 バッチサイズ容量: +20.000 m³  
 バッチサイズ質量: +20.000 Ton  
 最小バッチ偏差 %: 95 %  
 最大バッチ偏差 %: 105 %  
 事前警報 %: 80 %

コメント:  
 E-Mail アドレス:

送信 製品移送 中止 製品移送 完了

移送ステータス	OK	COMPLETED なし	流れ方向	OK	STEADY なし
バッチサイズ (容量)	OK	+20.000 m³	バッチサイズ (質量)	OK	+20.000 Ton
容量流量	OK	+0.1 m³/min	質量流量	OK	+0.0 ton/min
移送済み容量	OK	+20.000 m³	移送済み質量	OK	+0.000 Ton
完了時間	OK	00:00:00 なし	100%		

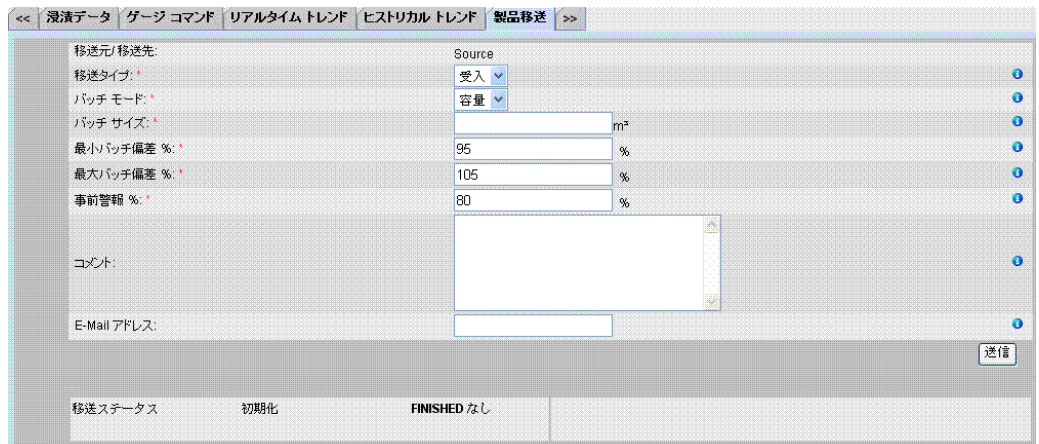
**注意！**

製品移送が完了すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

**製品移送の終了**

製品移送が完了する前に、製品移送の終了を選択することができます。タンクが移送「作動中」の段階にある場合、製品移送を「終了」することが可能です。

ステータスが「終了」のタンクビジョンの画像は次のようになります。



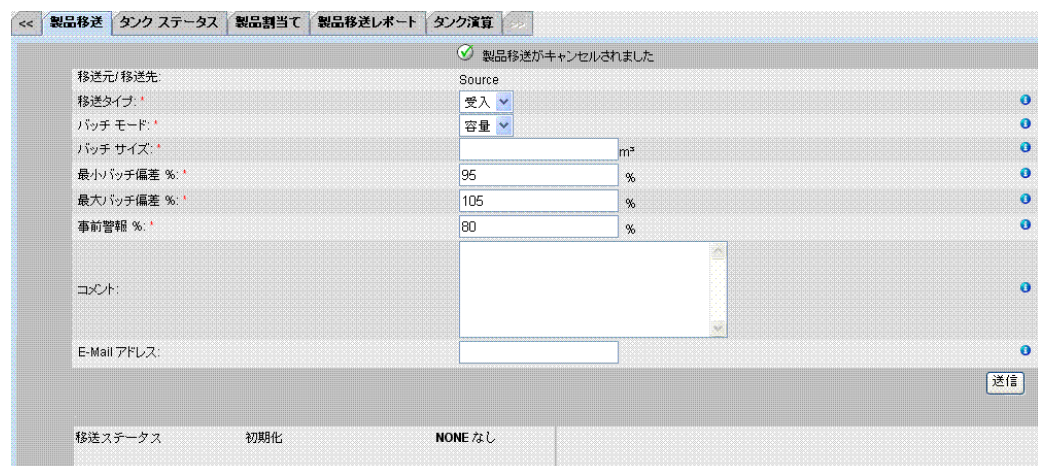
- ・ 製品移送終了の確認のためのポップアップメッセージが表示されます。
- ・ マニュアルで製品移送を終了すると、「製品移送レポート」が生成、表示されます。
- ・ ユーザーによって製品移送が終了されると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。
- ・ 製品移送ステータスが「完了」の場合は、マニュアルで製品移送を終了することはできません。

**製品移送の中止**

製品移送が完了する前に、製品移送の中止を選択することができます。タンクが移送「作動中」の段階にある場合、製品移送を「中止」することが可能です。

製品移送が中止されると、製品移送の開始と終了に関するデータは記録されません。この場合、異なるデータセットが維持されます。先に完了または終了した製品移送のデータが保持され、中止された製品移送のデータは破棄されます。

ステータスが「中止」のタンクビジョンの画像は次のようになります。



**注意！**

- ・ 製品移送中止の確認のためのポップアップ メッセージが表示されます。
- ・ 製品移送が中止されると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

**エラー メッセージ**

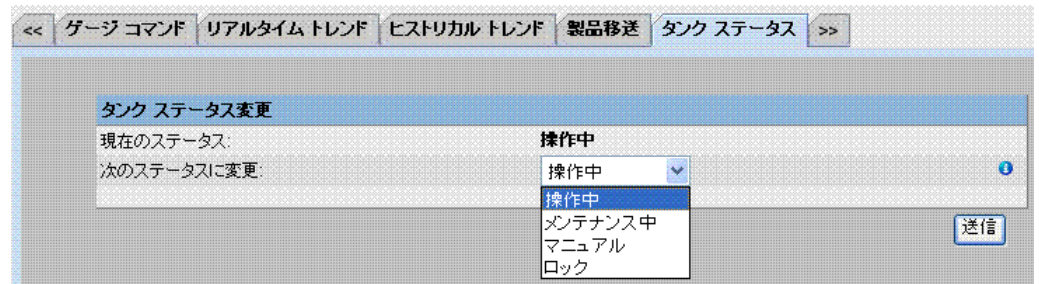
1. 「新規の製品移送用にタンクを準備完了にできません。タンクに製品が割当てられていません」  
このメッセージは、製品移送を作成するとき、タンクに「プロダクトなし」が割当てられている場合に表示されます。
2. 「タンク ステータスはロック中です。ロックされているタンクには新規の製品移送を作成できません」  
このメッセージは、製品移送を作成するとき、タンク ステータスが「ロック」になっている場合に表示されます。
3. 「タンク ステータスはメンテナンス中です。メンテナンス中のタンクには新規の製品移送を作成できません」  
このメッセージは、製品移送を作成しようとしたときに、タンク ステータスが「メンテナンス中」になっている場合に表示されます。
4. 「バッチ サイズはゼロにできません。バッチ サイズを入力しない場合は、フィールドを空欄にしてください」  
このメッセージは、バッチ サイズのユーザー入力値がゼロの場合に表示されます。
5. 「バッチ サイズはゼロより大きくなければいけません」  
このメッセージは、バッチ サイズのユーザー入力値がゼロ未満の場合に表示されます。
6. 「バッチ サイズは残存タンク容量より小さくなければいけません」  
このメッセージは、移送タイプが「受入」のとき、バッチ サイズのユーザー入力値が残存タンク容量より大きい場合に表示されます。
7. 「バッチ サイズは利用可能な製品量より小さくなければいけません」  
このメッセージは、移送タイプが「払出」のとき、バッチ サイズのユーザー入力値が利用可能な製品量より大きい場合に表示されます。
8. 「最低バッチ偏差は最大バッチ偏差より小さくなければいけません」  
このメッセージは、最低バッチ偏差のユーザー入力値が最大バッチ偏差以上の場合に表示されます。
9. 「事前警報 % はゼロより大きくなければいけません」  
このメッセージは、事前警報 % のユーザー入力値がゼロ以下の場合に表示されます。
10. 「事前警報 % は最低バッチ偏差より小さくなければいけません」  
このメッセージは、事前警報 % のユーザー入力値が最低バッチ偏差より大きい場合に表示されます。

### 7.7 「タンク ステータス」 タブ

タンクビジョン システムのタンクには、オペレータが変更できるステータスが関連付けられています。

タンク ステータスの変更方法

1. 「タンク ステータス」 タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
現在のステータス	タンクの現在のステータスが表示されます。
ステータスの変更方法	<p>ドロップダウン リストから適切なステータス タイプを選択します。このフィールドでは、タンクのステータスを選択することが可能です。ステータスには以下があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 操作中：タンクは通常運転になります。</li> <li>・ メンテナンス中：タンクは保守状態になります。保守時の際にはタンクは必ず空で、ゲージ コマンドや製品移送などのタンク操作は実行できません。フィールドスキャンは必要ありません。</li> <li>・ マニュアル：タンクはマニュアル運転になり、データの自動測定は行われません。タンク パラメータはすべてマニュアル モードで、フィールドスキャンはオフ モードです。製品移送は実行できます。</li> <li>・ ロック：通常タンクは充填された状態ですが、製品移送ができないようロックされています。製品移送以外のすべての動作は実行可能です。</li> </ul> <p>タンク ステータスごとの実行可能な動作については「タンク ステータス変更マトリックス」(63 ページ) を参照してください。また、タンク ステータス パーグラフでの通知については「タンク ステータス インジケータ」(64 ページ) を参照してください。</p>

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして、タンク ステータスを変更します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

タンク ステータスを変更すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

#### 7.7.1 タンク ステータス変更マトリックス

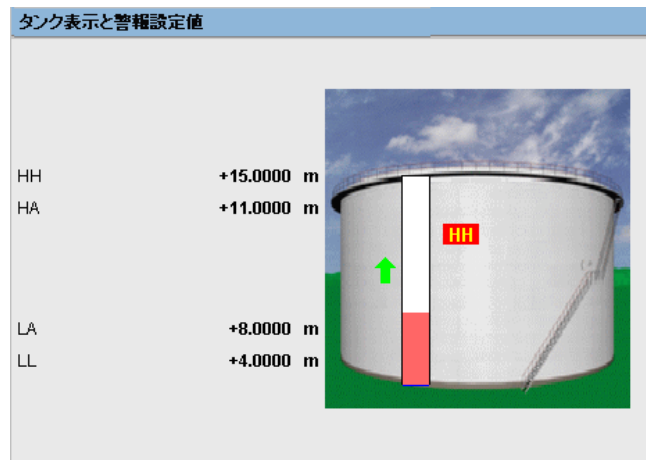
各種タンク ステータスごとの実行可能な動作は以下の通りです。

動作 / タンク ステータス	操作中	マニュアル	メンテナンス	ロック
在槽値演算	はい	はい	いいえ	はい
製品移送	はい	はい	いいえ	いいえ

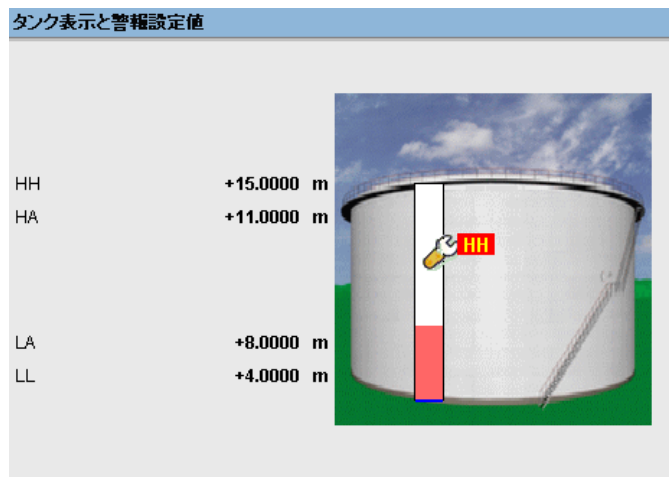
動作 / タンク ステータス	操作中	マニュアル	メンテナンス	ロック
ゲージ コマンド	はい	いいえ	いいえ	いいえ
容量変更警報の発生	いいえ	いいえ	いいえ	はい
スキャン	はい	いいえ	いいえ	はい
警報の発生	はい	いいえ	いいえ	はい

### 7.7.2 タンク ステータス インジケータ

タンクビジョンでは、全般詳細セクションの「タンク表示と警報設定値」セクションにタンクステータスが表示されます。  
タンクステータスが「操作中」に変更されると、「タンク表示と警報設定値」セクションに次のようにタンクステータスが表示されます。

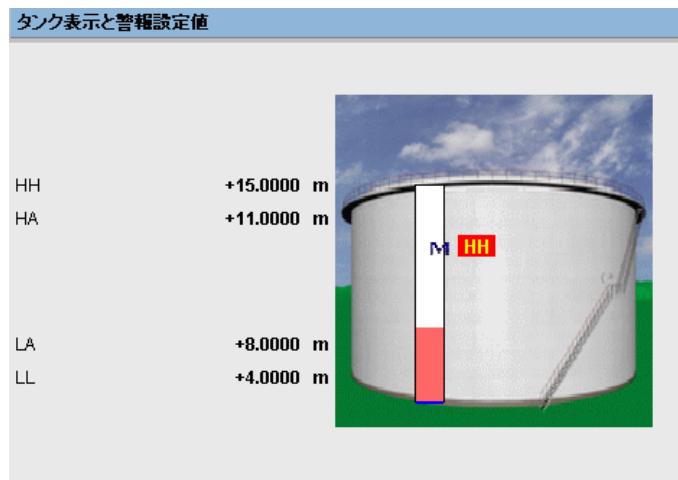


タンクステータスが「メンテナンス中」に変更されると、「タンク表示と警報設定値」セクションに次のようにタンクステータスが表示されます。

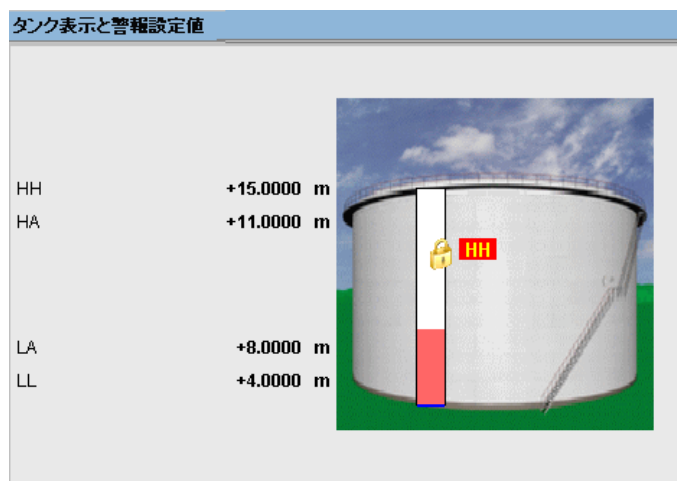




タンクステータスが「マニュアル」に変更されると、「タンク表示と警報設定値」セクションに次のようにタンクステータスが表示されます。



タンクステータスが「ロック」に変更されると、「タンク表示と警報設定値」セクションに次のようにタンクステータスが表示されます。



## 7.8 「製品割当て」タブ

製品の設定後、製品をタンクに割当てる必要があります。1基のタンクに対して割当てることのできるのは、1つの製品のみです。

別の製品をタンクに割当てる前に、タンクの現在の製品の割当てを解除しなければなりません。現在タンクに割当てられている製品は、システムから削除することはできません。

タンクへの製品割当て方法

1. 「製品割当て」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
製品	ドロップダウンリストから適切な製品を選択します。 このフィールドでは、特定のタンクに対して製品を割当てることができます。
沈殿物と水の%	選択した製品に対する適切な沈殿物と水の%を入力します。 タンクビジョンシステムでは、タンク在槽値演算に沈殿物と水の%を使用し、 沈殿物と水の容量に応じて製品容量の補正が行われます。 このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、タンクに製品を割当てます。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



### 注意！

- ・タンクに製品を割当てると、タンクは自動的に組み込みの製品グループに追加され、画面ナビゲーションツリーの「製品」ヘッダーに表示されます。
- ・タンクに製品が割当てられると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 7.9 「製品移送レポート」タブ

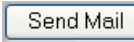


タンクビジョン システムでは、製品移送用にタンクを準備し、タンクの製品移送詳細の開始と終了を検知するための設定をすることが可能です。システムによって製品移送データが記録され、適切なテンプレートを使用して「完了」または「終了」ステータスの製品移送のレポートが作成されます。また、完了した最後の製品移送の製品移送レポートを表示、編集することが可能です。

#### 製品移送レポートの作成方法

1. 「製品移送レポート」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

NXA820- NXA820_A1		製品移送レポート		Endress+Hauser
保税承認	: Unsealed			
<b>設定詳細</b>				
サイト名	:	日付 (mm/dd/yyyy)	:	05/25/2008
サイト所在地	:	時刻 (HH:MM:SS AM)	:	04:50:51 PM
<b>製品移送詳細</b>				
タンク名	:	Tank-1	製品移送ステータス	: COMPLETED
製品名	:	Petrol	移送タイプ	: OUT
移送元または移送先	:	SOURCE	コメント	:
バッチ サイズ (VOLUME)	:	+20.000 m³	バッチ モード	: VOLUME
バッチ サイズ (MASS)	:	+20.000 Ton	バッチ モード	: MASS
最大バッチ偏差 %	:	105 %	事前警報 %	: 80 %
最小バッチ偏差 %	:	95 %		
製品 VCF 演算法	:	None	製品 FDC 演算法	: None
製品液体質量演算法	:	NSV * Reference Density	沈殿物と水の%	: 0.000000 %
製品移送タンク準備の実施オペレータ	:		製品移送タンク完了の実施オペレータ	:
製品移送タンク編集の実施オペレータ	:			
<b>要素名</b>				
	<b>データ</b>			
	<b>開始</b>		<b>終了</b>	<b>増減</b>
製品レベル	:	+0.387 m	+0.187 m	-0.200 m
製品温度	:	+0.0 °C	+0.0 °C	+0.0 °C
ペーパー圧力	:	+0.00 kPa	+0.00 kPa	+0.00 kPa
ペーパー温度	:	+0.0 °C	+0.0 °C	+0.0 °C
測定密度	:	+1000.0 kg/m³	+1000.0 kg/m³	+0.0 kg/m³
自由水尺レベル	:	+0.000 m	+0.000 m	+0.000 m
自由水容量	:	+0.000 m³	+0.000 m³	+0.000 m³
見掛容量	:	+38.660 m³	+18.660 m³	-20.000 m³
見掛標準容量	:	+38.660 m³	+18.660 m³	-20.000 m³
換算標準容量	:	+38.660 m³	+18.660 m³	-20.000 m³
製品質量	:	+0.000 Ton	+0.000 Ton	+0.000 Ton
合計質量	:	+0.000 Ton	+0.000 Ton	+0.000 Ton
日付 (mm/dd/yyyy)	:	05/25/2008	05/25/2008	0
時刻 (HH:MM:SS AM)	:	04:37:05 PM	04:50:51 PM	0:13
<input type="button" value="Print"/> <input type="button" value="Edit"/> <input type="button" value="Send Mail"/>				

フィールド	説明
保税タンク承認	このセクションは、保税タンク承認のステータスを表示します。
設定詳細	このセクションは、設定レポートを表示します。 詳細については「サイト情報」(100 ページ)を参照してください。
製品移送詳細	このセクションは、製品移送設定レポートを表示します。 詳細については「製品移送ライフ サイクル」(54 ページ)を参照してください。
要素名	このセクションは、パラメータ変更に関連する製品移送結果を表示します。 詳細については「タンク演算」(68 ページ)を参照してください。

ボタン	機能
	製品移送レポートを含む E-mail を送信します。 横のフィールドに、権限を有する担当者の適切な E-mail アドレスを入力します。
	「製品移送レポート」を編集する場合は、「編集」ボタンをクリックします。 「編集」ボタンをクリックすると、編集可能な「製品移送レポート」が表示されます。 次のフィールドが編集可能です。 ・ 製品移送詳細 - バッチ サイズ (容量) ・ 要素名 - 「製品レベル」の「開始データ」と「終了データ」、「日付 (mm/dd/yyyy)」と「時刻 (HH:MM:SS AM)」フィールド 編集可能な「製品移送レポート」画面の適切なフィールドを編集した後、「送信」ボタンをクリックします。 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。  製品移送レポートを編集すると、イベントが発生します。
	「製品移送レポート」を印刷します。

- 製品移送レポートの詳細については、「レポート」の章の「製品移送レポート表示」セクションを参照してください。

### 7.10 「タンク演算」タブ

タンクビジョン システムでは、ゲージでスキャンした測定値、またはマニュアル入力した測定値に基づいて在槽値演算が行われます。在槽値演算の実行には、主にタンクや製品の設定が使用されます。タンクビジョンには、さまざまな「仮説」のシナリオを評価するためのタンク演算が用意されています。シナリオには以下があります。

- ・ 特定の製品レベルに対する製品容量は？
- ・ 特定の製品量をタンク内にポンプ送りした場合の製品レベルは？
- ・ 製品レベルが H レベル警報と同じになった場合の製品レベルは？

上記のシナリオに基づき、タンク演算では演算結果のタンク パラメータで警報が発生する可能性があるかどうかを示します。

このようにタンク演算を使用して、実際の製品移送の前に、警報が発生させずに「払出」または「受入」製品移送が実行可能かどうかを判断することができます。

タンク演算で変更されたタンク パラメータはすべて、仮説シナリオを判定するための演算と結果表示に使用されます。タンク演算でタンク パラメータを変更しても、実際のタンク データが変更されるわけではありません。

#### タンク演算の使用方法

1. 「タンク演算」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

パラメータ	開始値	終了値	増減値
製品レベル:	+6.103 m	+6.103	+0.000
製品温度	+0.0 °C	+0.0	+0.0
周囲温度	+0.0 °C	+0.0	+0.0
沈殿物と水の %:	0.000000 %	0.000000	+0.00000
自由水尺レベル:	+0.000 m	+0.000	+0.000
測定密度	+0.0 kg/m³	+0.0	+0.0
ベーパー圧力:	+0.00 kPa	+0.00	+0.00
見掛容量 (TOV):	+2220.198 m³	+2220.198	+0.000
自由水容量 (FWV):	+44.149 m³	+44.149	+0.000

他のパラメータを表示する場合は、右側のスクロールバーを使用します。

列	説明
パラメータ	この列は、演算の開始値および終了値の入力が可能な製品パラメータのリストを示します。
開始値	対応するテキストボックスに当該パラメータの適切な開始値を入力します。開始値はパラメータの初期値です。例えば、製品の初期レベルは「製品レベル」の開始値となります。このフィールドのデータ型は数値型です。
終了値	対応するテキストボックスに当該パラメータの適切な終了値を入力します。終了値はパラメータの現在値または最後の値です。例えば、製品の現在または最後のレベルは「製品レベル」の終了値となります。このフィールドのデータ型は数値型です。
増減値	増減値は編集できません。増減値はパラメータの開始値と終了値との差です。このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 当該フィールドに適切な情報を入力して、「演算」ボタンをクリックします。

## 8 「製品」メニュー

この章では以下の項目について説明します。

- ・ 製品の追加、変更、削除
- ・ 製品詳細全般
- ・ 容量換算係数 (VCF)
- ・ 基準密度演算 (RDC)
- ・ 沈殿物と水
- ・ 質量と重量
- ・ 詳細設定 (保税タンク)
- ・ 製品タンク グループの表示

タンクビジョン システムでは、タンク ファームにおける各種貯蔵製品の在槽値演算の管理を行います。タンク内にある製品のタイプに応じて、容量、質量などの在槽データが演算されます。そのために、「製品設定」インターフェイスで製品特性を設定することが可能です。

### 8.1 製品の追加、変更、削除

製品の追加方法

1. ナビゲーション ツリーの「製品」ヘッダーをクリックします (設定されている製品数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます)。次のような画面が表示されます。

選択	製品名	製品色	VCF 法	RDC 法
<input checked="" type="radio"/>	Alcohol	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None
<input type="radio"/>	Benzin	<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None
<input type="radio"/>	Deasel	<span style="background-color: teal; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None
<input type="radio"/>	Petrol	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None

追加 変更 削除

2. 「追加」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

製品 - 製品 新規追加 + すべて

▶ 全般 製品管理

3. 「全般」ヘッダーをクリックして、製品詳細全般を設定します (74 ページ参照)。

製品詳細の変更方法

1. ナビゲーション ツリーの「製品」ヘッダーをクリックします (設定されている製品数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます)。次のような画面が表示されます。

選択	製品名	製品色	VCF 法	RDC 法
<input checked="" type="radio"/>	Alcohol	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None
<input type="radio"/>	Benzin	<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None
<input type="radio"/>	Deasel	<span style="background-color: teal; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None
<input type="radio"/>	Petrol	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px;"></span>	None	None

追加 変更 削除

2. 適切なく製品名 > をクリックして、製品詳細を変更します。
3. 「変更」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

Manage Product - Deasel ページはNXA820\_A7002A01101 (192.168.2.22)からロードされています 06/23/2009 12:13:23 PM GMT+00

製品 - 製品変更 すべて

✔ 製品が追加されました

▶ 全般	✔
▶ 容量換算係数 (VCF)	✔
▶ 基準密度演算 (RDC)	✔
▶ 沈殿物と水	✔
▶ 質量と重量	✔
▶ ペーパー演算	✔
▶ 詳細設定 (保税)	✔

製品管理

4. 次のセクションの説明に従って、製品詳細を設定します。







**注意！**

- ・ システムが保税タンク ロックされており、タンクビジョン ユニットの保税タンク封印スイッチが ON になっている場合は、製品設定を変更できません。
- ・ 製品詳細の変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。



## 製品の削除方法

1. ナビゲーション ツリーの「製品」ヘッダーをクリックします（設定されている製品数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。

選択	製品名	製品色	VCF 法	RDC 法
<input checked="" type="radio"/>	Alcohol		None	None
<input type="radio"/>	Benzin		None	None
<input type="radio"/>	Deasel		None	None
<input type="radio"/>	Petrol		None	None

追加 変更 削除

2. 適切なく製品名 > をクリックして、製品詳細を削除します。
3. 「削除」 ボタンをクリックすると、次のような確認画面が表示されます。



4. 「OK」 ボタンをクリックして、選択した製品を削除します。
5. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



## 注意！


製品を削除すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

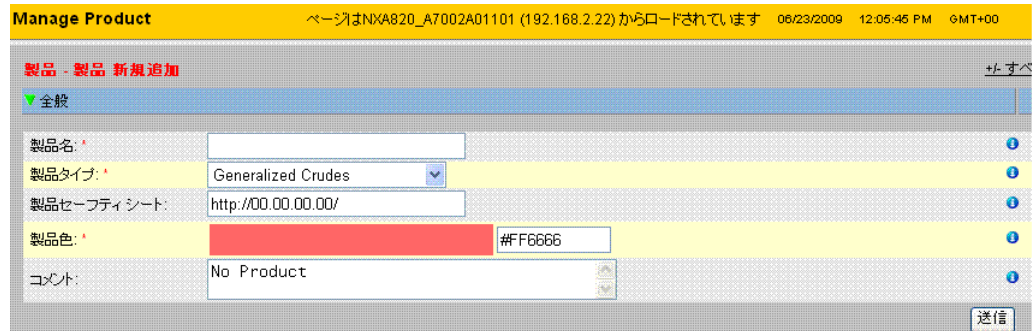
## エラー メッセージ

1. 「製品は当該タンクに割当てられています」  
このメッセージは、タンクに割当てられている製品を削除しようとした場合に表示されます。

## 8.2 全般

製品の全般詳細の設定方法

1. 「全般」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
製品名	製品名を入力します。 このフィールドは、タンク内の製品名を表示します。 このフィールドのデータ型は英数文字型で、一部の特殊文字が使用できます。 %、`、#、/、 、¥などの特殊文字は使用できません。
製品タイプ	このフィールドをクリックして、ドロップダウン リストから適切な製品タイプを選択します。 このフィールドは、製品タイプを表示します。これにより、製品を適切なテーブルに分類することが可能です。
製品セーフティシート	製品セーフティシートの URL を入力します。 この URL で製品セーフティシートを参照できます。
製品色	カラーパレットから適切な色を選択します。 このフィールドは、製品を示すために選択された色を表示します。 製品色は、タンク画像で製品レベルを表すバーグラフに使用されます。
コメント	製品に関するコメントを入力します。 このフィールドは、製品に関するコメントがある場合にそれを表示します。 このフィールドのデータ型は英数文字型で、すべての特殊文字が使用できます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、製品の全般詳細を設定します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



### 注意！

製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 8.3 容量換算係数 (VCF)

製品レベルを使用して演算された製品容量は、測定条件下の容量です。製品が炭化水素であれば、その密度と容量は温度に応じて変化します。製品容量を「標準または基準温度時の容量」に補正する必要があります。この補正は、容量換算係数 (Volume Correction Factor、VCF) を用いて行われます。「容量換算係数 (VCF)」画面では、製品の VCF 演算設定を表示、変更することができます。

製品 VCF 演算詳細の設定方法

1. 「容量換算係数 (VCF)」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
範囲確認	範囲確認を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、レンジ チェッキングは無効になります。 VCF は、密度入力値がテーブルの許容範囲内にある場合のみ、設定されたテーブルから演算できます。レンジ チェッキングが ON の場合、密度入力値が範囲外にあれば、VCF 演算は行われません。すべての密度値で VCF 演算を実行するには、レンジ チェッキングを OFF にする必要があります。
入力値四捨五入実行	入力値四捨五入を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、入力値四捨五入は無効になります。入力値四捨五入が有効になっている場合、テーブルの四捨五入規定に応じて、テーブルへの入力値の四捨五入を実行します。
出力値四捨五入	当該オプションをクリックして、適切なオプションを選択します。このフィールドでは、VCF 演算における出力値の適切な四捨五入法を選択することが可能です。 「API/ASTM」：このフィールドにより、在槽値演算の入力値と出力値は API/ASTM 規格に従って四捨五入されます。 「四捨五入なし」：このフィールドにより、在槽値演算の出力値は小数で表示されます。 「カスタム」：カスタム オプションを選択して、横のテキストボックスに適切な桁数を入力します。このフィールドにより、在槽値演算の出力値は横のテキストボックスに指定した桁数に四捨五入されます。値を 0～9 桁に四捨五入できます。このフィールドのデータ型は数値型です。
VCF 演算用 API/ASTM テーブル	ドロップダウン リストから VCF 演算用の適切な API/ASTM テーブルを選択します。このフィールドにより、必要な VCF を演算するための適切な API/ASTM テーブルを選択することができます。一部の API/ASTM テーブルでは、追加設定が必要になります。追加設定が必要なテーブルを選択した場合は、関係する入力フィールドが表示されます。各テーブルに固有のこれらの追加入力フィールドには適切な値を入力しなければなりません。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして、VCF 演算設定を行います。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

- ・「全般」を設定すると、「容量換算係数 (VCF)」が入力可能になります。
- ・製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 8.4 基準密度演算 (RDC)

製品容量と同様、測定温度時の製品密度を標準または基準密度に補正する必要があります。この密度は、その後製品質量の演算に使用されます。「基準密度演算 (Reference Density Calculation、RDC)」画面では、製品の RDC 演算設定を表示、変更することができます。

製品 RDC 演算詳細の設定方法

1. 「基準密度演算 (RDC)」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
範囲確認	範囲確認を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、レンジチェックは無効になります。RDC は、密度入力値がテーブルの許容範囲内にある場合のみ、設定されたテーブルから演算できます。レンジチェックが ON の場合、密度入力値が範囲外にあれば、RDC 演算は行われません。すべての密度値において RDC 演算を実行するには、レンジチェックを OFF にする必要があります。
入力値四捨五入実行	入力値四捨五入を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、入力値四捨五入は無効になります。入力値四捨五入が有効になっている場合、テーブルへの入力値はテーブルの四捨五入規定に応じて、四捨五入されます。
出力値四捨五入	当該オプションをクリックして、適切なオプションを選択します。このフィールドでは、RDC 演算における出力値の適切な四捨五入法を選択することが可能です。 「API/ASTM」：このフィールドにより、API/ASTM 規格に従って在槽値演算の入力値と出力値は四捨五入されます。 「四捨五入なし」：このフィールドにより、在槽値演算の出力値は小数で表示されます。 「カスタム」：カスタム オプションを選択して、横のテキストボックスに適切な桁数を入力します。このフィールドにより、在槽値演算の出力値は横のテキストボックスに指定した桁数に四捨五入されます。値を 0～9 桁に四捨五入できます。このフィールドのデータ型は数値型です。
大気または負圧下の密度	大気条件下（大気中）または負圧下のどちらの密度かを選択できます。
RDC 演算用 API/ASTM テーブル	ドロップダウン リストから RDC 演算用の適切な API/ASTM テーブルを選択します。このフィールドにより、必要な基準密度を演算するための適切な API/ASTM テーブルを選択することができます。一部の API/ASTM テーブルでは、追加設定が必要になります。追加設定が必要なテーブルを選択した場合は、関係する入力フィールドが表示されます。各テーブルに固有のこれらの追加入力フィールドには適切な値を入力しなければなりません。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、RDC 演算設定を行います。

4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

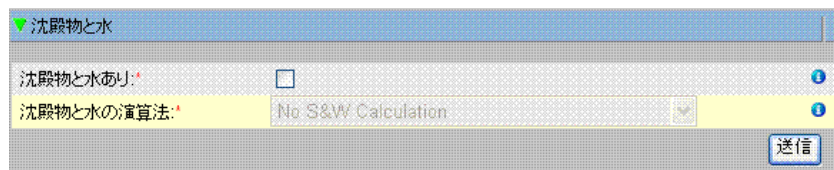
- ・ 「全般」を設定すると、「基準密度演算 (RDC)」が入力可能になります。
- ・ 製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 8.5 沈殿物と水

「沈殿物と水」画面では、製品内の沈殿物と水の容量に関する設定を表示、変更することができます。

沈殿物と水詳細の設定方法

1. 「沈殿物と水」の をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
沈殿物と水あり	製品内に沈殿物と水がある場合は、このチェックボックスを選択して画面の他のフィールドを入力可能にします。 製品内に沈殿物と水がない場合にチェックボックスの選択を解除すると、画面の他のフィールドは使用できなくなります。 このフィールドにより、製品内の沈殿物と水の量を設定することが可能になります。 沈殿物と水は石油流体と共存する物質ですが、石油流体とは異質なものです。この異質な物質には、遊離、乳化または懸濁した水や沈殿物が含まれることがあります。
沈殿物と水の演算法	ドロップダウン リストから適切な沈殿物と水の演算法を選択します。 タンクビジョン システムは、このフィールドで沈殿物と水の補正演算を行い、それ以降の演算用の適切な容量として使用します。補正法には以下があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沈殿物と水の演算なし</li> <li>・ TOV に CSW 処理：沈殿物と水の補正 (Correction for Sediment and Water, CSW) を合計測定容量に適用する</li> <li>・ (TOV-FWV) に CSW 処理：沈殿物と水の補正を「(合計測定容量 - 自由水容量)」に適用する</li> <li>・ {(TOV-FWV)*CTSH} に CSW 処理：沈殿物と水の補正を「{(合計測定容量 - 自由水容量) * タンク 外壁外壁補正}」に適用する</li> <li>・ {(TOV-FWV)*CTSH}+FRA に CSW 処理：沈殿物と水の補正を「{(合計測定容量 - 自由水容量) * タンク 外壁外壁補正} + 浮屋根補正」に適用する</li> <li>・ GOV に CSW 処理：沈殿物と水の補正をグロス測定容量に適用する</li> <li>・ GSV に CSW 処理：沈殿物と水の補正をグロス標準容量に適用する</li> </ul>

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして、製品内の沈殿物と水の容量の設定を行います。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




**注意！**

- ・ 「全般」を設定すると、「沈殿物と水」が入力可能になります。
- ・ 製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 8.6 質量と重量

「質量と重量」画面では、製品の質量と重量の演算設定を表示、変更することができます。

質量演算詳細の設定方法

1. 「質量と重量」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

」に、「重量 (大気中の質量) 演算法」が「None - Weight in Vacuum」に設定されている。右下には「送信」ボタンがある。" data-bbox="318 197 836 295"/>

フィールド	説明
液体質量 (負圧下の質量) 演算法	ドロップダウン リストから適切な液体質量演算法を選択します。 このフィールドで設定した演算法を使用して、製品液体質量 (負圧下の質量) が演算されます。演算法には以下があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NSV* 基準密度：ネット標準容量と基準密度による質量演算</li> <li>・ GSV* 基準密度：グロス標準容量と基準密度による質量演算</li> <li>・ GOV* 測定密度：グロス測定容量と測定密度による質量演算</li> <li>・ GOV* 基準密度：グロス測定容量と基準密度による質量演算</li> </ul>
負圧下の質量演算法の自動切り替え	このチェックボックスを選択すると、負圧下の質量演算法が自動的に切り替わります。 チェックボックスの選択を解除すると、負圧下の質量演算法の自動切り替えは行われません。 ある特定の場合に (例えば、入力値が範囲外で、基準密度や標準容量が「エラー」ステータスになった場合)、RDC または VCF 演算がエラーになることがあります。この場合、基準密度や標準容量を使用して液体質量を演算することはできません。自動切り替えが行われる場合は、測定密度や測定容量を使った適切な質量演算法が使用されます。
重量 (大気中の質量) 演算法	ドロップダウン リストから適切な重量演算法を選択します。 このフィールドで設定した演算法を使用して、製品液体重量 (大気中の質量) が演算されます。 ドロップダウン リストから「カスタム」を選択すると、「ベーパー密度」、「Brass 密度」および「大気密度」フィールドが表示されます。
ベーパー密度	製品のベーパー密度の値を入力します。 このフィールドは、「重量 (大気中の質量) 演算法」フィールドで「カスタム」を選択すると入力可能になります。 ベーパー密度値を Brass 密度値と同じにすることはできません。 製品重量の演算法を「カスタム」とした場合、このフィールドは必須項目です。 このフィールドのデータ型は数値型です。
Brass 密度	製品の Brass 密度の値を入力します。 このフィールドは、「重量 (大気中の質量) 演算法」フィールドで「カスタム」を選択すると入力可能になります。 Brass 密度値をベーパー密度値と同じ、または 0 にすることはできません。 製品重量の演算法を「カスタム」とした場合、このフィールドは必須項目です。 このフィールドのデータ型は数値型です。
大気密度	製品の大気密度の値を入力します。 このフィールドは、「重量 (大気中の質量) 演算法」フィールドで「カスタム」を選択すると入力可能になります。 製品重量の演算法を「カスタム」とした場合、このフィールドは必須項目です。 このフィールドのデータ型は数値型です。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、製品の質量と重量の演算設定を行います。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。


**注意！**

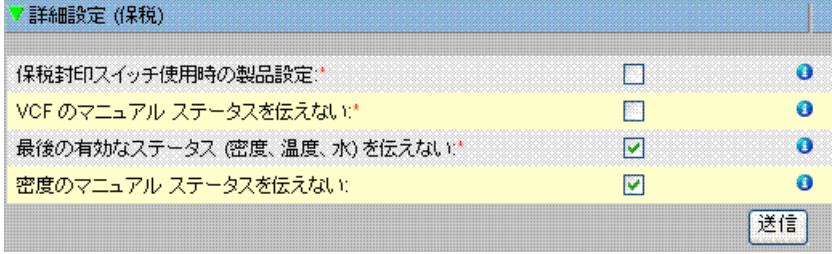
- ・「全般」を設定すると、「質量と重量」が入力可能になります。
- ・製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 8.7 詳細設定（保稅タンク）

「詳細設定（保稅タンク）」画面では、詳細な製品の保稅タンク設定を表示、変更することができます。

製品保稅タンクの設定方法

1. 「詳細設定（保稅タンク）」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
保稅タンク封印スイッチ使用時の製品設定	このチェックボックスを選択すると、保稅タンク用に製品設定が保護され、保稅タンク封印スイッチが ON の間は製品設定を変更することはできません。
VCF のマニュアル ステータスを伝えない	VCF のマニュアル ステータスを伝えずに標準容量を取得する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、VCF のマニュアル ステータスを伝えて標準容量が取得されます。
最後の有効なステータス（密度、温度、水）を伝えない	密度、温度、水の最後の有効なステータスの値をそれ以降の演算で使用しないようにする場合は、このチェックボックスを選択します。密度、温度、水の現在値を使用できる場合は、このフィールド選択を推奨します。チェックボックスの選択を解除すると、密度、温度、水の最後の有効なステータスの値がそれ以降の演算に使用されます。密度、温度、水の現在値を使用できない場合は、このフィールドの選択を解除してください。
密度のマニュアル ステータスを伝えない	密度のマニュアル ステータスの値を、それ以降の演算で使用しないようにする場合はこのチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、密度のマニュアル ステータスの値がそれ以降の演算に使用されます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、詳細設定（保稅タンク）を設定します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



### 注意！

- ・「全般」を設定すると、「詳細設定（保稅タンク）」が入力可能になります。
- ・製品の作成または変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

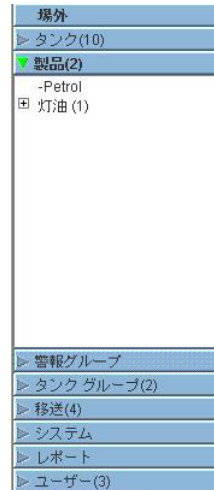


### 8.8 製品タンク グループの表示

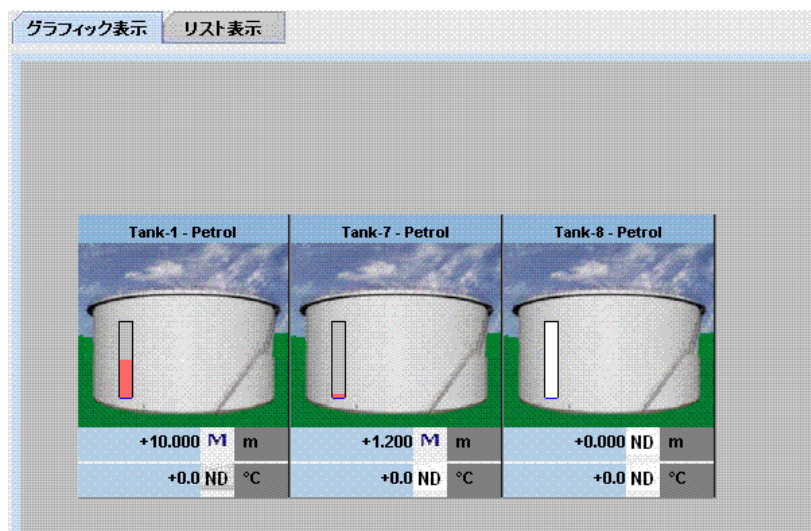
タンクビジョン システムには製品タンク グループ機能があり、各種タンクに貯蔵されているさまざまな製品を表示することができます。

製品タンク グループの表示方法

1. ナビゲーション ツリーの「製品」ヘッダーをクリックします（設定されている製品数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます。「製品」ヘッダーが次のように展開されます。



2. 上の図では、権限を有する担当者が作成した〈製品名〉が「製品」ヘッダーの下に表示されています。〈製品名〉の後のカッコ内に示されている数は、この製品が貯蔵されているタンクの合計数です。
3. 〈製品名〉をクリックして、当該製品が充填されたタンクを表示します。次のような画面が表示されます。



4. 製品グループのグラフィック表示は、初期設定では製品 -〈製品名〉画面に表示されます。

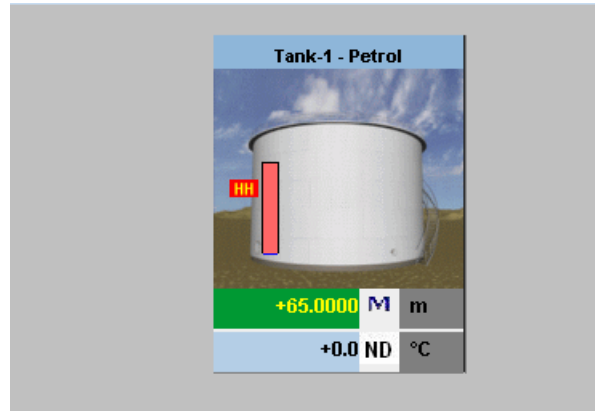
注意！

〈製品名〉の前の をクリックするとノードが展開され、製品を貯蔵しているタンク名が表示されます。〈タンク名〉をクリックすると、そのタンクに関する詳細情報が表示されます。

### 8.8.1 製品 - タンク グループ詳細のグラフィック形式での表示

製品 - タンク グループ詳細のグラフィック形式での表示方法

1. 製品 - <製品名> 画面で「グラフィック表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



#### 注意！

ゲスト ユーザーの場合は、「非リアルタイム製品 - タンク グループ詳細」画面が表示されます。<製品名> を選択すると、タンクのグラフィック測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

### 8.8.2 製品タンク グループ詳細のテーブル形式での表示

製品タンク グループ詳細のテーブル形式での表示方法

1. 製品 - <製品名> 画面で「リスト表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

グラフィック表示		リスト表示							
タンク名 (なし)	製品 (なし)	製品レベル (m)	TOV (m³)	製品温度 (°C)	タンク ステータス (なし)	測定密度 (kg/m³)	GOV (m³)	ペーパー温度 (°C)	
Tank-1	Petrol	+10.000	+77.378	+0.0	操作中	+0.0	+77.337	+0.0	
Tank-7	Petrol	+1.200	+120.000	+0.0	操作中	+0.0	+120.000	+0.0	
Tank-8	Petrol	+0.000	+0.000	+0.0	操作中	+0.0	+0.000	+0.0	



#### 注意！

ゲスト ユーザーの場合は、「非リアルタイム製品 - タンク グループ詳細」画面が表示されます。<製品名> を選択すると、タンクの測定値情報がテーブル形式で表示されます。最新のテーブル測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

テーブル表示の列の追加方法

1. テーブル欄外の灰色のエリアを右クリックします。次のようなポップアップ ウィンドウが表示されます。

- 製品
- タンク ステータス
- タンク形状
- 移送方向
- 製品レベル
- レベル警報
- 水尺レベル
- 測定密度
- ペーパー温度
- ペーパー圧力
- TOV
- 製品温度
- FWV
- GOV
- GSV
- NSV
- 浮屋根ステータス
- 合計質量
- 検尺値製品レベル
- 検尺値水尺レベル
- 手動測定温度
- 手動測定密度
- UnitAliveStatus
- TOV 流量
- NSV 流量
- 合計質量流量
- 合計標準容量
- 受入可能容量
- 払出可能容量
- 基準密度
- 大気中のネット重量

2. 表示する / 表示しない列を選択 / 選択解除します。

## 9 「警報グループ」メニュー

\* タンクビジョン V.1. 以降、「警報グループ」画面はありません。

この章では以下の方法について説明します。

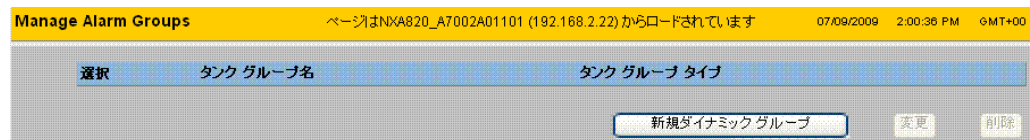
- ・ 警報グループの設定
- ・ 警報グループ ステータスの表示

### 9.1 警報グループの設定

タンクビジョン システムには、警報基準に基づくタンク グループ設定機能があります。警報基準は、警報レベル タイプ、警報作動ステータス、警報ステータス確認です。

警報グループの設定方法

1. ナビゲーション ツリーの「警報グループ」ヘッダーをクリックします（設定されている警報グループ数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。



2. 「新規ダイナミックグループ」ボタンをクリックして、警報グループを設定します。次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Dynamic Group Addition' section of the 'Manage Alarm Groups' interface. It features a form with the following elements:

- タンクグループ名:** A text input field for the group name.
- 基準:** A section with three columns of dropdown menus for selecting criteria and comparison options.
- 警報タイプ:** A dropdown menu for selecting the alarm level (e.g., HH Alarm).
- Comparison Options:** Radio buttons for 'すべて' (All), '含む' (Include), and '含めない' (Exclude).
- Buttons:** 'グループ管理' (Group Management) and '送信' (Send).

フィールド	説明
タンクグループ名	警報グループ名を入力します。 このフィールドのデータ型は英数字型です。
基準	基準のフィルタ設定の適切なオプションを選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1列目のドロップダウンリストから、当該警報基準を選択します。基準には、「警報タイプ」と「警報ステータス確認」があります。</li> <li>2列目のドロップダウンリストから、適切な比較オプション（一致する、または一致しない）を選択します。</li> <li>3列目のドロップダウンリストから、適切なオプションを選択します。1列目で「警報タイプ」を選択した場合は、警報レベルを選択することができます。1列目で「警報ステータス確認」を選択した場合は、警報の確認ステータスを選択することができます。</li> <li>2つの基準を指定する場合は、続けてフィルタ基準を設定するために「および」か「または」オプションを選択します。あるいは、「なし」オプションを選択します。</li> </ol>

- 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
- 「送信」ボタンをクリックして、警報グループを作成します。設定が保存されると、次のような確認メッセージが表示されます。

The screenshot shows the confirmation screen after creating a dynamic alarm group. A green checkmark icon and the message 'グループが追加されました' are displayed. Below is a table with the following data:

選択	タンクグループ名	タンクグループタイプ
<input checked="" type="radio"/>	High High Alarm	Dynamic

Buttons at the bottom include '新規ダイナミックグループ' (New Dynamic Group), '変更' (Change), and '削除' (Delete).



**注意！**

ゲストユーザーの場合は、「非リアルタイム タンクグループ詳細」画面が表示されます。当該タンクグループを選択したときのタンクのグラフィック測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

## 9.2 警報グループ ステータスの表示

警報グループ基準に従ってタンクの警報が発生すると、そのタンクが適切な警報グループに表示されます。

警報グループを選択し、グラフィックまたはテーブル形式で警報グループ詳細を表示することができます。グラフィックまたはテーブル形式には、警報基準に基づくタンクのクイックフィードバックが表示されます。

警報グループは、リアルタイムグラフィック情報でサポートされます。

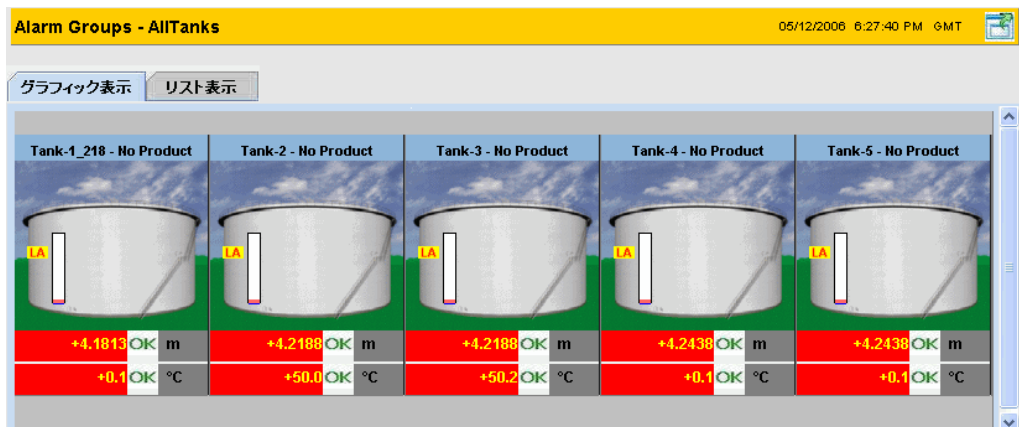
警報グループ詳細は、オペレータかゲストユーザーかによって2つのタイプで表示されます。オペレータとしてログインしている場合は、リアルタイムタンク詳細を表示することができます。一方、ゲストとしてログインしている場合に表示できるのは、非リアルタイムの詳細です。

警報グループ ステータスの表示方法

1. ナビゲーションツリーの「警報グループ」ヘッダーをクリックします（設定されている警報グループ数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。「警報グループ」ヘッダーが次のように展開されます。



2. 上の図では、権限を有する担当者が作成した「警報グループ」名が「警報グループ」ヘッダーの下に表示されています。各「警報グループ」名には、グループに関連付けられているタンク数がカッコ内に表示されます。
3. 「警報グループ」名をクリックすると、タンクステータスがグラフィックまたはテーブル形式で表示されます。次のような画面が表示されます。



- 初期設定では、グラフィック形式で警報グループが表示されます。



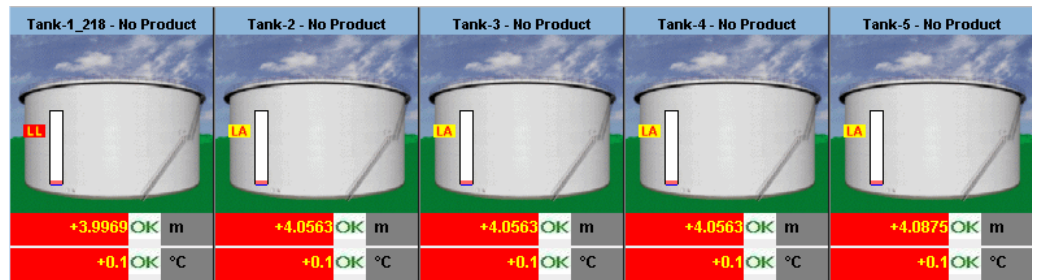
**注意！**

「警報グループ」名を前の をクリックするとノードが展開され、当該警報基準とともに「タンク名」が表示されます。「タンク名」をクリックすると、タンクステータスに関する詳細情報が表示されます。

### 9.2.1 警報グループ詳細のグラフィック形式での表示

警報グループ詳細のグラフィック形式での表示方法

- 警報グループ - 「警報グループ」名の画面で、「グラフィック表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



### 9.2.2 警報グループ詳細のテーブル形式での表示

警報グループ詳細のテーブル形式での表示方法

- 警報グループ - 「警報グループ」名の画面で、「テーブル表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

グラフィック表示		リスト表示					
タンク名 (なし)	製品 (なし)	製品レベル (m)	TOV (m <sup>2</sup> )	製品温度 (°C)	移送方向 (なし)	ベーパー圧力 (kPa)	測定密度 (kg/m <sup>3</sup> )
Tank-2	Alcohol	+19.000	+1'900.0...	+0.0	固定	+0.00	+0.0
Tank-3	No Product	+19.000	+1'900.0...	+0.0	固定	+0.00	+0.0
Tank-4	No Product	+17.000	+1'700.0...	+0.0	固定	+0.00	+0.0



**注意！**

ゲストユーザーの場合は「非リアルタイム警報グループ詳細」画面が表示され、当該警報グループを選択したときのタンクの測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

## 10 「タンクグループ」メニュー

この章では以下の設定方法について説明します。

- ・ スタティック タンク グループ
- ・ ダイナミック タンク グループ

タンクグループとは、タンクの集まりのことです。タンクビジョンシステムでは、タンクをより効率的に管理できるようタンクグループが設定されます。

タンクグループには以下の2つのタイプがあります。

- ・ **スタティック タンク グループ**：スタティック タンク グループは、システム内で使用できるタンクを選択することにより作成されます。スタティック タンク グループの場合、タンクグループの形成に使用できる適切なタンクをユーザーが選択しなければなりません。特定のスタティック タンク グループ内で選択されたタンクはすべて、画面に表示されます。画面にはタンク データがリアルタイムで動的に表示されます。
- ・ **ダイナミック タンク グループ**：ダイナミック タンク グループは、フィルタ基準を定義することにより作成されます。ダイナミック タンク グループの場合、ユーザーはタンクを選択しません。その代わりに、製品、所在地、タンク タイプ、タンク ステータスなどのタンク要素のフィルタを使用して選択基準を定義することができます。画面にはダイナミック タンク グループ設定に適合するタンクグループのタンクのデータが、リアルタイムで動的に表示されます。例えば、警報作動中というタンクグループを設定した場合、タンクの警報が作動すると必ず、そのタンクは警報作動中のタンクグループに表示されます。

タンクグループの設定方法

1. ナビゲーション ツリーの「タンクグループ」ヘッダーをクリックします（設定されているタンクグループ数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。

選択	タンクグループ名	タンクグループタイプ
<input checked="" type="radio"/>	High Alarm	Static
<input type="radio"/>	High Level Alarm	Dynamic
<input type="radio"/>	Low Level Alarm	Static
<input type="radio"/>	Low Low Alarm	Static

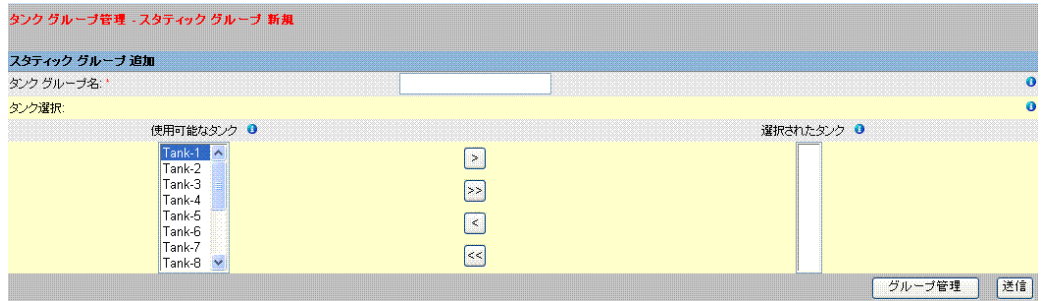
2. 「新規スタティックグループ」ボタンをクリックしてスタティックタイプのタンクグループを設定するか、または「新規ダイナミックグループ」ボタンをクリックしてダイナミックタイプのタンクグループを設定します。







### 10.1 スタティック タンク グループ

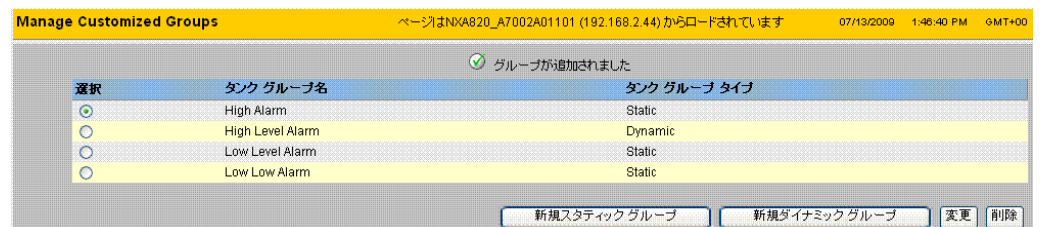
スタティック タンク グループの設定方法

1. 「タンクグループ管理」画面の「新規スタティックグループ」ボタンをクリックします。次のような「スタティックグループ追加」画面が表示されます。



フィールド	説明
タンクグループ名	タンクグループ名を入力します。システム内の各タンクグループには照会用に固有の名前がつけられます。名前の文字数は最大 32 文字です。このフィールドのデータ型は英数字型です。
使用可能なタンク	このリストは、グループ化に使用できる<タンク名>を表示しています。
選択されたタンク	このリストは、タンクグループとしてグループ化された<タンク名>を表示しています。
	このボタンをクリックすると、選択したタンクが「使用可能なタンク」リストから「選択されたタンク」リストへ移動します。
	このボタンをクリックすると、すべてのタンクが「使用可能なタンク」リストから「選択されたタンク」リストへ移動します。
	このボタンをクリックすると、タンクが選択解除されて「選択されたタンク」リストから「使用可能なタンク」へ移動します。
	このボタンをクリックすると、すべてのタンクが選択解除されて「選択されたタンク」リストから「使用可能なタンク」リストへ移動します。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、スタティックグループを追加します。設定が保存されると、次のような確認メッセージが表示されます。



**注意！**

タンクグループが正常に追加、変更、または削除されると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 10.2 ダイナミック タンク グループ

ダイナミック タンク グループの設定方法

1. 「タンクグループ管理」画面の「新規ダイナミックグループ」ボタンをクリックします。次のような「ダイナミックグループ追加」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Manage Alarm Groups' interface. At the top, it says 'ページはNXA820\_A7002A01101 (192.168.2.22)からロードされています' and '07/09/2009 2:04:53 PM GMT+00'. The main title is '警報グループの管理 - ダイナミックグループ 新規'. Below that is the section 'ダイナミックグループの追加'. There is a text input field for 'タンクグループ名: \*'. Underneath is the '基準:' section with two dropdown menus for '警報タイプ' and '一致する'. There are radio buttons for 'すべて', '含める', and '含めない'. Another set of dropdowns for '警報タイプ' and '一致する' is visible. At the bottom right are buttons for 'グループ管理' and '送信'.

フィールド	説明
タンクグループ名	タンクグループの適切な名前を入力します。システム内の各タンクグループには照会用に固有の名前がつけられます。名前の文字数は最大 32 文字です。このフィールドのデータ型は英数字型です。
基準	基準のフィルタ設定の適切なオプションを選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 列目のドロップダウン リストから、当該タンク要素を選択します。</li> <li>2. 2 列目のドロップダウン リストから、適切な比較オプション（一致する、一致しない、または含む）を選択します。</li> <li>3. 「所在地」または「製品」を選択した場合は、3 列目に適切なデータ要素を入力します。あるいは、基準選択の 1 列目で「タンクタイプ」または「タンクステータス」を選択した場合は、ドロップダウン リストから適切なデータ要素を選択します。</li> <li>4. 2 つの基準を指定する場合は、「および」か「または」オプションを選択してフィルタ基準を追加します。あるいは、「なし」オプションを選択します。</li> </ol>

5. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
6. 「送信」ボタンをクリックして、ダイナミックグループを追加します。設定が保存されると、次のような確認メッセージが表示されます。

The screenshot shows the 'Manage Customized Groups' interface. At the top, it says 'ページはNXA820\_A7002A01101 (192.168.2.44)からロードされています' and '07/13/2009 1:44:17 PM GMT+00'. A green checkmark icon and the message 'グループが追加されました' are displayed. Below is a table with columns '選択', 'タンクグループ名', and 'タンクグループタイプ'. The table contains three rows: 'High Alarm' (Static), 'High Level Alarm' (Dynamic), and 'Low Level Alarm' (Static). At the bottom are buttons for '新規スタティックグループ', '新規ダイナミックグループ', '変更', and '削除'.



**注意！**  
タンクグループが正常に追加、変更、または削除されると、イベントが発生します。イベントの詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 10.3 リアルタイム タンク グループ詳細の表示

ナビゲーション メニューからタンク グループを選択し、グラフィックまたはテーブル形式でタンク グループ詳細を表示することができます。グラフィックまたはテーブル形式で、現在のタンク ステータスに関するクイック フィードバックを得ることが可能です。

画面にはタンク データがリアルタイムで動的に表示されます。

グラフィック形式またはテーブル形式のページには、選択したタンク グループのタンクが表示されます。各タンクには、そのタンク パラメータも一緒に表示されます。

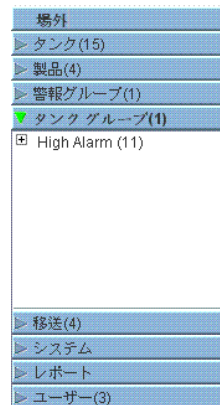
タンク グループには2つのタイプがあります。

1. スタティック タンク グループ：ユーザーが作成したタンク グループ
2. ダイナミック タンク グループ：基準フィルタの定義により作成されたタンク グループ  
(例：HH 警報のタンクすべて)

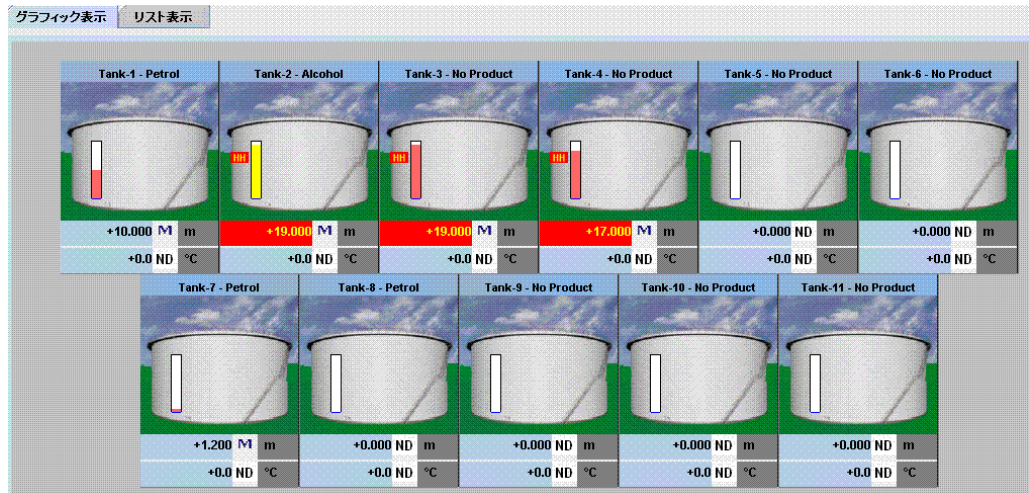
いずれのタイプのタンク グループも、リアルタイム グラフィック情報でサポートされます。タンク グループ詳細は、オペレータかゲスト ユーザーかによって2つのタイプで表示されます。オペレータとしてログインしている場合、リアルタイム タンク グループ詳細を表示することができます。一方、ゲストとしてログインしている場合に表示できるのは、非リアルタイムのタンク グループ詳細です。ゲスト ユーザーは、タンクビジョンの機能に対して最低限のアクセスしかできません。ゲスト ユーザーが表示できるタンク詳細、ゲージ詳細、タンク グループ、およびタンク概要（特定のタンクビジョン ユニットのすべてのタンク）のモードは、非リアルタイムです。現在のタンク データを表示するには、ページを更新する必要があります。

リアルタイム タンク グループ詳細の表示方法

1. ナビゲーション ツリーの「タンク グループ」ヘッダーをクリックします（設定されているタンク グループ数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。「タンク グループ」ヘッダーが次のように展開されます。



2. 上の図では、権限を有する担当者が作成した「タンク グループ」名が「タンク グループ」ヘッダーの下に表示されています。各「タンク グループ」名には、グループに関連付けられているタンク数がカッコ内に表示されます。
3. 「タンク グループ」名をクリックすると、タンク ステータスがグラフィックまたはテーブル形式で表示されます。次のような画面が表示されます。

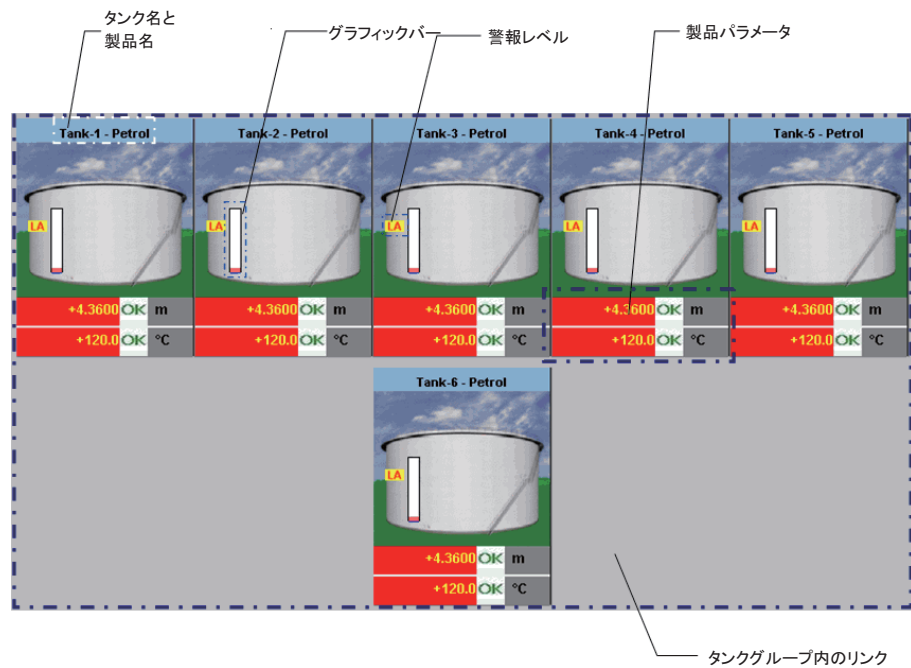


4. 初期設定では、グラフィック形式でタンクグループが表示されます。

### 10.3.1 タンクグループ詳細のグラフィック形式での表示

タンクグループ詳細のグラフィック形式での表示方法

1. タンクグループ - <タンクグループ> 名の画面で、「グラフィック表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



グラフィック情報	説明
〈タンク名〉と〈製品名〉	選択したタンクグループのタンク名と製品名が表示されます。
警報レベル	現在の警報レベルが警報設定値に従って表示されます。
グラフィックバー	グラフィックバーは製品レベルおよび水レベルを表示します。
製品パラメータ	各タンクの測定データ、つまり製品レベルと製品温度が適切な単位とともに表示されます。 また、以下の各種背景色で警報確認ステータスも示されます。 濃緑色 - 作動し、確認済みの警報 薄赤色 - 作動し、未確認の警報 黄色 - 非作動で、未確認の警報 白色 - 非作動で、確認済みの警報
タンクグループ内のタンク	タンクグループパラメータに応じて、タンクグループのタンク合計数が表示されます。

タンクグループタイプに応じて、次のようなグラフィック情報が表示されます。

タンクグループタイプ	グラフィック情報
スタティックタンクグループ	当該タンクグループを選択したときのタンクのグラフィック測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。
ダイナミックタンクグループ	ウェブページで動的に表示されるタンクのグラフィック測定値情報を確認することができます。情報はリアルタイムで表示されます。 1. この場合、製品移送はダイナミックタンクグループ内で実行されます。 (a) タンクの新規製品移送が作成された場合、タンクは「準備完了のタンク」タンクグループに表示されます。(b) または、製品移送が「準備完了」段階から「作動中」へ変更された場合、「移送中のタンク」タンクグループに表示されます。 2. タンクグループが設定されている場合、タンクは設定した基準フィルタに基づくタンクグループ内に表示されます。例えば、「新規ダイナミックタンクグループ追加」画面で「警報タイプ」として「H警報」が選択された場合、リアルタイムタンクグループ画面のタンクグループには「H警報」が発生しているタンクだけが表示されます。

### 10.3.2 タンクグループ詳細のテーブル形式での表示

タンクグループ詳細のテーブル形式での表示方法

1. タンクグループ - 〈タンクグループ〉名の画面で、「テーブル表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

グラフィック表示		リスト表示					
タンク名 (なし)	製品 (なし)	製品レベル (m)	TOV (m <sup>2</sup> )	製品温度 (°C)	移送方向 (なし)	ベーパー圧力 (kPa)	測定密度 (kg/m <sup>3</sup> )
Tank-2	Alcohol	+19.000	+1'900.0...	+0.0	固定	+0.00	+0.0
Tank-3	No Product	+19.000	+1'900.0...	+0.0	固定	+0.00	+0.0
Tank-4	No Product	+17.000	+1'700.0...	+0.0	固定	+0.00	+0.0

テーブル情報	説明
タンク名 (なし)	この列は、タンク名を示します。
製品 (なし)	この列は、対応するタンクに割り当てられた製品名を示します。
タンク ステータス (なし)	この列は、タンク ステータスを示します。
タンク形状	この列は、タンク形状を示します。
製品レベル	この列は、タンクで測定された製品レベルを示します。
レベル警報	この列は、製品レベル警報を示します。
製品温度	この列は、タンク内の製品温度を示します。
水レベル	この列は、タンク内の水レベルを示します。
測定密度	この列は、タンク内の製品の測定密度を示します。
浮屋根ステータス	この列は、タンクの浮屋根詳細を示します。
TOV	この列は、合計測定容量 (TOV) を示します。
GOV	この列は、グロス測定容量 (GOV) を示します。

タンク グループ タイプに応じて、次のようなテーブル情報が表示されます。

タンク グループ タイプ	テーブル情報
スタティック タンク グループ	当該タンク グループを選択したときのタンクの測定値情報が表示されます。最新の測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。
ダイナミック タンク グループ	ウェブ ページで動的に表示されるタンクの測定値情報を確認することができません。情報はリアルタイムで表示されます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>この場合、製品移送はダイナミック タンク グループ内で実行されます。  (a) タンクの新規製品移送が作成された場合、タンクは「準備完了のタンク」タンク グループに表示されます。(b) または、製品移送が「準備完了」段階から「作動中」へ変更された場合、「移送中のタンク」タンク グループに表示されます。</li> <li>タンク グループが設定されている場合、タンクは設定された基準フィルタに基づくタンク グループ内に表示されます。例えば、「新規ダイナミック タンク グループ追加」画面で「警報タイプ」として「H 警報」が選択された場合、リアルタイム タンク グループ画面のタンク グループには「H 警報」が発生しているタンクだけが表示されます。</li> </ol>



#### 注意！

ゲスト ユーザーの場合は「非リアルタイム タンク グループ詳細」画面が表示されます。当該タンク グループを選択したときのタンクの測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

#### テーブル表示列の追加方法

1. テーブル欄外の灰色のエリアを右クリックします。次のようなポップアップ ウィンドウが表示されます。

- 製品
- タンクステータス
- タンク形状
- 移送方向
- 製品レベル
- レベル警報
- 水尺レベル
- 測定密度
- ペーパー温度
- ペーパー圧力
- TOV
- 製品温度
- FWV
- GOV
- GSV
- NSV
- 浮屋根ステータス
- 合計質量
- 検尺値製品レベル
- 検尺値水尺レベル
- 手動測定温度
- 手動測定密度
- UnitAliveStatus
- TOV 流量
- NSV 流量
- 合計質量流量
- 合計標準容量
- 受入可能容量
- 払出可能容量
- 基準密度
- 大気中のネット重量

2. 表示する / 表示しない列を選択 / 選択解除します。

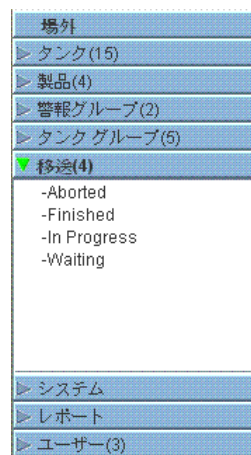
## 11 「移送」メニュー

タンクビジョンシステムには、製品移送段階に応じてタンク詳細を動的に表示する機能があります。製品移送詳細は、「待機中」、「実行中」、「完了」および「中止」の製品移送段階にグループ化されます。以下の表は製品移送グループの説明です。

製品移送グループ	製品移送ステータス
待機中	このグループには、準備完了の製品移送段階にあるタンクがすべて表示されます。
実行中	このグループには、作動中または一時停止の製品移送段階にあるタンクがすべて表示されます。
完了	このグループには、終了または完了の製品移送段階にあるタンクがすべて表示されます。
中止	このグループには、中止の製品移送段階にあるタンクがすべて表示されます。

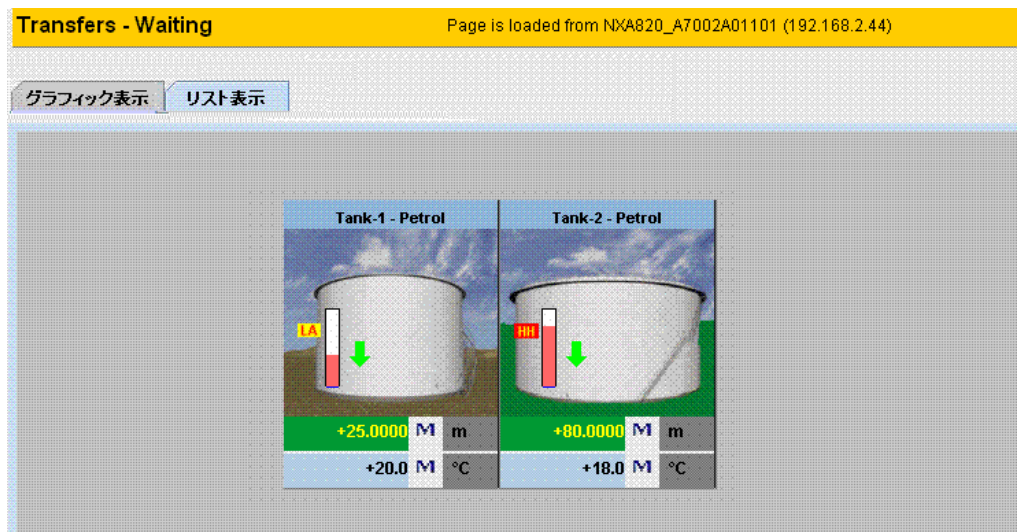
### 製品移送詳細の表示方法

1. ナビゲーションツリーの「移送(4)」ヘッダーをクリックします（製品移送グループ数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。「移送」ヘッダーが次のように展開されます。



2. 上の図では、〈製品移送グループ〉名が「移送」ヘッダーの下に表示されています。〈製品移送グループ〉名には、その〈製品移送グループ〉名に関連付けられているタンク数がカッコ内に動的に表示されます。
3. 〈製品移送グループ〉名をクリックすると、次のような 移送 - 〈製品移送グループ名〉画面が表示されます。





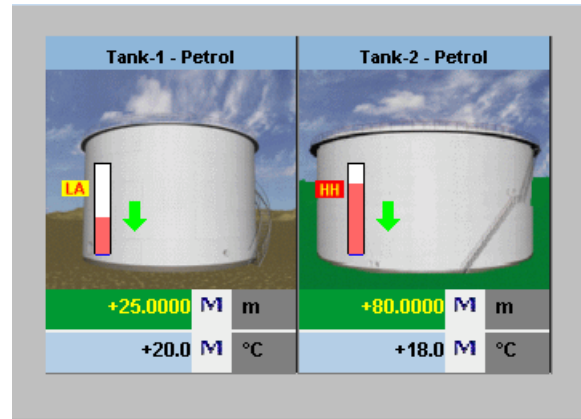
4. デフォルトでは、製品移送グループはグラフィック形式で表示されます。

〈製品移送グループ〉名の前のにををクリックすると、リーフノードが展開され、各製品移送グループにある〈タンク名〉が表示されます。〈タンク名〉をクリックすると、タンクに関する詳細情報が表示されます。

## 11.1 製品移送グループ詳細のグラフィック形式での表示

製品移送グループ詳細のグラフィック形式での表示方法

1. 移送 - <製品移送グループ名> 画面の「グラフィック表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



注意！

ゲスト ユーザーの場合は「非リアルタイム製品移送グループ詳細」画面が表示されます。当該製品移送グループを選択したときのタンクのグラフィック測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

## 11.2 製品移送グループ詳細のテーブル形式での表示

製品移送グループ詳細のテーブル形式での表示方法

1. 移送 - <製品移送グループ名> 画面の「テーブル表示」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。

グラフィック表示		リスト表示								
タンク名 (なし)	製品 (なし)	製品レベル (m)	TOV (m <sup>2</sup> )	製品温度 (°C)	タンク ステータス (なし)	GOV (m <sup>2</sup> )	OSV (m <sup>2</sup> )	手動測定密度 (kg/m <sup>2</sup> )	NSV (m <sup>2</sup> )	
Tank-1	Petrol	+0.548	+54.780	+0.0	操作中	+54.780	+54.780	+0.0	+54.780	



注意！

ゲスト ユーザーの場合は「非リアルタイム製品移送グループ詳細」画面が表示されます。当該製品移送グループを選択したときのタンクのグラフィック測定値情報が表示されます。最新のグラフィック測定値情報を表示するには、マニュアルで画面を更新する必要があります。

## 12 「システム」メニュー

この章では以下の項目について説明します。

- ・ カスタム設定
- ・ ネットワーク設定
- ・ 環境設定
- ・ トレンド グローバル設定
- ・ フィールドスキャン
- ・ 保税封印
- ・ アーカイブ設定
- ・ ダウンロード
- ・ オペレータ ワークステーション設定
- ・ システム診断
- ・ アップロード
- ・ 装置ステータス コード

システム設定を行うには、適切なアクセス権限を有している必要があります。有効なアクセス権限を有していない場合、このウェブ ページにアクセスしても、システム設定を行うことはできません。

システムの設定方法

1. ナビゲーション ツリーの「システム」ヘッダーをクリックします。次のように展開されます。



2. 「グローバル設定」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

People for Process Automation Endress+Hauser

English Japanese Custom 検閲 ヘルプ

---

**山梨** Manage NXA820 - localhost ページはlocalhost (192.168.1.32)からロードされていま  
す 09/01/2009 11:46:53 AM GMT+00

- ▶ タンク(10)
- ▶ 製品(3)
- ▶ タンク グループ(2)
- ▶ 移送(4)
- ▼ システム
  - グローバル設定
  - ▣ Tank Scanning Units (1)
  - Data Concentrators
  - Host Links

設定項目	+ すべて
▶ カスタム設定	✓
▶ ネットワーク設定	✓
▶ 環境設定	✓
▶ トレンド グローバル設定	✓
▶ フィールドスキャン	✓
▶ 保税封印	✓
▶ アーカイブ設定	✓
▶ ダウンロード	✓
▶ オペレータワークステーション設定	✓
▶ システム診断	✓
▶ アップロード	✓
▶ 装置ステータスコード	✓

---

レポート ユーザー(3) Page Loaded Completely


警告 イベント 警告 & イベント												
日付	イベン...	ステー...	ステー...	要素	警報内容	警報発...	値	E-mail	ユーザ...	FG タグ...	イベン...	オブシ...
08/26/2009...	警報	作動中	確認	氷尺レベル	HA	Tank-z	+1.200 m未設定	なし	localhost			1

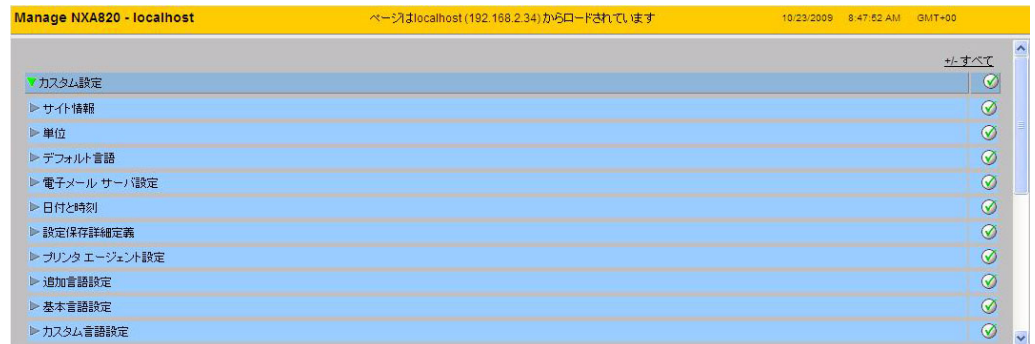
## 12.1 カスタム設定

タンクビジョン システムのカスタム設定メニューには次のセクションがあります。

- ・ サイト情報
- ・ 単位
- ・ デフォルト言語設定
- ・ 電子メール サーバ 設定
- ・ 日付と時刻
- ・ 設定保存詳細の定義
- ・ プリンタ エージェント設定

グローバル カスタム設定の設定方法


3. 「カスタム設定」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。



### 12.1.1 サイト情報

「サイト」とは、タンクビジョン システムが設置されている所在地を指します。このセクションでは、サイト情報を設定することができます。

#### サイト情報の設定方法

1. 「サイト情報」の  をクリックします。次のような「サイト情報」画面が表示されます。

フィールド	説明
会社名	会社名を入力します。
サイト名	タンクビジョン システムが設置されているサイト名を入力します。
サイト所在地	タンクビジョン システムが設置されている所在地名を入力します。
グラフィック サイトマップ	タンクのサイト マップが含まれる、グラフィック サイト マップ ウェブ ページのへの URL を入力します。
会社ロゴ	「アップロード」 ボタンをクリックして、適切な会社ロゴを選択します。画像サイズは 32 x 32 画素以下にしてください。このフィールドのファイル名には英数字を使用できます。詳細情報については「会社ロゴのアップロード」セクション (102 ページ) を参照してください。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

サイト情報を設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 会社ロゴのアップロード

1. 「サイト情報」画面の「アップロード」ボタンをクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
アップロード ファイル	アップロードするファイルの保存場所を入力するか、または「参照」ボタンをクリックして保存場所を選択します。

2. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。アップロードしたロゴとファイル名が、「サイト情報」画面に次のように表示されます。

3. 「送信」ボタンをクリックすると、タンクビジョン画面のシステム ヘッダーに新しいロゴが表示されます。

### 12.1.2 単位

タンクビジョン システムは、各種在槽データやパラメータを表示します。各パラメータには特定の測定単位が設定されます。この単位は、要件に応じて設定することが可能です。タンクビジョン システムには、SI、US、JAPAN という 3 つの単位系統規格が用意されています。この単位系統に基づいて、さまざまな物理的な量やパラメータに適切な単位があらかじめ選択されます。単位系統をカスタマイズした場合、単位系統の末尾に「Customised (カスタマイズ)」が表示されます。この単位設定を変更できるのは、有効なアクセス権限を有するユーザー（例えば管理者 / エンジニア）に限られます。

#### 単位の設定方法

1. 「単位」の をクリックします。次のような確認画面が表示されます。

フィールド	説明
SI (デフォルト)	SI 系統では、国際単位系 (SI) に基づく単位が選択されます。
US	US 系統では、米国で一般的な単位 (mm、deg F、gallons など) が選択されます。
JAPAN	JAPAN 系統では、日本で一般的な単位 (mm、g/ml、kilo liter など) が選択されます。

2. 適切な単位系統オプションを選択します。
3. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行するか、または「詳細設定」ボタンを押して単位の詳細設定を行います。確認画面が表示されます。
4. 「OK」ボタンをクリックして、詳細を保存します。
5. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

単位設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

**単位の詳細設定**

1. 「単位」画面の「詳細設定」ボタンをクリックします。次のような画面が表示されます。

Current Unit Scheme: SI	Unit	Leading Digits	Decimals
Tank Parameter Type			
Level: *	m	3	3
Volume: *	m <sup>3</sup>	3	3
Mass: *	Ton	3	3
Temperature: *	°C	3	1
Pressure: *	kPa	2	2
Density: *	kg/m <sup>3</sup>	4	1
Volumetric Flow: *	m <sup>3</sup> /min	3	1
Acceleration: *	m/s <sup>2</sup>	1	5
Molar Value: *	kg/kmol	3	4
Temperature Coeff. *	10E-7/°C	3	1
Area Temperature Coeff. *	10E-14/°C	3	1
Air Density: *	kg/m <sup>3</sup>	1	5
Speed: *	mm/s	2	1
Mass Flow: *	ton/min	3	1
Decimal Separator:	Dot [.]	Thousands Separator:	Quote [']
Display Sign:	Show '+'	Display Leading Zeros:	<input type="checkbox"/>

Reset to Default Done Cancel

フィールド	説明
現在の単位系統	現在の単位系統名を表示します。
小数点記号	ドロップダウン リストから適切な小数点記号を選択します。
1000 の桁区切り	ドロップダウン リストから適切な 1000 の桁区切りを選択します。
符号表示	各数字の前に符号 (+) または (-) を表示する場合は、このチェックボックスを選択します。
先行ゼロ表示	「先行桁」列を使用する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、「先行桁」列は使用できません。

列	説明
タンク パラメータ タイプ	この列は、タンクビジョン システムで設定されたタンク パラメータのタイプを示します。
単位	ドロップダウン リストから適切な単位を選択します。ドロップダウン リストには、各タンク パラメータ タイプに対応する単位のリストが表示されます。
先行桁	先行桁数を選択または入力します。このフィールドは、「先行ゼロ表示」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。このオプションにより、タンク パラメータ タイプごとに桁数を設定することが可能です。必要に応じて、数字に先行ゼロが追加されます。先行桁数は最大 10 桁です。
小数	小数桁数を選択または入力します。このフィールドにより、各タンク パラメータ タイプごとに小数点記号の後の桁数を設定することが可能です。小数桁数は最大 10 桁です。

- 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
- 「完了」ボタンをクリックして、詳細を保存します。「初期設定にリセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。または「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定を変更せずに画面を終了します。「単位」画面が表示されます。
- 「送信」ボタンをクリックして、単位設定の変更を保存します。確認画面が表示されます。
- 「OK」ボタンをクリックして、詳細を保存します。
- 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




**注意！**

特定の単位システムの初期設定を変更した場合、「単位」画面の単位システム名の後に「Customized（カスタマイズ）」が表示されます。

**12.1.3 デフォルト言語設定**

タンクビジョンには多言語インターフェイスが用意されています。使用地域に応じて言語を設定することができます。

デフォルト言語の設定方法

1. 「デフォルト言語」の  をクリックします。
2. 次の「デフォルト言語」画面が表示されます。




フィールド	説明
デフォルト言語設定	このフィールドは、タンクビジョン インターフェイスで使用するようあらかじめ設定されている言語のリストを表示します。

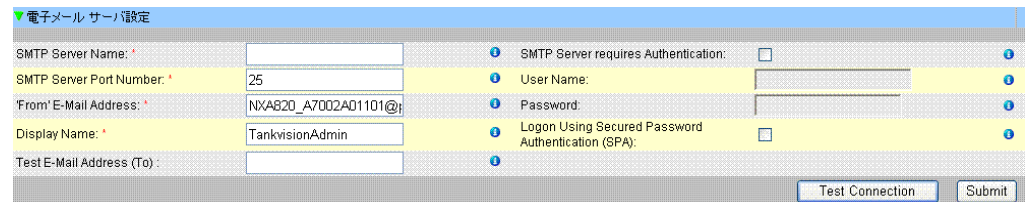
3. ドロップダウン リストから適切な言語を選択します。
4. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行します。
5. 設定が保存されると、タンクビジョンは確認メッセージを表示します。

**12.1.4 電子メール サーバ設定**

タンクビジョン システムは、電子メール サーバと呼ばれる標準 SMTP サーバを使用して E-mail を送信します。警報やイベントの通知、その他のレポートといった情報が、権限を有するユーザーに E-mail で送信されます。E-mail の送信に失敗すると、警報とイベント パネル セクションの E-mail ステータスは「エラー」になります。

E-mail サーバの設定方法

1. 「電子メール サーバ設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
SMTP サーバ名	SMTP サーバの適切なホスト名または IP アドレスを入力します。 タンクビジョン システムは、SMTP サーバ名を使用して E-mail を送信します。 このフィールドのデータ型は英数字型です。
SMTP サーバ ポート 番号	SMTP サーバの適切なポート番号を入力します。 このフィールドのデータ型は数値型です。 初期設定では、SMTP サーバ ポート 番号は 25 です。
‘送信元’ E-Mail アドレス	送信元として使用する E-mail アドレスを入力します。 このフィールドのデータ型は英数字型です。 この入力必須項目です。
表示名	送信元の表示名を入力します。 初期設定では、表示名は TankvisionAdmin です。 このフィールドのデータ型は英数字型です。
SMTP サーバ認証要求	SMTP サーバ認証を要求する場合は、このチェックボックスを選択します。これにより、ユーザー名とパスワードのフィールドが入力可能になります。
ユーザー名	固有のユーザー名を入力します。 このユーザー名は SMTP サーバ認証に使用されます。 データ型は英数字型で、大文字と小文字が区別されます。
パスワード	パスワードを入力します。 このパスワードは SMTP サーバ認証に使用されます。
セキュリティ保護されたパスワード認証 (SPA) でログインする	セキュリティ保護されたパスワードを使用してログインする場合は、このチェックボックスを選択します。
テスト E-Mail アドレス (送信先) :	E-Mail 設定テスト用の E-Mail アドレスを入力します。 「テスト接続」ボタンをクリックすると、このフィールドで設定したアドレスにテスト E-Mail が送信されます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行するか、または「テスト接続」ボタンをクリックして電子メール サーバの接続をテストします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



#### 注意！

電子メール サーバ設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.1.5 日付と時刻

このシステムでは、日付、時刻、タイムゾーン、日付と時刻の形式を設定することが可能です。タンクビジョン システムは、タイム サーバを使用して別のタンクビジョン ユニットとの間で時間を同期化します。サブスクリプション保存 (Subscription Store、SS) として設定されたタンクビジョン システム ユニットが、グローバル設定データ用にそのユニットにサブスクライブされたその他のユニットのタイム サーバとなります。

#### 日付と時刻の設定方法

1. 「日付と時刻」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

▼日付と時刻

日付形式:	mm/dd/yyyy	時刻形式:	HH:MM:SS AM
タイムゾーン:	GMT+00: Ireland, United Kingdom		
システム日付:	07/14/2009	システム時刻:	12 14 07 PM
サマータイム使用可:	<input type="checkbox"/>	サマータイムステータス:	
サマータイム開始日:		サマータイム開始時刻:	01 00 00 AM
サマータイム終了日:		サマータイム終了時刻:	01 00 00 AM

送信

フィールド	説明
日付形式	ドロップダウン リストから日付形式を選択します。 このフィールドでは、必要な日付形式を設定することが可能です。この日付形式は、すべてのタンクビジョン画面、レポート、E-mail、印刷物の日付表示に使用されます。
時刻形式	ドロップダウン リストから時刻形式を選択します。 このフィールドでは、必要な時刻形式を設定することが可能です。この時刻形式は、すべてのタンクビジョン画面の時刻表示に使用されます。
タイムゾーン	ドロップダウン リストから適切なタイムゾーンを選択します。
システム日付	現在の日付を適切な日付形式で入力します。 または、カレンダー アイコンをクリックして日付を選択します。
システム時刻	現在の時刻を適切な時刻形式で入力します。
サマータイム設定	このチェックボックスを選択すると、適切なサマータイム詳細が入力可能になります。 チェックボックスの選択を解除すると、サマータイム詳細の入力はできません。
サマータイムステータス	このフィールドは、サマータイムのステータスを表示します。 「サマータイム設定」チェックボックスを選択すると、「作動中」ステータスが表示されます。
サマータイム開始日	サマータイムが開始される日付を適切な日付形式で入力します。 この開始日に、タンクビジョン システムの時計がサマータイム設定に合わされます。 または、「日付」アイコンをクリックして日付を選択します。 このフィールドは、「サマータイム設定」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。
サマータイム開始時刻	サマータイムが開始される適切な時刻を入力します。 この開始時刻に、タンクビジョン システムの時計がサマータイム設定に合わされます。 このフィールドのデータ型は時刻型です。 このフィールドは、「サマータイム設定」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。
サマータイム終了日	サマータイムが終了する日付を適切な日付形式で入力します。 この終了日に、タンクビジョン システムの時計が通常の時間に戻されます。 または、「日付」アイコンをクリックして日付を選択します。 このフィールドは、「サマータイム設定」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。
サマータイム終了時刻	サマータイムが終了する適切な時刻を入力します。 この終了時刻に、タンクビジョン システムの時計が通常の時間に戻されます。 このフィールドのデータ型は時刻型です。 このフィールドは、「サマータイム設定」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

**注意！**

日付と時刻設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

**12.1.6 設定保存詳細の定義**

タンクビジョン システムは分散型システムであり、1つのネットワークで作動する複数のタンクビジョン ユニットで構成されています。これらのユニットのほとんどの設定は共通です。そのため、1台のタンクビジョン ユニットでこれらの設定を行い、これをサブスクリプション保存として機能させます。

サブスクリプション保存を利用することにより、設定時間を最小限に抑え、タンクビジョン システムでの作業の重複を防ぐことができます。この設定内容は、グローバル設定という形で他のタンクビジョン ユニットに配布されます。

ただし、タンクビジョン ユニットでサブスクリプション保存と異なるグローバル設定が必要になる場合もあります。この場合は、サブスクリプション保存から影響を受けないよう、またこれに影響しないよう、ローカル設定を使用してタンクビジョン ユニットを設定することが可能です。

## 設定保存詳細の定義方法

1. 「設定保存詳細の定義」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
設定保存タイプ	適切なオプションをクリックして、このタンクビジョン ユニットの当該設定保存タイプを選択します。 「サブスクリプション保存」：このオプションでは、NXA ユニットを「グローバルサブスクリプション保存」として機能させます。その他のユニットを、このサブスクリプション保存にサブスクライブさせて、そのグローバル設定を取得することが可能です。サブスクリプション保存で行ったグローバル設定の変更はすべて、サブスクライブされたユニットでも更新されます。その逆も同様です。 「グローバル設定保存を使用する」：このオプションにより、NXA ユニットは既存のサブスクリプション保存をグローバル設定に使用することが可能になります。グローバル設定保存を使用するように設定されている場合、あらゆる設定変更を受信できるよう、システムはグローバルサブスクリプション保存にサブスクライブされます。 「ローカル設定保存を使用」：このオプションにより、NXA ユニットはグローバルサブスクリプション保存と異なるローカル設定を使用することが可能になります。グローバルサブスクリプション保存でグローバル設定の変更を行っても、ローカル設定を使用するように設定された NXA ユニットには影響を与えません。その逆も同様です。
サブスクリプション保存	適切なサブスクリプション保存を選択します。タンクビジョン ユニットがグローバル設定保存を使用するように設定されている場合、このフィールドは、サブスクリプション保存の照会に使用されます。 「グローバル設定保存を使用する」オプションが選択された場合にのみ入力可能になります。また、サブスクリプション保存として設定されたタンクビジョン ユニットのリストを表示します。 「更新」 ボタンをクリックすると、最新のグローバルサブスクリプション保存リストが表示されます。
ローカル設定変更許可	このフィールドは、「設定保存タイプ」で「グローバル設定保存を使用する」オプションを選択した場合にのみ入力可能になります。このフィールドにより、サブスクリプション保存が使用できない、または接続できない場合に、タンクビジョン システム ユニットでのグローバル設定の変更を保存することが可能になります。 「はい」：サブスクリプション保存が使用できない場合に、グローバル設定保存を使用するように設定したユニットで、グローバル設定のローカルでの変更保存を許可します。 「いいえ」：サブスクリプション保存が使用できない場合、グローバル設定保存を使用するように設定したユニットで、グローバル設定のローカルでの変更保存を許可しません。



## 注意！

サブスクリプション保存がネットワーク内でアクティブになると、サブスクリプション保存のグローバル設定が、その他の全タンクビジョン ユニットのグローバル設定に上書きされます。これにより、ローカルで行われたグローバル設定変更は失われます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして作業を続行するか、または「更新」 ボタンをクリックして画面をリセットします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




## 注意

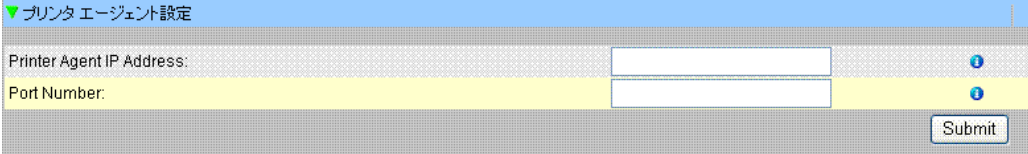
サブスクリプション保存設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.1.7 プリンタ エージェントの設定

タンクビジョンでは、タンク レポート生成のスケジュール設定が可能であり、さらにそれを人の手を介さずプリンタで印刷することができます。このタスクはプリンタ エージェントにより実行されます。プリンタ エージェントは任意のタンクビジョン ユニットからオペレータ ステーションへアップロードされます (152 ページ参照)。プリンタ エージェントをインストールしておく、次のような設定が可能になります。

プリンタ エージェントの設定方法

1. 「プリンタ エージェント設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
プリンタ エージェント IP アドレス	プリンタ エージェントがインストールされているコンピュータの IP アドレスを入力します。
ポート番号	プリンタ エージェントがリスニング (待機) しているコンピュータのポート番号を入力します。詳細については、プリンタ エージェント フォルダの DOC-ファイルを参照してください。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして作業を続行します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

プリンタ エージェント設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 12.2 ネットワーク設定

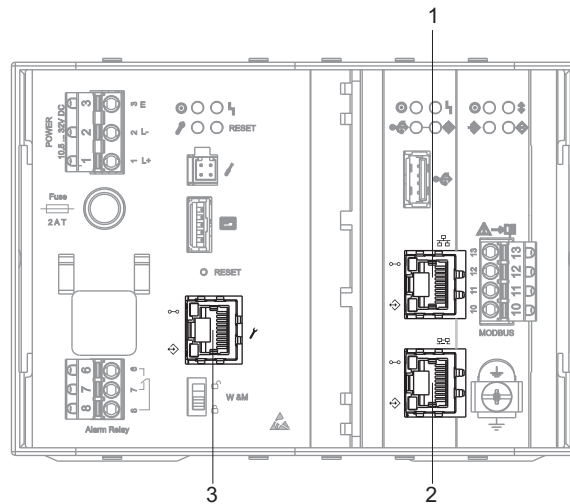
この章では以下の方法について説明します。

- ・ タンクビジョンのネットワーク設定のセットアップ
- ・ ネットワーク設定

タンクビジョン ユニット間はずべてイーサネットを使用して接続され、TCP/IP でデータ交換が行われます。タンクビジョンにはウェブベースのインターフェイスが装備されているため、標準的なウェブブラウザであれば、タンクビジョンの機能を使用することができます。

### 12.2.1 タンクビジョンのネットワーク設定

各タンクビジョン ユニットには、下の図に示すとおり 3 つの LAN ポートが装備されています。



Ethernet-Ports\_NXA820

- 1 : システム LAN ポート
- 2 : シンク リンク LAN ポート
- 3 : サービス LAN ポート

この図は NXA820 のものです。NXA821 と NXA822 の LAN ポートは同じです。

ポート	説明
システム LAN ポート	タンクビジョン ユニットをネットワークに接続します。 システム LAN ポートの IP アドレスは、「プライマリ IP アドレス」で設定できます（<\$lempagenum ページ参照）。
シンクリンク LAN ポート (準備中)	準備中
サービス LAN ポート	試運転およびサービス作業用に、タンクビジョン ユニートをローカルコンピュータに接続します。 サービス LAN ポートの IP アドレスは 192.168.1.1 です。

### 12.2.2 ネットワーク設定

タンクビジョン システムでは、タンクビジョン ユニットのネットワークを設定、変更することが可能です。


タンクビジョン ユニットの初回設定








タンクビジョン ユニートを初めて設定する場合は、以下の手順を実施してください。

1. ノートパソコンをサービス LAN ポートに接続します。ノートパソコンが DHCP サーバからダイナミック IP アドレスを取得できる設定になっていることを確認してください。
2. インターネット ブラウザを開き、次の URL を入力します。  
`http://192.168.1.1`
3. タンクビジョンにログインします（ユーザー ID = Super、パスワード = Super）。

4. 「システム / グローバル設定 / ネットワーク設定」に移動します（下記参照）。
5. 正確な IP アドレスおよびその他のネットワーク設定項目を設定します。<sup>1</sup>
6. ノートパソコンの接続を解除し、システム LAN ポートを使用してタンクビジョン ユニットのネットワークに接続します。
7. タンクビジョン ユニットの設定作業を継続します。

ネットワークの設定方法

1. 「ネットワーク設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

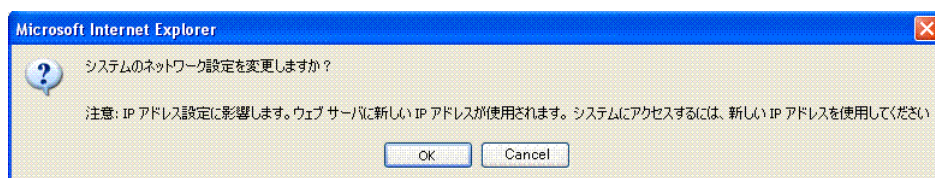
NXA820 ユニット MAC アドレス:00 07 05 00 11 15			
NXA820 ユニット タグネーム: *	NXA820_A7002A01101		
プライマリ IP アドレス: *	192.168.2.22		
セカンダリ IP アドレス:			
ドメイン: *	pcm.endress.com	スタンダアローン使用可: <input type="checkbox"/>	
サブネット マスク: *	250.250.250.0	DNSリスト: <input type="text"/>	
宛先ネットワーク:		ゲートウェイ: <input type="text"/>	
HART ポート: *	3000		

フィールド	説明
NXA82x ユニット MAC アドレス	タンクビジョン ユニットの MAC アドレスを表示します。 このアドレスはネットワーク ユニットの固有の識別子です。
NXA82x ユニット タグネーム	タンクビジョン ユニットのタグネームを入力します。 このフィールドは、タンクビジョン ユニットの TCP/IP ホスト名を示します。 この名前は、タンクビジョン ユニットの識別子として左側メニューに表示されます。 タグネームは英数字で、特殊文字の「-」と「_」（ハイフンとアンダーバー）が使用できます。
プライマリ IP アドレス	タンクビジョン ユニットの IP アドレスを入力します。 プライマリ タンクビジョン ユニットが作動すると、プライマリ IP アドレスを使用してシステム機能が共有されます。 このフィールドのデータ型は IP アドレスです。
セカンダリ IP アドレス (準備中)	準備中
ドメイン	ドメイン アドレスを入力します。 ドメインはサーバのネットワーク識別子です。 このフィールドのデータ型は英数文字型で、特殊文字の「-」、「_」、「.」（ハイフン、アンダーバー、ドット）が使用できます。
サブネット マスク	適切なサブネット マスクを入力します。 サブネット マスクは TCP/IP サービスやアプリケーションで使用され、インターネット上の所定の IP アドレスがローカル ネットワーク アドレスかリモート ネットワーク アドレスかの判定に利用されます。 このフィールドのデータ型は IP アドレスです。
宛先ネットワーク (必須項目ではありません)	ネットワーク ルーティング テーブルへマニュアル入力を追加するために使用されます。 詳細についてはエンドレスハウザーのサービス部門にお問い合わせください。
HART ポート (準備中)	準備中
スタンダアローン使用可 (NXA820 のみ)	このチェックボックスを選択した場合、タンク スキャナ NXA820 ユニットの単独で機能し、そのためホストリンク NXA822 と関連付ける必要はありません。 このチェックボックスが選択されていると、タンク レポートは NXA820 内でのみ生成されます。

1. 正確な IP アドレスが不明な場合は、社内ネットワーク管理者にお問い合わせください。単独の LAN ネットワークを使用する場合は、IP アドレスを 192.168.2.xxx、サブネット マスクを 255.255.255.0 に設定します。

フィールド	説明
DNS リスト (必須項目ではありません)	DNS リストの IP アドレスを入力します。 これは DNS サーバの IP アドレスです。DNS サーバは TCP/IP ネットワーク上でホスト名を IP アドレスに変換するために使用されます。DNS サーバへアクセスできない場合は、1.1.1.1 を入力してください。 このフィールドのデータ型は IP アドレスです。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスを入力します。 ゲートウェイは別の TCP/IP ネットワークに IP アドレスを伝達します。 詳細についてはエンドレスハウザーのサービス部門にお問い合わせください。
SEED 暗号	SEED 暗号テキストを表示します。 SEED 暗号はデータの暗号化と復号化用の秘密鍵です。 通常の用途では、デフォルト設定を変更する必要はありません。 このフィールドのデータ型は英数字型です。

- 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
- 「送信」ボタンをクリックして続行すると、次の確認ボックスが表示されます。




- 「OK」ボタンをクリックして作業を続行するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
- 設定を保存すると、タンクビジョンユニットは自動的に再起動します（これには約 3 分かかります）。

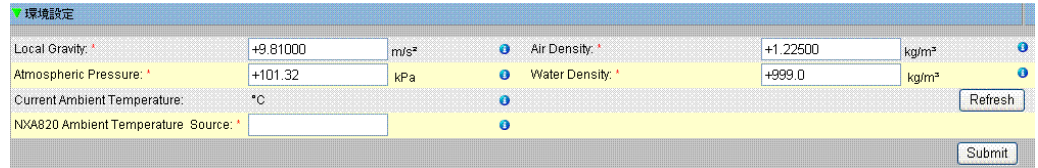


### 12.3 環境設定

「環境設定」では、タンクビジョンシステムが設置されている場所の周囲環境に関する情報を保存、表示することが可能です。この情報には、現地重力加速度、大気圧、大気および水の密度が含まれます。

環境設定の設定方法

1. 「環境設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
現地重力加速度	適切な現地重力加速度の値を入力します。このフィールドは、タンクビジョンシステムが設置されている地域の現地重力加速度を表示します。現地重力加速度値は必ず SI 単位で設定し、0 より大きくなるようにしてください。 初期値は + 9.81 m/s <sup>2</sup> です。 このフィールドのデータ型は数値型です。
大気密度	適切な大気密度の値を入力します。このフィールドは、タンクビジョンシステムが設置されている地域の大気密度を表示します。大気密度値は必ず SI 単位で設定し、0 より大きくなるようにしてください。 初期値は +1.225 Kg/m <sup>3</sup> です。 このフィールドのデータ型は数値型です。
大気圧	適切な大気圧の値を入力します。このフィールドは、タンクビジョンシステムが設置されている地域の大気圧を表示します。大気圧値は必ず SI 単位で設定してください。 このフィールドのデータ型は数値型です。
水密度	適切な水密度の値を入力します。このフィールドは、タンクビジョンシステムが設置されている地域の水密度を表示します。水密度値は必ず SI 単位で設定し、0 より大きくなるようにしてください。 初期値は +999 Kg/m <sup>3</sup> です。 このフィールドのデータ型は数値型です。
現在の周囲温度	このフィールドは、在槽値演算に使用される現在の周囲温度を表示します。現在の周囲温度は、NXA820 周囲温度元から取得されます。「更新」ボタンをクリックすると、指定した周囲温度元から取得した周囲温度が更新されます。
NXA820 周囲温度元	NXA820 周囲温度元のホスト名または IP アドレスを入力します。これにより、このユニットへ周囲温度を送信するネットワーク内の NXA820 ユニットが指定されます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして、設定を保存します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




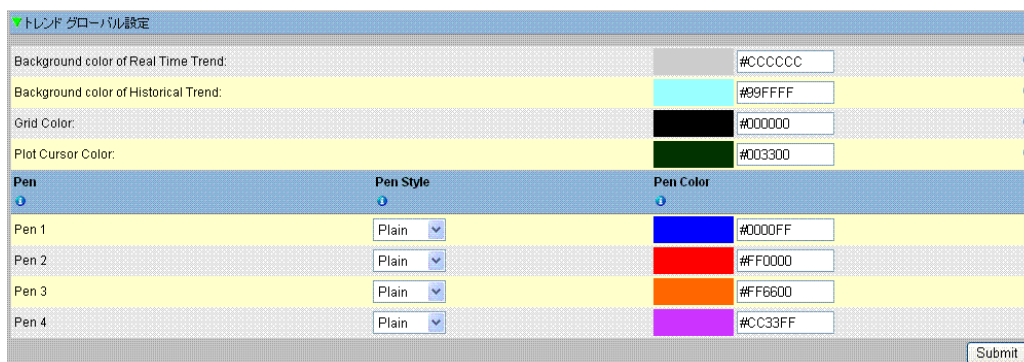
**注意！**  
環境設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 12.4 トレンド グローバル設定

タンクビジョン システムは、折れ線グラフ形式で測定データのリアルタイム トレンドを表示します。「トレンド グローバル設定」画面では、トレンド表示のグリッド、プロット カーソル、ペン、および背景の色を設定することが可能です。

トレンド グローバル設定の設定方法

1. 「トレンド グローバル設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



Field	Value	
Background color of Real Time Trend:	#CCCCCC	
Background color of Historical Trend:	#99FFFF	
Grid Color:	#000000	
Plot Cursor Color:	#003300	
Pen	Pen Style	Pen Color
Pen 1	Plain	#0000FF
Pen 2	Plain	#FF0000
Pen 3	Plain	#FF6600
Pen 4	Plain	#CC33FF

フィールド	説明
リアルタイム トレンドの背景色	カラーパレットアイコンをクリックして、カラーパレットから適切な色を選択します。 このフィールドは、リアルタイムトレンド用に設定した背景色を表示します。
ヒストリカルトレンドの背景色	カラーパレットアイコンをクリックして、カラーパレットから適切な色を選択します。 このフィールドは、ヒストリカルトレンド用に設定した背景色を表示します。
グリッド色	カラーパレットアイコンをクリックして、カラーパレットから適切な色を選択します。 このフィールドは、グリッド用に設定した色を表示します。
プロットカーソル色	カラーパレットアイコンをクリックして、カラーパレットから適切な色を選択します。 このフィールドは、プロットカーソル用に設定した色を表示します。
ペン	この列は、トレンド画面で作図ペン用に選択可能な色のリストを表示します。
ペンスタイル	ドロップダウンリストから適切なペンスタイルを選択します。 この列は、トレンド画面で使用できるペンスタイルタイプを表示します。
ペン色	カラーパレットアイコンをクリックして、適切なペン色を選択します。 このフィールドは、作図ペン用に設定した色を表示します。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



### 注意！

トレンド設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 12.5 フィールドスキャン - MODBUS EIA485



### 注意

このセクションは MODBUS プロトコル用です。その他のフィールド プロトコルについては、以下のセクションを参照してください。

- ・ セクション 12.6 : フィールドスキャン設定 - Sakura V1 (→ 119 ページ)

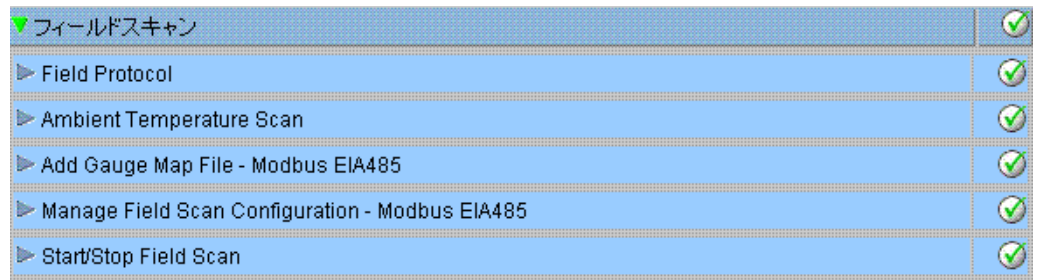
このセクションでは以下の方法について説明します。

- ・ MODBUS フィールド プロトコルの設定
- ・ 周囲温度スキャンの設定
- ・ フィールドスキャン設定の管理
- ・ フィールドスキャンの開始と停止

NXA820 の最も重要な機能は、タンクに設置されたゲージから測定データを取得することです。NXA820 はフィールドスキャンを使用して測定データを受信します。測定データには、製品レベル、製品温度、圧力、測定密度などのタンク パラメータが含まれます。

### フィールドスキャンの設定方法


1. 「フィールドスキャン」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



### 12.5.1 フィールド プロトコル

フィールド スキャンを実行するためには、フィールド プロトコルを設定する必要があります。

### フィールド プロトコルの設定方法

1. 「フィールド プロトコル」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
フィールド プロトコル タイプ	ドロップダウン リストからフィールド スキャン用に適切なフィールド プロトコル タイプを選択します。
再試行数	フィールド スキャンを開始するまでの再試行回数を入力します。このフィールドは、ゲージのフィールド スキャン エラーが確定されるまでに行われる再試行の回数を示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。 タンクビジョン システムの初期設定では、再試行数として 3 が選択されています。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックします。

4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




#### 注意

フィールド プロトコル設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.5.2 周囲温度スキャン - MODBUS

周囲温度は特殊なパラメータです。周囲温度元は通常、所定の設置に対して1つしかありません。この周囲温度元は、タンクの1つにあるスポット温度ゲージから取得した周囲温度、またはマニュアル入力値になります。NXA820の周囲温度スキャン設定では、ユニットが周囲温度を接続されたゲージから受信するか、または別のNXA820ユニットから受信するかを指定できます。

#### 周囲温度スキャンの設定方法

1. 「周囲温度スキャン」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
現在の周囲温度	このフィールドは、在槽値演算に使用される現在の周囲温度を表示します。「更新」ボタンをクリックすると、最新の周囲温度が表示されます。
周囲温度元	このフィールドにより、タンクビジョンシステムは次のいずれかから周囲温度を読み込むことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・別のNXA820ユニット、または</li> <li>・接続されたゲージ</li> </ul>

2. 該当するフィールドに適切なオプションを入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




#### 注意！

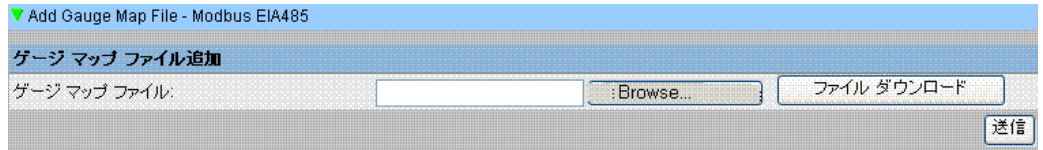
周囲温度元の設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.5.3 ゲージ マップ ファイル追加 - MODBUS

サードパーティ製のMODBUS装置では、タンクビジョン内の装置を認識するための専用マップが必要になります。この場合は、エンドレスハウザーのサービス部門宛に、正確なマップファイルをご請求ください。

#### ゲージ マップ ファイルの追加方法

1. 「ゲージ マップ ファイル追加」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。




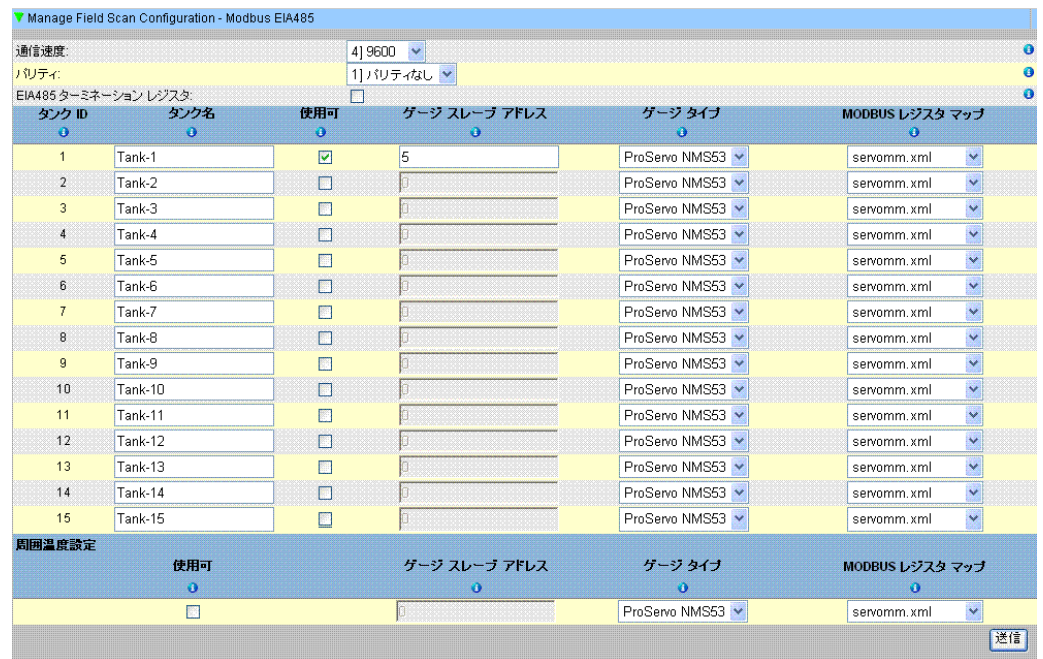
2. 「参照」 ボタンをクリックして、必要なゲージ ファイルに移動します。ファイル名をダブルクリックすると、「ゲージ マップ ファイル」 フィールドにファイル名が入力されます。
3. 「ファイルのダウンロード」 ボタンをクリックして、タンクビジョン ユニットにマップ ファイルをダウンロードします。
4. 「送信」 ボタンをクリックすると、ゲージ マップ ファイルが有効になります。

### 12.5.4 フィールドスキャン設定管理 - MODBUS

「フィールドスキャン設定管理 - MODBUS」画面は、シリアル設定詳細とゲージ設定詳細を表示します。「カスタム」オプションを使用して別のゲージタイプや標準テンプレートを選択し、在槽データに基づく最終的なタンク在槽レポートを生成することができます。

フィールドスキャン設定の管理方法 - MODBUS の場合

1. 「フィールドスキャン設定管理 - MODBUS」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
通信速度	ドロップダウン リストから MODBUS 通信用の通信速度を選択します。初期設定：9600
パリティ	ドロップダウン リストから MODBUS 信号のパリティを選択します。
EIA485 ターミネーションレジスタ	RS485 用 Fieldbus のターミネーションレジスタを使用可能または使用不可にします。これは、信号反射を低減するため、長い Fieldbus ケーブルの場合のみ必要です。
タンク設定	
タンク ID	タンクビジョン システムの各タンクには、1～15 の固有の数値がつけられます。この ID は、NXA820 がタンク データ スキャン用に使用するネットワーク アドレスを示します。


フィールド	説明
タンク名	実際のタンク名で、このフィールドまたはタンク設定で変更できます。
使用可	このチェックボックスを選択すると、各タンクのフィールドスキャンが使用可能になります。
ゲージ スレーブ アドレス (DEC)	このフィールドは、「使用可」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。 NXA820 システムとゲージの間で通信用に設定されたゲージ スレーブ アドレスを入力します。 ゲージ スレーブ アドレスには 1 ~ 247 の任意の数字を使用できます。
ゲージ タイプ	ドロップダウン リストから適切なゲージ タイプを選択します。 このフィールドは必須項目です。
MODBUS レジスタ マップ	タンクおよびゲージの適切なレジスタ マップを選択します。
周囲温度設定	
使用可	周囲温度を設定する場合は、このチェックボックスを選択します。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

### 12.5.5 フィールドスキャンの開始と停止

このオプションにより、フィールドスキャン設定後にフィールドスキャンを開始させることができます。このオプションでは、同様に、いつでもフィールドスキャンを停止させることもできます。

フィールドスキャンの開始と停止方法

1. 「フィールドスキャン 開始 / 停止」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「開始」ボタンをクリックして、フィールドスキャンを開始します。フィールドスキャンが開始していない場合、「開始」ボタンは有効になっています。開始すると「開始」ボタンは無効になり、「中止」ボタンが有効になります。フィールドスキャンを停止するには、「中止」ボタンをクリックします。



注意！

フィールドスキャンが開始または停止すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 12.6 フィールドスキャン設定 - Sakura V1



### 注意！

このセクションは Sakura V1 プロトコル用です。その他のフィールド プロトコルについては、以下のセクションを参照してください。

- ・ セクション 12.5：フィールドスキャン - MODBUS EIA485、115 ページ

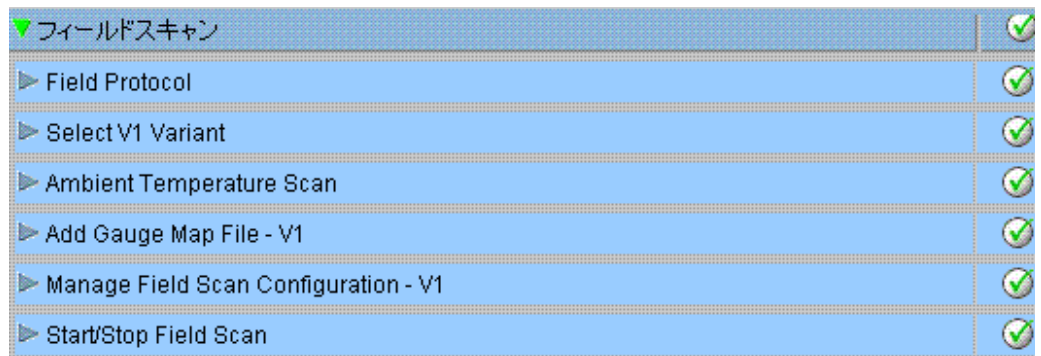
このセクションでは以下の方法について説明します。

- ・ Sakura V1 フィールド プロトコルの設定
- ・ 周囲温度スキャンの設定
- ・ フィールドスキャン設定の管理
- ・ フィールドスキャンの開始と停止

NXA820 の最も重要な機能は、タンクに設置されたゲージから測定データを取得することです。NXA820 はフィールドスキャンを使用して測定データを受信します。測定データには、製品レベル、製品温度、圧力、測定密度などのタンク パラメータが含まれます。

### フィールドスキャンの設定方法


1. 「フィールドスキャン」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

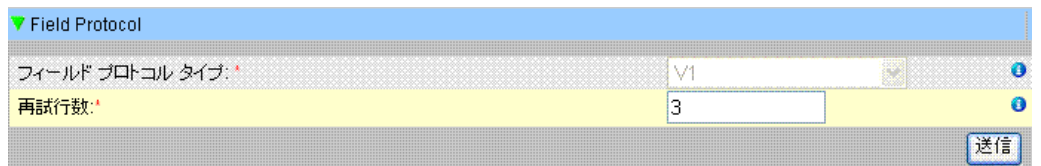


### 12.6.1 フィールド プロトコル

フィールド スキャンを実行するためには、フィールド プロトコルを設定する必要があります。

### フィールド プロトコルの設定方法

1. 「フィールド プロトコル」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
フィールド プロトコル タイプ	フィールド スキャン用にドロップダウン リストから適切なフィールド プロトコル タイプを選択します。
再試行数	フィールド スキャンを開始するまでの再試行回数を入力します。このフィールドは、ゲージのフィールド スキャン エラーが確定されるまでに行われる再試行の回数を示します。 このフィールドのデータ型は数値型です。 タンクビジョン システムの初期設定では、再試行数として 3 が選択されています。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。

- 「送信」ボタンをクリックします。
- 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**  
フィールド プロトコル設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.6.2 V1 タイプの選択

V1 タイプの選択方法

- 「V1 タイプ選択」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
プロトコル タイプ	V1 プロトコルの新旧タイプのどちらを使用するか選択します。

- 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
- 「送信」ボタンをクリックします。
- 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




**注意！**  
V1 タイプの設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.6.3 周囲温度スキャン - V1

周囲温度は特殊なパラメータです。周囲温度元は通常、所定の設置に対して1つしかありません。この周囲温度元は、タンクの1つにあるスポット温度ゲージから取得した周囲温度、またはマニュアル入力値になります。NXA820の周囲温度スキャン設定では、ユニットが周囲温度を接続されたゲージから受信するか、または別のNXA820ユニットから受信するかを指定できます。

周囲温度スキャンの設定方法

- 「周囲温度スキャン」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
現在の周囲温度	このフィールドは、在槽値演算に使用される現在の周囲温度を表示します。「更新」ボタンをクリックすると、最新の周囲温度が表示されます。



フィールド	説明
周囲温度元	このフィールドにより、タンクビジョン システムは次のいずれかから周囲温度を読み込むことができます。 ・ 別の NXA820 ユニット、または ・ 接続されたゲージ
別の NXA820 ユニットから周囲温度を取得	このオプションを選択すると、別の NXA820 ユニットから周囲温度を取得することができます。
システム設定オーバーライド	「別の NXA820 ユニットから周囲温度を取得」オプションを選択すると、「システム設定オーバーライド」チェックボックスが入力可能になります。この「システム設定オーバーライド」チェックボックスを選択すると、「NXA820 ユニットのネットワーク アドレス」テキストボックスが入力可能になります。
NXA820 ユニットのネットワーク アドレス	このテキストボックスは、「システム設定オーバーライド」チェックボックスを選択すると入力可能になります。周囲温度元となる NXA820 ユニットの IP アドレスを入力します。
接続されたゲージから周囲温度を取得	このオプションを選択すると、接続されたゲージから周囲温度を取得することができます。

2. 該当するフィールドに適切なオプションを入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




**注意！**

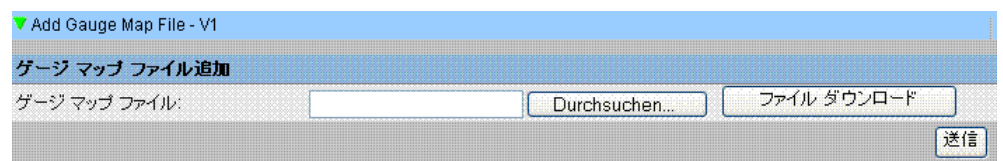
周囲温度元の設定を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.6.4 ゲージ マップ ファイル追加 - V1

サードパーティ製の V1 装置では、タンクビジョン内の装置を認識するための専用マップが必要になります。この場合は、エンドレスハウザーのサービス部門宛に、正確なマップ ファイルをご請求ください。

ゲージ マップ ファイルの追加方法

1. 「ゲージ マップ ファイル追加」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「参照」ボタンをクリックして、必要なゲージ ファイルに移動します。ファイル名をダブルクリックすると、「ゲージ マップ ファイル」フィールドにファイル名が入力されます。
3. 「ファイルのダウンロード」ボタンをクリックして、タンクビジョン ユニットにマップ ファイルをダウンロードします。
4. 「送信」ボタンをクリックすると、ゲージ マップ ファイルが有効になります。

### 12.6.5 フィールドスキャン設定管理 - V1

この画面では、各ゲージに使用するアドレスと V1 マップを選択することが可能です。フィールドスキャン設定を変更する前には、フィールドスキャンを停止させておく必要があります (123 ページ参照)。

フィールドスキャン設定の管理方法

1. 「フィールドスキャン設定管理 - V1」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

▼ Manage Field Scan Configuration - V1

物理的インターフェイス設定

パルス間隔: 703 μs (303~703 マイクロ秒)

パルス振幅: 17 V

タンク ID	タンク名	使用可	Gauge Slave Address (DEC)	ゲージタイプ	V1 マップ ファイル
1	Tank-1	<input checked="" type="checkbox"/>	5	ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
2	Tank-2	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
3	Tank-3	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
4	Tank-4	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
5	Tank-5	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
6	Tank-6	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
7	Tank-7	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
8	Tank-8	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
9	Tank-9	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml
10	Tank-10	<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml

周囲温度設定

使用可	ゲージスレーブ アドレス	ゲージタイプ	V1 マップ ファイル
<input type="checkbox"/>		ProServo NMS53	NewV1LevelTemp.xml

送信


フィールド	説明
物理的なインターフェイスの設定	
パルス間隔	パルス間隔（通信速度に相当）を定義します。
パルス振幅	長いケーブルまたは信号伝送が不十分な場合に、信号の増幅を可能にします。
タンク設定	
タンク ID	タンクビジョン システムの各タンクには、1～15 の固有の数値がつけられます。この ID は、NXA820 がタンク データ スキャン用に使用するネットワーク アドレスを示します。
タンク名	このフィールドに、ユーザー定義のタンク名を入力します。
使用可	このチェックボックスを選択すると、各タンクのフィールドスキャンが使用可能になります。
ゲージ スレーブ アドレス (DEC)	このフィールドは、「使用可」チェックボックスを選択した場合に入力可能になります。 NXA820 システムとゲージの間で通信用に設定されたゲージ スレーブ アドレスを入力します。 ゲージ スレーブ アドレスには 1～247 の任意の数字を使用できます。
ゲージ タイプ	ドロップダウン リストから適切なゲージ タイプを選択します。 このフィールドは必須項目です。
V1 マップ ファイル	ドロップダウン リストから適切な V1 マップ ファイルを選択します。適切なマップ ファイルがない場合、「ゲージ マップ ファイル追加」機能で追加しなければなりません（121 ページ参照）。
周囲温度設定	
使用可	周囲温度を設定する場合は、このチェックボックスを選択します。
ゲージ スレーブ アドレス	周囲温度を供給するゲージのスレーブ アドレスを入力します。
ゲージ タイプ	ドロップダウン リストから適切なゲージ タイプを選択します。このフィールドは必須項目です。
V1 マップ ファイル	ドロップダウン リストから適切な V1 マップ ファイルを選択します。適切なマップ ファイルがない場合は、「ゲージ マップ ファイル追加」機能で追加しなければなりません（121 ページ参照）。

2. 該当するフィールドに適切なオプションを入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

### 12.6.6 フィールドスキャンの開始と停止

このオプションにより、フィールドスキャン設定後にフィールドスキャンを開始させることができます。同様に、フィールドスキャンをいつでも停止させることもできます。

フィールドスキャンの開始と停止方法

1. 「フィールドスキャン 開始 / 停止」の  をクリックします。次のような画面が表示されま



2. 「開始」ボタンをクリックして、フィールドスキャンを開始します。フィールドスキャンが開始していない場合、「開始」ボタンは有効になっています。開始すると「開始」ボタンは無効になり、「中止」ボタンが有効になります。フィールドスキャンを停止するには、「中止」ボタンをクリックします。



#### 注意！

フィールドスキャンが開始または停止すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 12.7 保稅タンク封印

この章では以下の方法について説明します。

- ・ 保稅タンク承認ステータスの変更

保稅タンク承認ステータスの変更方法

1. 「保稅タンク封印」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

▼ W&M Information			
<b>This page is static and is loaded at:</b>			
	07/15/2009	4:58:05 PM	GMT+00
W&M Switch status:	Unsealed		
W&M CRC At Sealing Time:			
Time Of Sealing:			
Last Calculated W&M CRC:			
Last Calculated CRC's Time Stamp:			

フィールド	説明
保稅タンク封印スイッチステータス	このフィールドは、保稅タンク封印スイッチのステータスを表示します。保稅タンク封印スイッチのステータスは「ON」または「OFF」です。
全体保稅タンク CRC	このフィールドは、全体保稅タンク CRC を表示します。

列	説明
シリアル番号	この列はシリアル番号を示します。
項目名	この列は保稅タンク当局が承認した項目リストを示します。保稅タンク承認リストは、「テンプレート」、「設定」、「ファームウェア」、「その他」の各種グループに区分されます。
CRC	この列は CRC を示します。
保稅タンク承認	このチェックボックスを選択すると、対応する項目名が保稅タンク承認として承認されます。
保稅タンク承認 時刻スタンプ	この列は保稅タンク承認の日付と時刻を示します。

2. 適切なチェックボックスを選択して、「送信」ボタンをクリックします。
3. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




### 注意！

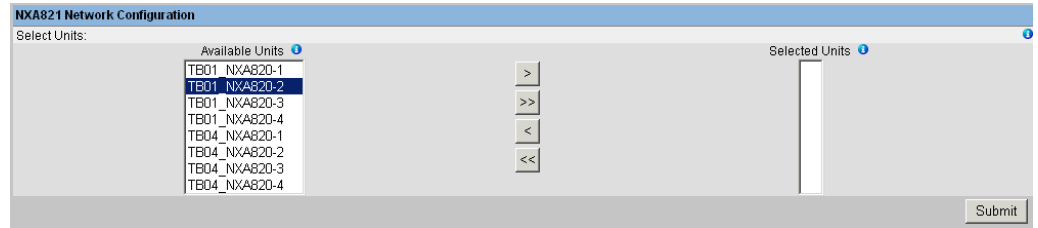
保稅タンク承認ステータスが変更されると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。





## 12.8 タンク スキャナ ユニットおよびタンク割当て

データ コンセントレータには、最大 15 台のタンク スキャナとそのタンクを割当てることが可能です。これにより、データ コンセントレータを介してすべてのタンクに直接アクセスできます。各種タンク スキャナに接続されたタンクを含むタンク グループを形成することができます。

タンク スキャナ NXA820 のデータ コンセントレータ NXA821 への割当て方法

1. 「タンク スキャナ ユニットおよびタンク割当て」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
使用可能なタンク	このリストには、グループ化に使用できる〈タンク名〉が表示されます。
選択されたタンク	このリストには、タンク グループにグループ化された〈タンク名〉が表示されます。
	このボタンをクリックすると、選択したタンク スキャナが「使用可能なタンク」リストから「選択されたタンク」リストへ移動します。
	このボタンをクリックすると、すべてのタンク スキャナが「使用可能なタンク」リストから「選択されたタンク」リストへ移動します。
	このボタンをクリックすると、タンク スキャナが選択解除されて「選択されたタンク」リストから「使用可能なタンク」リストへ移動します。
	このボタンをクリックすると、すべてのタンク スキャナが選択解除されて「選択されたタンク」リストから「使用可能なタンク」リストへ移動します。

2. データ コンセントレータに割当てするタンク スキャナ ユニートをすべて「選択されたユニット」フィールドへ移動させます。
3. 「送信」ボタンをクリックして、データ コンセントレータへのタンク スキャナの割当てを追加します。




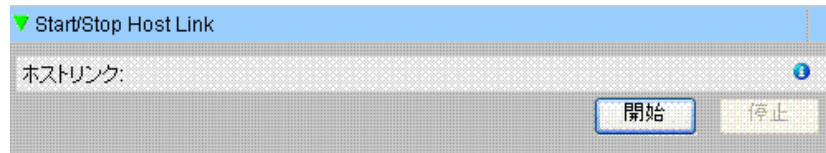
**注意！**

タンク スキャナ NXA820 がデータ コンセントレータ NXA821 に割当てられると、接続されたタンクはすべて NXA821 または各 NXA820 経由で操作できます。


## 12.9 ホストリンク

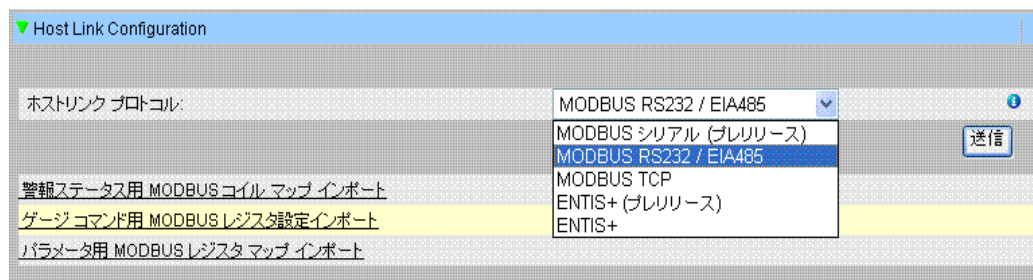
ホストリンク NXA822 には、ホスト システムがタンク スキャナ NXA820 の在槽データへアクセスするためのインターフェイスが装備されています。ホストリンクを設定するには、以下の手順を実施してください。

1. 「ホストリンク」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



### 12.9.1 ホストリンク設定

1. 「ホストリンク設定」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。



2. ホストリンク プロトコルのドロップダウン リストから「MODBUS TCP」または「MODBUS シリアル」を選択します。初期設定では、「MODBUS シリアル」が表示されます。
3. 「送信」ボタンをクリックして、ホストリンク プロトコル タイプを保存します。設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



#### 注意！

- ・ ホストリンク タイプの設定が行われると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。
- ・ 「MODBUS シリアル設定」または「MODBUS TCP 設定」がそれぞれその次のサブヘッダーに表示されます。

### 12.9.2 警報ステータス用 MODBUS コイル マップ インポート

MODBUS 入力ステータス (1X) は、作動中または作動していない警報ステータスを発生させるために使用されます。MODBUS コイル ステータス (0X) は、警報の確認と「警報確認」ステータスを発生させるために使用されます。

MODBUS コイル マップは、XML ファイルとして設定することが可能です。この XML ファイルには、関連付けられたタンクの警報マッピングおよび確認ステータスの設定が含まれます。

NXA822 は、警報ステータスと確認ステータス用コイル マップが含まれる XML ファイルのインポートをサポートします。

「警報ステータス用 MODBUS コイル マップ」のサンプル XML

```
<FG4HL_MODBUS_ALARM_STATUS_MAP CRC="0">
```

```
<MAP_ENTRY>
```

```
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
```

```
<Tank_Id>1</Tank_Id>
```

```
<Alarm>HH</Alarm>
```

```
<Param_Name>P_LEVEL</Param_Name>
```

```
<StatusCoil>10001</StatusCoil>
```

```
<AckCoil>00001</AckCoil>
```

```
</MAP_ENTRY>
```

```
<MAP_ENTRY>
```

```
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
```

```
<Tank_Id>1</Tank_Id>
```

```
<Alarm>H</Alarm>
```

```
<Param_Name>P_LEVEL</Param_Name>
```

```
<StatusCoil>10002</StatusCoil>
```

```
<AckCoil>00002</AckCoil>
```

```
</MAP_ENTRY>
```

```
<MAP_ENTRY>
```

```
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
```

```
<Tank_Id>2</Tank_Id>
```

```
<Alarm>HH</Alarm>
```

```
<Param_Name>P_LEVEL</Param_Name>
```

```
<StatusCoil>10101</StatusCoil>
```

```
<AckCoil>00101</AckCoil>
```

```
</MAP_ENTRY>
```

```
<MAP_ENTRY>
```

```
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
```

```
<Tank_Id>2</Tank_Id>
```

```
<Alarm>H</Alarm>
```

```
<Param_Name>P_LEVEL</Param_Name>
```


```
<StatusCoil>10102</StatusCoil>
```

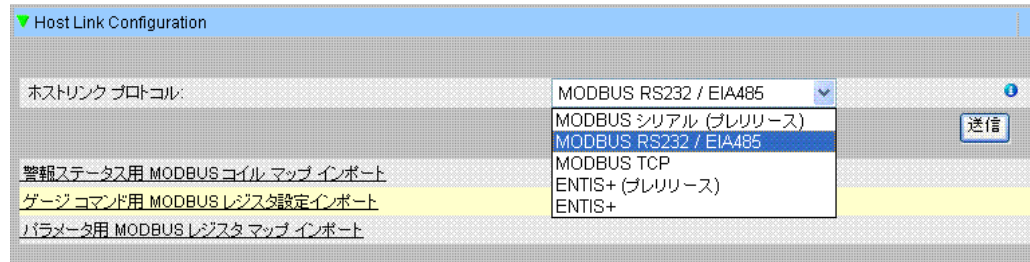
```
<AckCoil>00102</AckCoil>
```

```
</MAP_ENTRY>
```

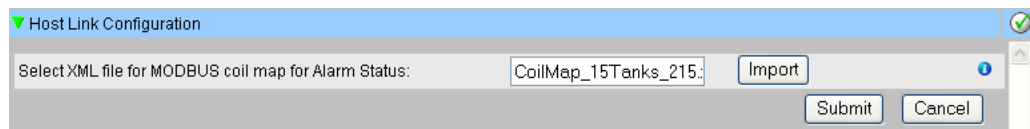
```
</FG4HL_MODBUS_ALARM_STATUS_MAP>
```

警報ステータス情報用 MODBUS コイル マップが含まれる XML ファイルのインポート方法

1. 「ホストリンク設定」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。



2. 「警報ステータス用 MODBUS コイル マップ インポート」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

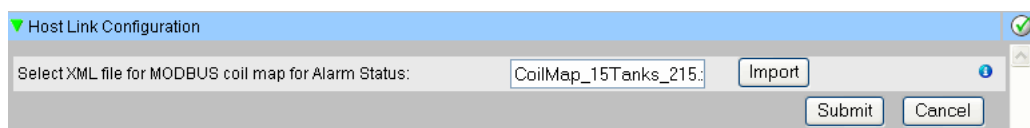


フィールド	説明
警報ステータスの MODBUS コイル マップ XML ファイルを選択	「インポート」ボタンをクリックして、コイル マップが含まれる XML ファイルをインポートします。

3. 「インポート」ボタンをクリックしてファイルをインポートしようとする時、次のような画面が表示されます。

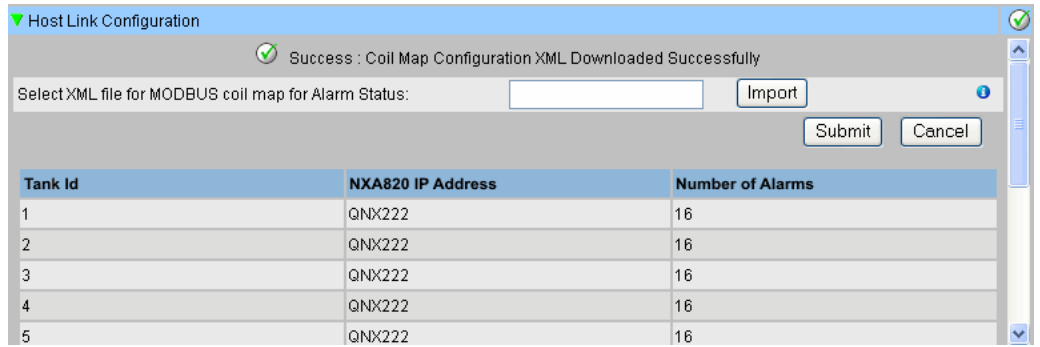


4. 「参照」ボタンをクリックして、インポートするファイルを検索します。適切な保存場所から XML ファイルを選択するための画面が表示されます。
5. アップロードするファイルのある保存場所を入力するか、または「参照」ボタンをクリックして適切なファイル保存場所から XML ファイルを選択します。
6. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行します。次のように、「警報ステータスの MODBUS コイル マップ XML ファイルを選択」フィールドに XML ファイルが表示されません。



7. 「送信」ボタンをクリックします。コイル マップ設定 XML ファイルのダウンロードに成功すると、確認メッセージが表示されます。





列	説明
タンク ID	この列は、NXA820 IP アドレスに対応するタンク識別子を示します。
NXA820 IP アドレス	この列は、NXA820 のユニット タグネームを示します。
警報数	この列は、各タンク ユニットに設定された警報数を示します。



**注意！**

- ・ NXA822 に関連付けられた各タンクの更新された警報リストが、「警報ステータス用 MODBUS コイル マップ インポート」画面に表示されます。
- ・ コイル マップ設定 XML ファイルをダウンロードすると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.9.3 ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタ設定インポート

ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタは、タンクのゲージ コマンドの送信、および現在作動中のゲージ コマンドのステータスの表示に使用されます。

ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタは、XML ファイルに設定することが可能です。

NXA822 は、ゲージ コマンド設定が含まれる XML ファイルのインポートをサポートします。

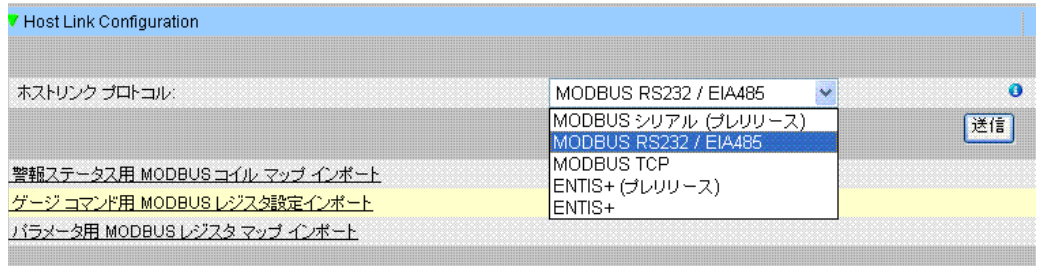
「ゲージ コマンド用レジスタ設定」のサンプル XML

```
<FG4HL_MODBUS_GAUGE_CMD_CONFIG CRC="0">
```

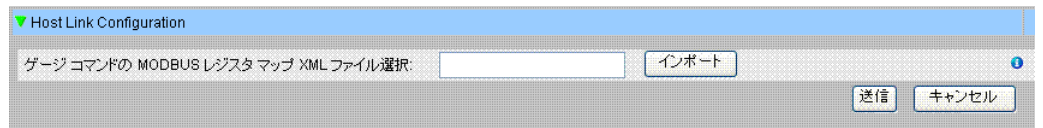
```
<CONFIG_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
<Tank_Id>1</Tank_Id>
<Cmd_Register>40020</Cmd_Register>
<Status_Register>30020</Status_Register>
</CONFIG_ENTRY>
<CONFIG_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
<Tank_Id>2</Tank_Id>
<Cmd_Register>40021</Cmd_Register>
<Status_Register>30021</Status_Register>
</CONFIG_ENTRY>
<CONFIG_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
<Tank_Id>3</Tank_Id>
<Cmd_Register>40022</Cmd_Register>
<Status_Register>30022</Status_Register>
</CONFIG_ENTRY>
<CONFIG_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
<Tank_Id>4</Tank_Id>
<Cmd_Register>40023</Cmd_Register>
<Status_Register>30023</Status_Register>
</CONFIG_ENTRY>
<CONFIG_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
<Tank_Id>5</Tank_Id>
<Cmd_Register>40024</Cmd_Register>
<Status_Register>30024</Status_Register>
</CONFIG_ENTRY>
<CONFIG_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX213</IP_ADDR>
<Tank_Id>6</Tank_Id>
<Cmd_Register>40025</Cmd_Register>
<Status_Register>30025</Status_Register>
</CONFIG_ENTRY>
</FG4HL_MODBUS_GAUGE_CMD_CONFIG>
```

ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタ設定が含まれる XML ファイルのインポート方法

1. 「ホストリンク設定」の をクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタ設定インポート」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

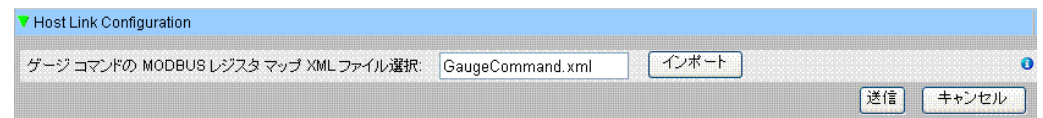


フィールド	説明
ゲージ コマンドの MODBUS レジスタ マップ XML ファイルを選択	「インポート」ボタンをクリックして、ゲージ コマンド設定が含まれる XML ファイルをインポートします。

3. 「インポート」ボタンをクリックしてファイルをインポートしようとするすると、次のような画面が表示されます。



4. 「参照」ボタンをクリックして、インポートするファイルを検索します。適切な保存場所から XML ファイルを選択するための画面が表示されます。
5. アップロードするファイルのある保存場所を入力するか、または「参照」ボタンをクリックして適切なファイル保存場所から XML ファイルを選択します。
6. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行します。次のように、「ゲージ コマンドの MODBUS レジスタ マップ XML ファイルを選択」フィールドに XML ファイルが表示されます。



7. 「送信」ボタンをクリックします。ゲージ コマンド マップ設定 XML ファイルのダウンロードに成功すると、確認メッセージが表示されます。

Host Link Configuration

成功: ゲージコマンド マップ設定 XML がダウンロードされました

ゲージコマンドの MODBUSレジスタ マップ XML ファイル選択:   ?

Tank Id	NXA820 IP Address	Gauge Command Register	Gauge Command Status Register
2	228-NXA820	401002	301002
3	228-NXA820	401003	301003
4	228-NXA820	401004	301004
15	228-NXA820	401001	301001

列	説明
タンク ID	この列は、NXA820 IP アドレスに対応するタンク識別子を示します。
NXA820 IP アドレス	この列は、NXA820 のユニット タグネームを示します。
警報数	この列は、各タンク ユニットに設定された警報数を示します。



**注意！**

- ・ 関連付けられた各タンクの更新されたゲージ コマンド レジスタとゲージ コマンド ステータス レジスタのリストが、「ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタ設定インポート」画面に表示されます。
- ・ ゲージ コマンド マップ設定 XML ファイルをダウンロードすると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.9.4 パラメータ用 MODBUS レジスタ マップ インポート

MODBUS レジスタ マップは、適切なタンク パラメータに対する MODBUS レジスタのマッピングに関する情報を提供するものです。

タンク パラメータ用 MODBUS レジスタ マップは、XML ファイルに設定することが可能です。XML ファイルは、2 つの異なる構造、つまり「シンプル アプローチ」と「オリエンテーション XML」のいずれかで作成できます。

シンプル アプローチでは、パラメータすべてのレジスタ アドレスをユーザーが XML に明確に記述します。

データ オリエンテーション アプローチ XML では、ユーザーが定義したオリエンテーション タイプとブロック アドレスに基づいてレジスタ アドレスが黙示的に生成されます。オリエンテーションは、データまたは要素にすることができます。

オリエンテーション タイプが要素の場合、1 つのパラメータのすべてのタンクが連続するレジスタでグループ化されます。一方、エンターション タイプがデータの場合、1 つのタンクのすべてのパラメータがグループ化されます。

指定されたオリエンテーションに基づいてオリエンテーション パラメータがグループ化されると、そのオリエンテーションにより形成されたグループはブロック、そしてブロックの最初のレジスタのアドレスはブロック アドレスと呼ばれます。

NXA822 は、適切なネットワーク位置からのタンク パラメータ設定が含まれる XML ファイルのインポートをサポートします。

「パラメータ用レジスタ マップ (シンプル アプローチ)」のサンプル XML

```
<FG4HL_MODBUS_PARAM_MAP CRC="0">

<MAP_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<Tank_Id>1</Tank_Id>
<Param_Name>P_LEVEL</Param_Name>
<ParamRegister>30001</ParamRegister>
<OverrideRegister>40001</OverrideRegister>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</MAP_ENTRY>

<MAP_ENTRY>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<Tank_Id>2</Tank_Id>
<Param_Name>P_LEVEL</Param_Name>
<ParamRegister>30005</ParamRegister>
<OverrideRegister>40005</OverrideRegister>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</MAP_ENTRY>

</FG4HL_MODBUS_PARAM_MAP>
```

「パラメータ用レジスタ マップ (オリエンテーション タイプ要素)」のサンプル XML

```
<FG4HL_MODBUS_PARAM_MAP CRC="0">

<MAP_ORIENTATION>Elements</MAP_ORIENTATION>
<MAP_ELEMENTS>
<ELEMENT>
<Name>P_LEVEL</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>W_LEVEL</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
```

```

</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>P_TEMP</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>V_TEMP</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>A_TEMP</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
</MAP_ELEMENTS>
<BLOCKS>
<BLOCK_START>30001</BLOCK_START>
</BLOCKS>
<OVERRIDEBLOCKS>
<BLOCK_START>40001</BLOCK_START>
</OVERRIDEBLOCKS>
<TANKS>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>1</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>2</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>4</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>5</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>15</ID>
</TANK>
</TANKS>

</FG4HL_MODBUS_PARAM_MAP>

```

「パラメータ用レジスタ マップ (オリエンテーション タイプ データ)」のサンプル XML ファイル


```

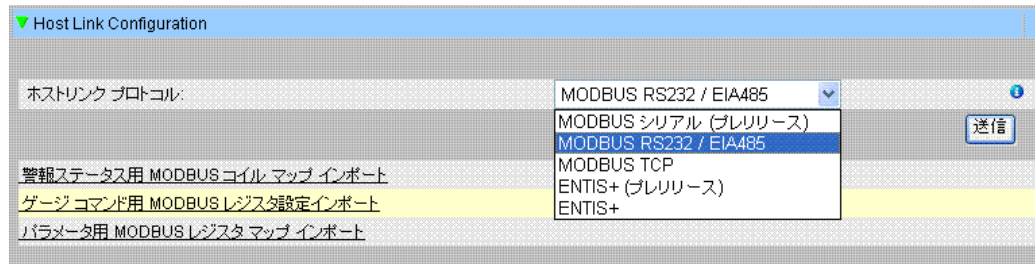
<FG4HL_MODBUS_PARAM_MAP CRC="0">
<MAP_ORIENTATION>Data</MAP_ORIENTATION>
<MAP_ELEMENTS>
<ELEMENT>
<Name>P_LEVEL</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>

```

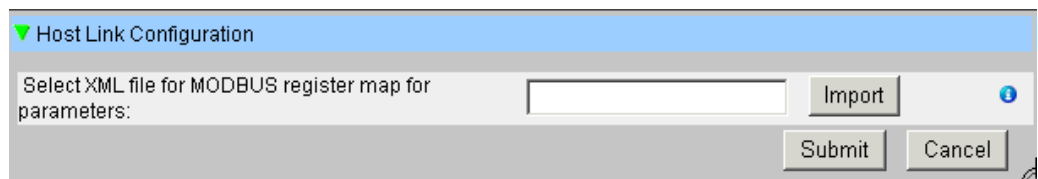
```
<Name>W_LEVEL</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>P_TEMP</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>V_TEMP</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
<ELEMENT>
<Name>A_TEMP</Name>
<Scalar>1.0</Scalar>
<Offset>0.0</Offset>
<Packing_Format>IEEE754</Packing_Format>
</ELEMENT>
</MAP_ELEMENTS>
<BLOCKS>
<BLOCK_START>30001</BLOCK_START>
</BLOCKS>
<OVERRIDEBLOCKS>
<BLOCK_START>40001</BLOCK_START>
</OVERRIDEBLOCKS>
<TANKS>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>1</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>2</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>4</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>5</ID>
</TANK>
<TANK>
<IP_ADDR>QNX205</IP_ADDR>
<ID>15</ID>
</TANK>
</TANKS>
</FG4HL_MODBUS_PARAM_MAP>
```

パラメータ用 MODBUS レジスタ マップが含まれる XML ファイルのインポート方法

1. 「ホストリンク設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

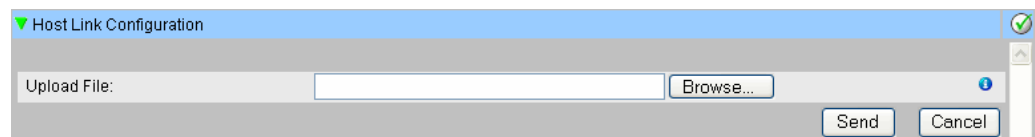


2. 「パラメータ用 MODBUS レジスタ マップ インポート」をクリックすると、次のような画面が表示されます。

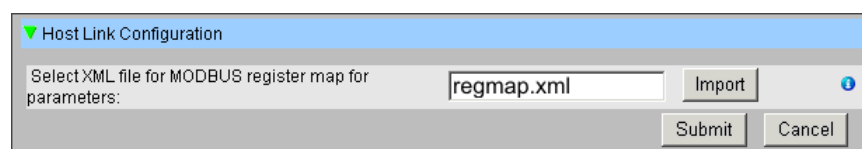


フィールド	説明
ゲージコマンドの MODBUS レジスタ マップ XML ファイルを選択	「インポート」ボタンをクリックして、ゲージコマンド設定が含まれる XML ファイルをインポートします。

3. 「インポート」ボタンをクリックしてファイルをインポートすると、次のような画面が表示されます。

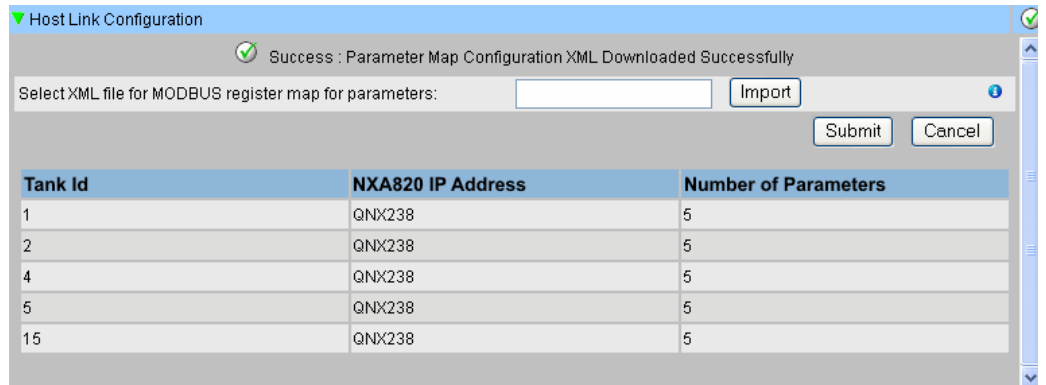


4. 「参照」ボタンをクリックして、インポートするファイルを検索します。適切な保存場所から XML ファイルを選択するための画面が表示されます。
5. アップロードするファイルのある保存場所を入力するか、または「参照」ボタンをクリックして適切な保存場所から XML ファイルを選択します。
6. 「送信」ボタンをクリックして作業を続行します。次のように、「パラメータの MODBUS レジスタ マップ XML ファイルを選択」フィールドに XML ファイルが表示されます。



7. 「送信」ボタンをクリックします。パラメータ マップ設定 XML ファイルのダウンロードに成功すると、確認メッセージが表示されます。





列	説明
タンク ID	この列は、NXA820 IP アドレスに対応するタンク識別子を示します。
NXA820 IP アドレス	この列は、NXA820 のユニット タグネームを示します。
パラメータ数	この列は、各タンク ユニットに設定されたパラメータ数を示します。

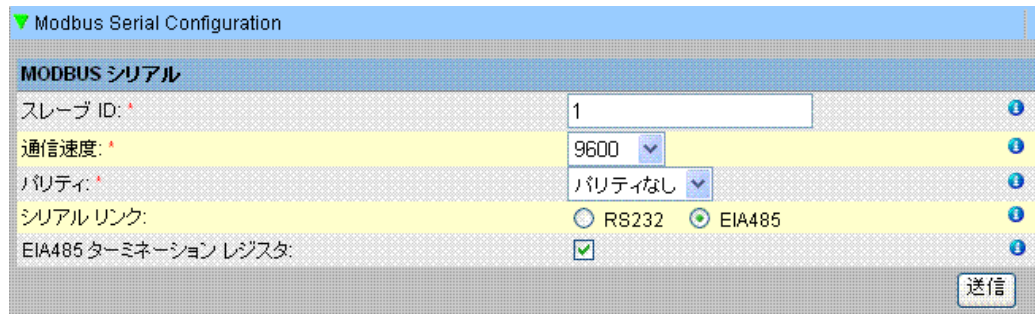
- ・ NXA822 に関連付けられた各タンクの更新されたゲージ コマンド レジスタとゲージ コマンド ステータス レジスタのリストが、「ゲージ コマンド用 MODBUS レジスタ設定インポート」画面に表示されます。
- ・ ゲージ コマンド マップ設定 XML ファイルをダウンロードすると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.9.5 MODBUS シリアル

「ホストリンク設定」セクションで「MODBUS シリアル」を選択すると、MODBUS シリアルに関するパラメータの設定が可能になります。

MODBUS シリアルの設定方法

1. 「MODBUS シリアル」の  をクリックします。  
次のような「MODBUS シリアル」画面が表示されます。



フィールド	説明
スレーブ ID	NXA822 ユニットに固有かつ有効なスレーブ ID を割り当てます。 このフィールドのデータ型は 1 ~ 247 の正の整数です。
通信速度	ドロップダウン リストから適切な通信速度を選択します。 通信速度の初期設定は 1200 ビット / 秒です。
パリティ	ドロップダウン リストからシリアル通信用の適切なパリティを選択します。

2. 該当するフィールドに適切なオプションを入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




#### 注意！

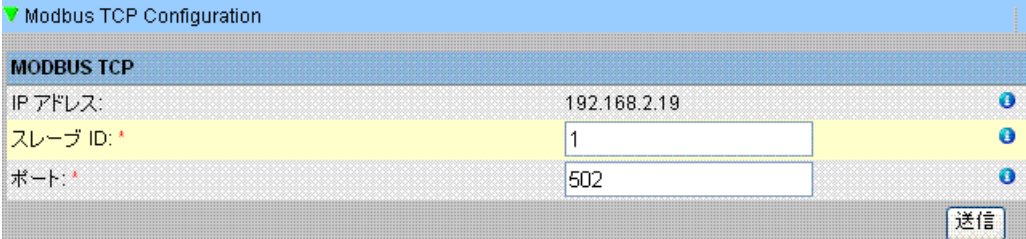
- ・ NXA822 は、「通信速度」と「パリティ」の設定を使用してシリアルリンクを初期化します。
- ・ MODBUS シリアルの設定が行われると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.9.6 MODBUS TCP 設定

「ホストリンク プロトコル」セクションで「MODBUS TCP」を選択すると、MODBUS TCP に関するパラメータの設定が可能になります。

MODBUS TCP の設定方法

1. 「MODBUS シリアル」の  をクリックします。次のような「MODBUS TCP」画面が表示されます。



フィールド	説明
IP アドレス	ネットワーク設定で設定した IP アドレスが表示されます。
スレーブ ID	NXA822 ユニットに固有かつ有効なスレーブ ID を割当てます。このフィールドのデータ型は 1 ~ 247 の正の整数です。
ポート	NXA822 MODBUS スレーブを設定する固有のポート番号を入力します。このフィールドのデータ型は 1 ~ 32767 の正の整数です。

2. 該当するフィールドに適切なオプションを入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。




注意！

MODBUS TCP の設定が行わると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.9.7 ホストリンク 開始 / 停止

ホストリンクが設定されると、これを開始することができます。

ホストリンクの開始方法

1. 「ホストリンク 開始 / 停止」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「開始」ボタンをクリックしてホストリンクを作動させるか、「停止」ボタンをクリックしてホストリンクの作動を止めます。ホストリンクが作動していない場合、「開始」ボタンは有効、「停止」ボタンは無効になっています。逆に、ホストリンクが作動中は、「停止」ボタンが有効で「開始」ボタンは無効になります。

## 12.10 アーカイブ設定

タンクビジョン システムの内部アーカイブには、接続されたタンクの測定値と演算値が一定期間保存されます。これらのデータは、ヒストリカルトレンドの表示に使用されます。アーカイブ設定の詳細は、「アーカイブ設定」画面で設定できます。

アーカイブの設定方法

1. 「アーカイブ設定」の をクリックします。次のような画面が表示されます。

▼ アーカイブ設定		
データアーカイブ間隔:	<input type="text" value="300"/>	(秒、最小 60~最大 900)
データアーカイブ期間:	<input type="text" value="250"/>	(日)
タンク数:	<input type="text" value="15"/>	
使用可能メモリ:	<input type="text" value="939524096"/>	(バイト)
必要メモリ:	<input type="text" value="433080000"/>	(バイト)

フィールド	説明
データ アーカイブ間隔	アーカイブにデータを保存する間隔を定義します。間隔は秒で指定します。最小間隔：60 秒
データ アーカイブ期間	アーカイブにデータを保存する期間を定義します。 単位：日、最大値：900 日
タンク番号	アーカイブ データを保存するタンクのシステム内の番号を示します。
使用可能メモリ	アーカイブに使用できる保存領域の空き容量を示します。
必要メモリ	アーカイブに必要な保存領域の空き容量を示します。 必要メモリが使用可能メモリを超えた場合、次の 2 つの対処方法があります。 表 t データ アーカイブ間隔を延ばす 表 t データ アーカイブ期間を短縮する

2. 該当するフィールドに適切な値を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

## 12.11 ダウンロード

ユーザーのコンピュータからタンクビジョン システムに次のファイルをダウンロードできます。

- ・ タンクビジョン設定
- ・ タンクビジョン レポート テンプレート

### 12.11.1 タンクビジョン設定のダウンロード

この章では以下の方法について説明します。

- ・ タンクビジョン設定のダウンロード

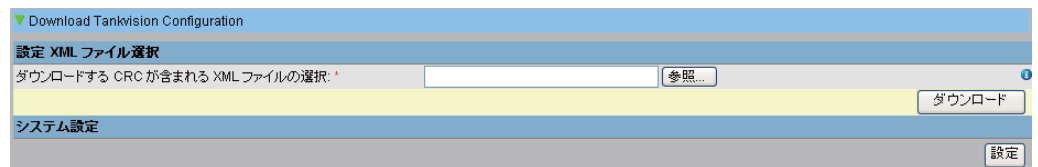
タンクビジョン システムには各種の設定があり、システムを使用する前に設定しておく必要があります。ユニットを1台ずつマニュアルで設定すると多大な時間がかかる場合がありますが、既存の設定を適用すると、再設定作業を効率よく処理できます。これは、既存のシステム設定をユーザーのコンピュータにアップロードすることにより実行できます (146 ページ参照)。アップロードした設定は XML ドキュメントとして保存されます。この設定ファイルを新規のタンクビジョン システムにダウンロードすると、同じ設定を迅速に適用することができます。また、必要に応じて、アップロードした XML 設定の一部をマニュアルで変更することも可能です。これにより、各種タンクビジョン ユニットにさまざまな設定を適用することができます。設定ファイルをダウンロードすると、画面に「エラー」ステータスが表示されます。設定ファイルが正常にダウンロードされると、ユニットは自動的に再起動します。

タンクビジョン設定のダウンロード方法

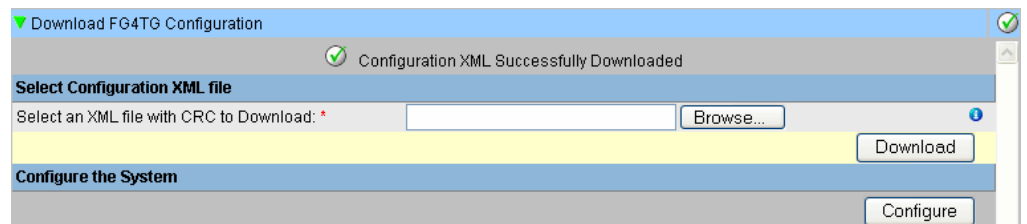
1. 「ダウンロード」の をクリックします。「ダウンロード」ヘッダーが次のように展開されます。



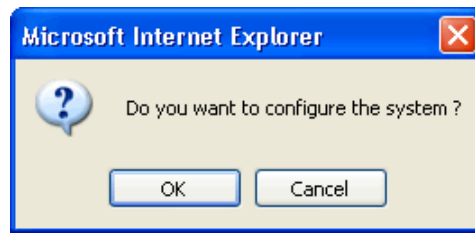
2. 「タンクビジョン設定のダウンロード」の をクリックすると、次のような画面が表示されます。



3. 「参照」 ボタンをクリックしてファイル名を選択し、「開く」 ボタンをクリックします。
4. 「ダウンロードする CRC が含まれる XML ファイルの選択」テキストボックスにファイル名が表示されます。
5. 設定 XML ファイルのダウンロードに成功すると、次のような画面が表示されます。



6. 「設定」 ボタンをクリックします。



7. 「OK」 ボタンをクリックします。設定のダウンロードには 5 分ほどかかることがあります。



**注意！**

設定コンポーネントがアップロードされると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

### 12.11.2 レポート テンプレートのダウンロード

この章では以下の方法について説明します。


・ 新規レポート テンプレートのダウンロード

タンクビジョンは各種のタンク在槽レポートを生成します。レポートはレポート テンプレートを使用して生成されます。レポート テンプレートはシステム内のパーサ (構文解析ツール) によって解析され、在槽データに基づいた最終レポートが生成されます。

タンクビジョンには、タンク在槽レポート用のデフォルトまたは標準テンプレートが用意されています。タンクビジョンでは、ユーザーが新規レポート テンプレートを追加することも可能です。

新規レポート テンプレートの作成に関するサポートが必要な場合は、エンドレスハウザーのサービス部門にお問い合わせください。

新規レポート テンプレートのダウンロード方法

1. 「ダウンロード」の  をクリックします。「ダウンロード」ヘッダーが次のように展開されます。



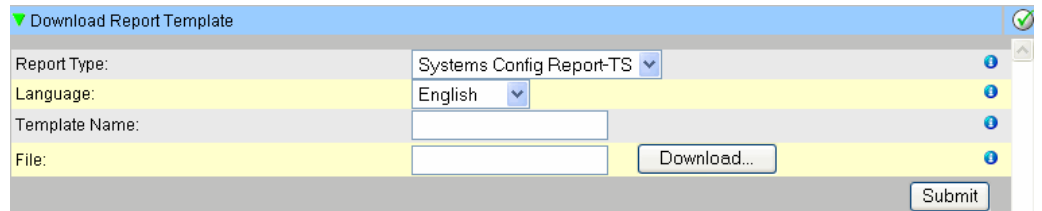
2. 「ダウンロード レポート テンプレート」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
レポート タイプ	ドロップダウン リストから適切なレポート タイプを選択します。レポート タイプには以下のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム設定レポート - タンク スキャナ</li> <li>・ 製品移送レポート</li> <li>・ タンク増減レポート (ネットワーク設定で「スタンドアローン」を選択した場合のみ使用可能)</li> <li>・ タンク詳細レポート (ネットワーク設定で「スタンドアローン」を選択した場合のみ使用可能)</li> <li>・ タンクグループ詳細レポート (ネットワーク設定で「スタンドアローン」を選択した場合のみ使用可能)</li> </ul>
言語	ドロップダウン リストから適切な言語名を選択します。
テンプレート名	このフィールドにテンプレート名を入力します。データ型は英数字型です。テンプレート名には、特殊文字とスペースは使用できません。
ファイル	ダウンロードするファイルの保存場所を入力します。「ダウンロード」ボタンをクリックして保存場所を選択することもできます。

3. 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



4. 「参照」ボタンをクリックしてファイル名を選択し、「開く」ボタンをクリックします。
5. 「ファイル アップロード」テキストボックスにファイル名が表示されます。
6. 「送信」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



7. 「送信」ボタンをクリックします。
8. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



注意！

新規レポート テンプレートがダウンロードされると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。



注意！


古いテンプレート名を複製したり、再使用したりすることはできません。

## 12.12 オペレータ ワークステーション設定

ウェブブラウザ経由でアクセスする他のウェブベースのシステム同様、タンクビジョンは、ユーザーセッションのコンセプトを使用し、システムとのインタラクションセッション用にユーザー固有のデータを保持します。ウェブブラウザ経由でシステムにアクセスすると必ず新規のセッションが作成されます。一定期間何も操作が行われなければそのセッションはタイムアウトになり、そのユーザーセッションは自動的に削除されます。

タンクビジョンシステムは、変更されたユーザー設定やユーザーデータを保持するためにユーザーセッションを使用します。セッションはまた、ユーザー信用証明の認証にも使用されます。ユーザー信用証明は、システムの設定を変更するアクセス権限の検証にも使用されます。しかし、システムでタンクデータを表示する際は、オペレータが、セッションタイムアウトによるログインを何度も繰り返すことなくデータを確認できることが重要です。これには、特定のコンピュータを「オペレータワークステーション」として設定します。オペレータワークステーションからタンクビジョンウェブページにアクセスした場合、一度システムにログインすると、このような問題に煩わされることなくリアルタイムのタンク情報を表示できます。

オペレータワークステーションの設定または管理方法


1. 「オペレータワークステーション設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。



### 12.12.1 オペレータワークステーション設定

オペレータワークステーションとして使用するには、ローカルコンピュータのIPアドレスを指定する必要があります。

オペレータワークステーションの設定方法

1. 「オペレータワークステーション設定」の  をクリックします。次のような画面が表示されます。

フィールド	説明
本機のMAC(Media Access Control)アドレス	タンクビジョンシステムウェブページへのアクセスに使用するパソコンのMACアドレスを表示します。
本機をオペレータワークステーションとしてマークします	このチェックボックスを選択すると、マシンがユーザーワークステーションまたはオペレータワークステーションとしてマークされます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックします。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



#### 注意！

オペレータワークステーションを設定すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

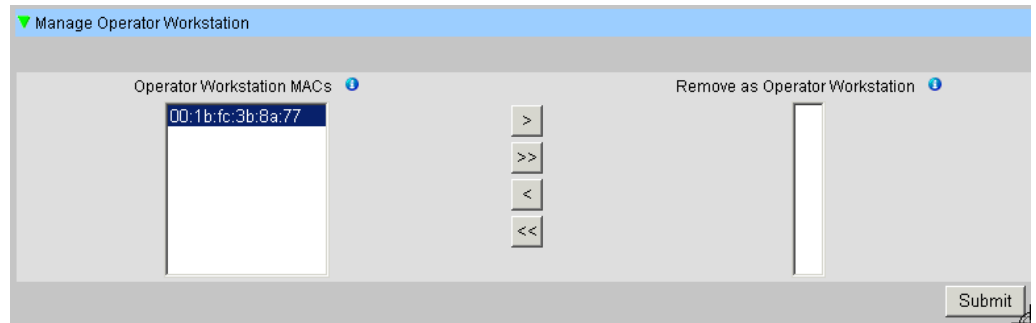


### 12.12.2 オペレータ ワークステーションの管理方法

オペレータ権限が設定されているオペレータ ワークステーションの MAC アドレスは、このオプションで削除できます。

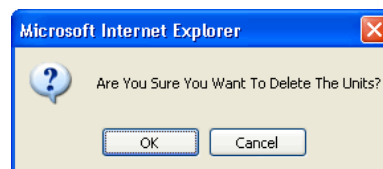
オペレータ ワークステーションの削除方法

1. 「オペレータ ワークステーション管理」の をクリックします。次のような画面が表示されます。



列	説明
オペレータ ワークステーション MAC	オペレータ ワークステーションの MAC アドレスが表示されます。
削除するオペレータ ワークステーション	削除するオペレータ ワークステーションの MAC アドレスが表示されます。右矢印をクリックすると、この列に選択した IP アドレスが表示されます。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」 ボタンをクリックして、オペレータ ワークステーションの MAC アドレスを削除します。次のような確認画面が表示されます。



4. 「OK」 ボタンをクリックします。
5. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。



**注意！**

オペレータ ワークステーションの MAC アドレスを削除すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 12.13 システム診断

システム診断ツールはサービス作業を目的としたものであり、タンクビジョン システムの通常の操作では使用しません。

## 12.14 アップロード

以下のファイルをタンクビジョン システムからユーザーのコンピュータにアップロードすることが可能です。

- ・ 一般的なアップロード (診断ファイルなどを含む)
- ・ タンクビジョン 設定
- ・ 警報ポップアップ エージェント
- ・ プリンタ エージェント
- ・ 事後分析ダンプ (サービス用)

### 12.14.1 一般的なアップロード

これには、タンクビジョン ユニットからアップロードする一般的なデータが含まれます (例: 診断ファイル)。


### 12.14.2 タンクビジョン設定のアップロード

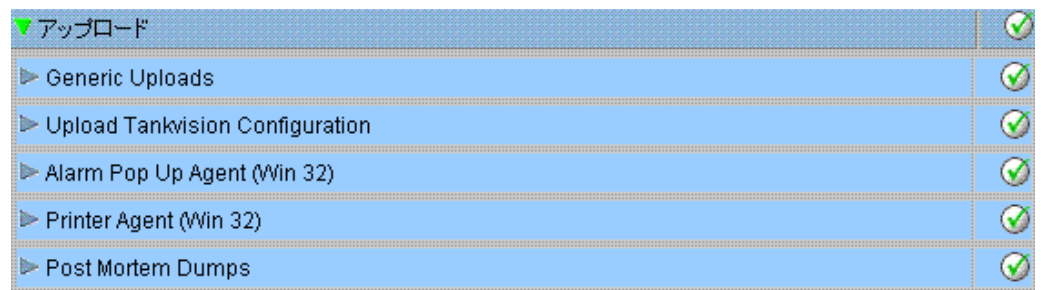
この章では以下の方法について説明します。


- ・ ユーザーのコンピュータへのタンクビジョン設定のアップロード

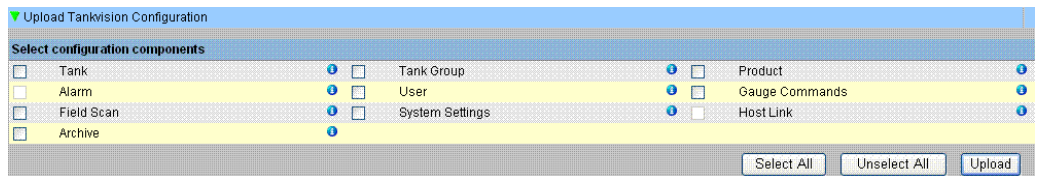
タンクビジョン システムにはさまざまな設定があり、システムを使用する前に設定しておく必要があります。ユニットを 1 台ずつマニュアルで設定すると多大な時間がかかる場合がありますが、既存の設定を適用すると、再設定作業を効率よく処理できます。これは、既存のシステム設定をユーザーのコンピュータにアップロードすることにより実行できます。アップロードした設定は XML ドキュメントとして保存されます。この設定ファイルを新規のタンクビジョンシステムにダウンロードすると、同じ設定を迅速に適用することができます。また、必要に応じて、アップロードした XML 設定の一部をマニュアルで変更することも可能です。これにより、各種タンクビジョン ユニットにさまざまな設定を適用することができます。


タンクビジョン設定のアップロード方法

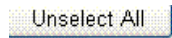
1. 「アップロード」の  をクリックします。「アップロード」ヘッダーが次のように展開されます。



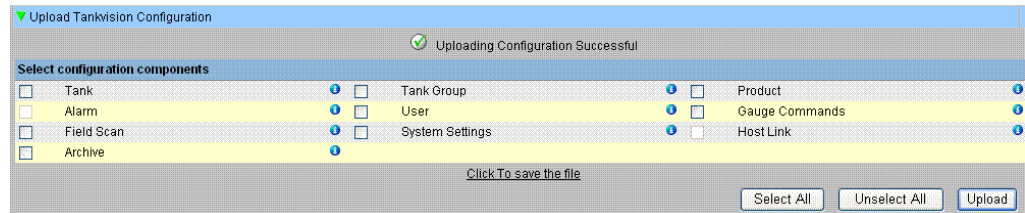
2. 「タンクビジョン設定のアップロード」の  をクリックすると、次のような画面が表示されます。



フィールド	説明
設定コンポーネント選択	適切なチェックボックスを選択して、アップロードするコンポーネントを定義します。
	「すべて選択」ボタンをクリックすると、チェックボックスがすべて選択されます。

フィールド	説明
	「すべて選択解除」ボタンをクリックすると、チェックボックスの選択がすべて解除されます。

- 適切なチェックボックスを選択して、「アップロード」ボタンをクリックします。設定が保存されると、次のような画面が表示されます。



- 「ファイルを保存するにはクリックしてください」リンクをクリックして、適切な保存場所にファイルを保存します。



#### 注意！

設定コンポーネントがアップロードされると、イベントが発生します。この情報は「イベント」または「警報とイベント」タブに表示されます。

### 12.14.3 警報ポップアップ エージェント (Win 32)

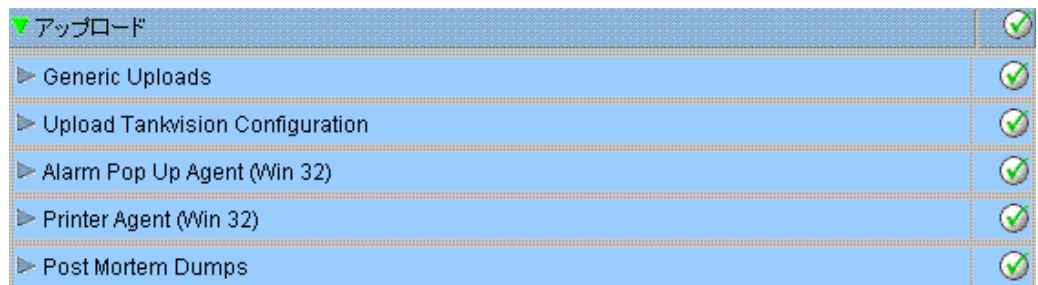
この章では以下の方法について説明します。

- ・ 警報ポップアップ エージェントのアップロード
- ・ ローカル PC とタンクビジョン サーバの関連付け
- ・ 警報ポップアップ エージェントのインストール
- ・ 警報ポップアップ エージェントのアンインストール

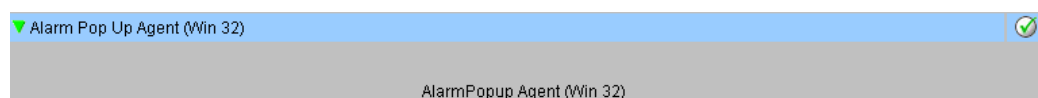
タンクビジョン システムは、タンク ファーム操作に付随する各種の警報を発生させます。警報は、タンクの測定データと演算データ、および警報設定に基づいて発生します。オペレータにとって理想的なのは、警告通知がコンピュータ画面にポップアップ ウィンドウ形式で表示されることです。

警報ポップアップ エージェントのインストール ファイルのアップロード方法

- 「アップロード」の をクリックします。「アップロード」ヘッダーが次のように展開されます。



- 「警報ポップアップ エージェント (Win 32)」の をクリックすると、次のような画面が表示されます。



3. 「警報ポップアップ エージェント (Win 32)」リンクをクリックすると、「ファイルのダウンロード」ポップアップ ウィンドウが表示されます。
4. 「保存」ボタンをクリックして、オペレータのローカル コンピュータに「AlarmPopupAgent\_win32.tar」をダウンロードします。

警報通知のインストール用としてのローカル マシンのサーバとの関連付け方法

1. コマンド プロンプトでバッチ ファイル「AlarmPopupAgentSetup.bat」を検索します。
2. コマンド プロンプトで一連のパラメータをスペースで区切って入力し、「AlarmPopupAgentSetup.bat」バッチ ファイルを実行します (例: a. APA を接続するタンクビジョン サーバの IP アドレス (例: : 10.10.16.217) と b. ポート番号 (例: 4444))。最終的なコマンドは次のようになります。AlarmPopupAgentSetup.bat 10.10.16.217 4444
3. コマンド プロンプトで「AlarmPopupAgentSetup.bat」バッチ ファイルが次のように実行されます。

```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
X:\>d:
D:\>cd manual\jeen\dc\reference\apa
D:\Manual\Jeen\DC\Reference\APA>AlarmPopupAgentSetup.bat 10.10.16.220 4444

```

4. キーボードの「Enter」キーを押します。

関連付けられたタンクビジョン サーバに対する警報ポップアップ通知のインストール方法

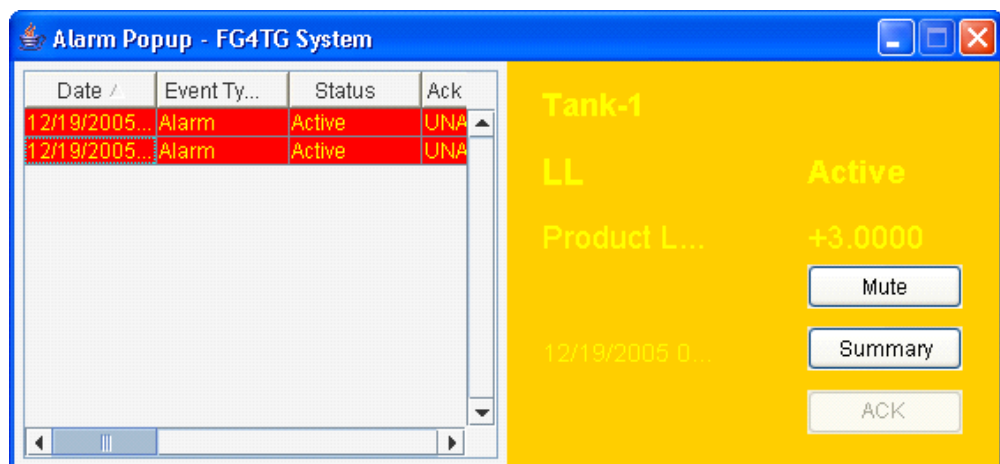
1. ネットワークでバッチ ファイル「AlarmPopupAgentInstall.bat」を検索します。
2. バッチ ファイルをダブルクリックするか、またはコマンド プロンプトからバッチ ファイルを実行します。
3. コマンド プロンプトで「AlarmPopupAgentInstall.bat」バッチ ファイルが次のように実行されます。

```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
D:\Manual\Jeen\DC\APA_new\FG4TG\dochase\bin\
wrapper ! AlarmPopupAgent installed.
D:\Manual\Jeen\DC\APA_new\FG4TG\dochase\bin\
wrapper ! Starting the AlarmPopupAgent service...

```

4. 実行されたバッチ ファイルが、Windows サービスとして警報ポップアップ エージェントをインストールします。
5. 新規の警報が発生した場合、または作動中の警報が確認待ち状態の場合、警報ポップアップ ウィンドウがトリガされます。



**注意！**  
 警報ポップアップ ウィンドウは、オペレータ PC 画面上で他のウィンドウの一番手前に継続して表示されます。警報ポップアップ ウィンドウは、すべての警報を確認しない限り、閉じたり最小化したりすることはできません。

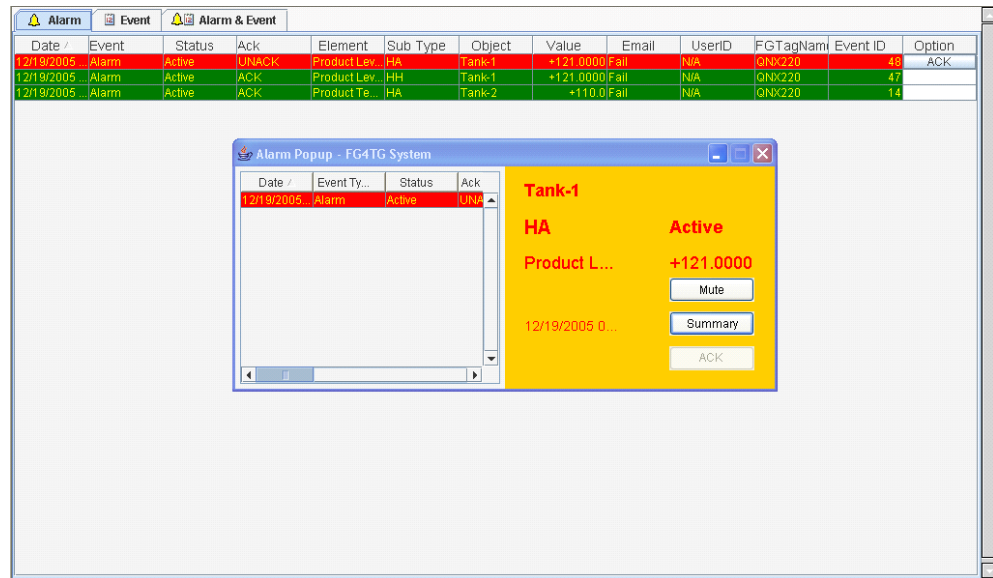
フィールド	説明
<タンク名>	このフィールドは、タンク名を表示します。
<警報タイプ>	このフィールドは、警報タイプを表示します。
<警報ステータス>	このフィールドは、警報ステータスを表示します。
<要素>	このフィールドは、タンク演算のデータ要素を表示します。
<値>	このフィールドは、対応する要素の値を表示します。
<日付>	警報の日付が表示されます。
ミュート	警報ポップアップ ウィンドウには、音声警報通知が用意されています。「ミュート」ボタンをクリックすると、この音声警報通知の音を切ることができます。

フィールド	説明
確認	「確認」 ボタンをクリックして、警報を確認します。
サマリー	警報サマリーを表示するには、「サマリー」 ボタンをクリックします。警報概要画面のサマリーから警報を確認することができます。

警報概要について

フィールド	説明
日付	この列は、警報が発生した日付と時刻を示します。
イベント タイプ	この列は、発生した警報がシステム警報かどうかを示します。
ステータス	この列は、「作動中」または「非作動」の警報ステータスを示します。 作動中の警報：警報が作動しており、オペレータが確認していない状態。 非作動の警報：警報が作動しておらず、オペレータが確認していない状態。
ステータス確認	この列は、ステータスの確認を示します。 確認：これは警報が確認されたことを示します。 未確認：これは警報がまだ確認されていないことを示します。
要素	この列は、警報をトリガしたデータ要素名を示します。 例：レベル、温度、圧力など。データ要素の値が設定値から逸脱すると、警報が発生します。
警報内容	この列は、発生した警報の重要度を示します。警報タイプは、重要度の高い警報から低い警報に分類されます。警報内容には「HH」、「HA」、「HL」、「LA」などがあります。 参照：警報内容の詳細については、「警報タイプ」の「警報内容」セクションを参照してください。
警報発生元	この列は、タンク、製品、ユーザーまたはタンクビジョン ユニットなど、警報の発生元を示します。
値	この列は、警報の発生原因となったデータ要素の測定値を、対応する測定単位とともに示します。
E-mail	この列は、設定されたメール サーバへの E-mail 送信が成功したかどうかの E-mail 配信ステータスを示します。 OK：E-mail の送信が成功したことを示します。 エラー：E-mail の送信が失敗したことを示します。
ユーザー ID	この列は、警報発生時にシステムにログインしていたユーザー名を表示します。
FG タグネーム	この列は、警報が発生したタンクビジョン ユニットのタグネームを表示します。 FG タグネームは、サーバのホスト名です。
イベント ID	この列は、警報のイベント ID を表示します。 各タンクビジョン ユニットには固有の数字の ID があります。

6. その状況が制御されていることを確認してから、警報概要リストから適切な警報詳細をクリックします。適切な警報詳細を選択後、「確認」 ボタンをクリックして警報を確認します。この確認ステータスは、すべてのタンクビジョン ユニットに伝えられます。
7. または、「サマリー」 ボタンをクリックして警報のサマリーを表示します。



8. その状況が制御されていることを確認してから、「確認」ボタンをクリックして警報を確認します。この確認ステータスは、すべてのタンクビジョンユニットに伝えられます。

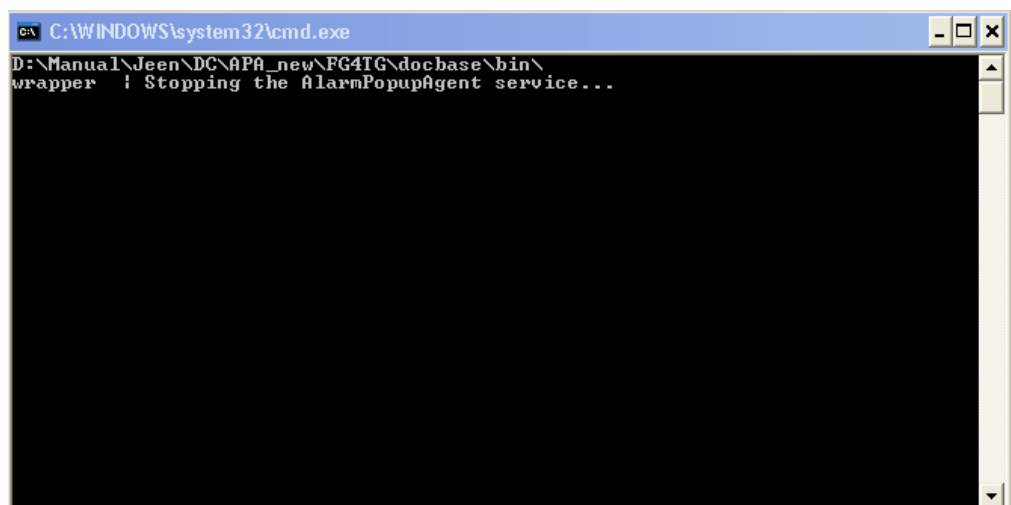


#### 注意！

- ・ 複数のユーザーが同時に警報確認を行った場合、最初に警報を確認したユーザーが記録され、その他のユーザーには「警報はすでに確認されました」というエラーメッセージが表示されます。
- ・ 警報を確認すると必ず適切なイベントが発生し、表示されます。

#### 警報ポップアップ通知のアンインストール方法

1. バッチファイル「AlarmPopupAgentUnInstall.bat」を検索します。
2. バッチファイルをダブルクリックするか、またはコマンドプロンプトからバッチファイルを実行します。
3. コマンドプロンプトで「AlarmPopupAgentUnInstall.bat」バッチファイルが次のように実行されます。





#### 12.14.4 プリンタ エージェント (Win 32)

タンクビジョン システムによって生成されたスケジュール設定のあるレポートを、人の手を介さず自動的に印刷することができます。このタスクはプリンタ エージェントにより実行されます。プリンタ エージェントはタンクビジョン システムからコンピュータへアップロードできます。

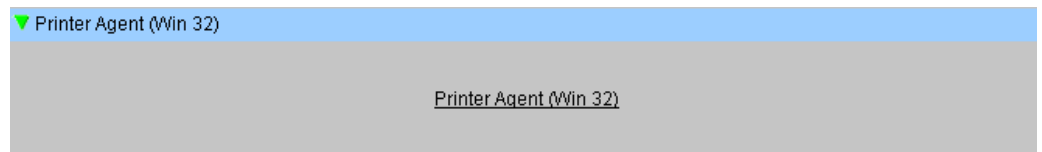


##### 注意！

プリンタ エージェントは GDI プリンタとは互換性がありません。

プリンタ エージェントのアップロード方法

1. 「アップロード」画面のポップアップ エージェント (Win 32) の をクリックします。次のような画面が表示されます。



2. 「プリンタ エージェント (Win 32)」リンクをクリックすると、「ファイルのダウンロード」ポップアップ ウィンドウが表示されます。
3. 「保存」ボタンをクリックして、オペレータのローカル コンピュータに「PrintAgent\_win32.tar」をダウンロードします。
4. これには「Printer\_Agent\_Setup\_Usage」ファイルが含まれます。このファイルに、プリンタ エージェントのインストールと使用方法の説明が記載されています。

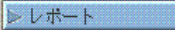
#### 12.14.5 事後分析ダンプ

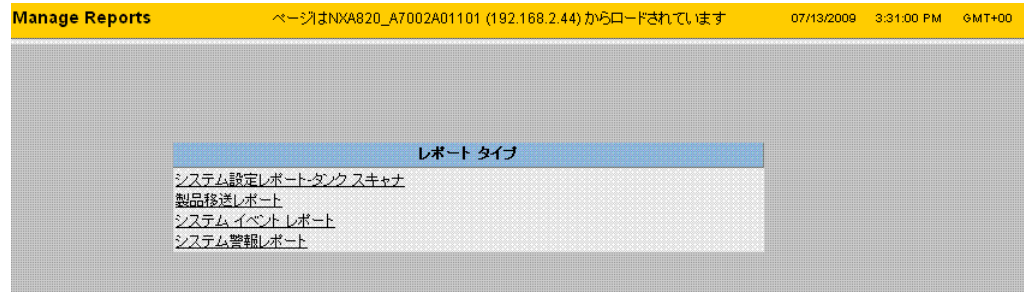
事後分析ダンプは高度なサービス作業にのみ使用するものであり、通常の操作では使用しません。

## 13 「レポート」メニュー

この章ではレポートの生成方法について説明します。

レポートの生成方法

1. ナビゲーション ツリーの  ヘッダーをクリックします。次のような画面が表示されます。



2. リストから設定するレポートのタイプを選択します。  
タンクビジョン ユニットのタイプやシステム設定に応じて、以下のレポート タイプが使用できます。
  - システム設定レポート - タンク スキャナ
  - システム設定レポート - データ コンセントレータ
  - システム設定レポート - ホストリンク
  - 製品移送レポート
  - システム イベント レポート
  - システム警報レポート
  - タンク増減レポート
  - タンク詳細レポート
  - タンク グループ詳細レポート
3. 次のページでは、レポートに含めるデータや、使用するレポート テンプレートを定義します。
4. 「送信」 ボタンをクリックします。
5. 数秒後、レポートが表示されます。

## 14 「ユーザー」メニュー

この章ではユーザーの管理方法、特に以下の方法について説明します。

- ・ ユーザーの管理
- ・ ユーザーのアクセス権限の管理

タンクビジョン システムには、不正アクセスを防ぐための認証機構が装備されています。ユーザーは固有のログイン名とパスワードで識別されます。各ユーザーの作業内容はすべて記録され、ユーザーのタイプごとに特定数のユーザーだけが同時にログインを許可されます。これは、権限を有する担当者だけがシステム設定で設定することができます。

各タンクビジョン ユニットには、ユニット内でローカルに使用するためにアクセス権限データを制限するオプションと、中央タンクビジョン ユニットでアクセス権限データを有効にし、中央タンクビジョン ユニットに設定されているすべてのユニットへのユーザーのアクセスを許可するオプションがあります。

### 14.1 ユーザー管理

「ユーザー管理」画面は、タンクビジョン システム内の全ユーザーのリストを表示します。これは、権限を有する担当者がタンクビジョン システムへのアクセス権限を変更するときに必要なインターフェイスを提供するものです。特に以下のような作業に使用します。

- ・ 新規ユーザーの追加
- ・ ユーザー詳細の変更
- ・ 既存ユーザーの削除

ユーザー管理画面の表示方法

1. ナビゲーション ツリーの「ユーザー」ヘッダーをクリックします（設定されているユーザー数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。

\* 画面 V.1. 「8. ユーザー管理画面」参照



フィールド	説明
ユーザー表示	「ユーザー表示」タブはユーザーのリストを表示します。
グループ権限	「グループ権限」タブは各ユーザーに付与されているアクセス権限の詳細を表示します。
<input type="button" value="追加"/>	「追加」ボタンをクリックすると、新規ユーザーを追加できます。
<input type="button" value="変更"/>	「変更」ボタンをクリックすると、ユーザー詳細を変更できます。
<input type="button" value="削除"/>	「削除」ボタンをクリックすると、ユーザーを削除できます。

#### 14.1.1 新規ユーザーの追加

タンクビジョン システムは、ユーザー タイプを階層的に設定し、システムへの安全なアクセスを提供します。タンクビジョン システムでは、特定のユーザー タイプ権限を持つ新規ユーザーを追加することが可能です。

新規ユーザーの追加方法

1. 「追加」ボタンをクリックします。次のような画面が表示されます。

ユーザー管理 - ユーザー詳細 - 追加

ユーザー追加	
ユーザー ログイン名: *	<input type="text"/>
ユーザー氏名: *	<input type="text"/>
パスワード: *	<input type="password"/>
パスワード確認: *	<input type="password"/>
ユーザー タイプ: *	-----[選択]-----
E-Mail アドレス:	<input type="text"/>
リモート ログイン許可:	<input type="checkbox"/>

送信    キャンセル

フィールド	説明
ユーザー ログイン名	ユーザー ログイン名を入力します。 データ型は英数字型で、大文字と小文字が区別されます。
ユーザー氏名	ユーザーのフルネームを入力します。 このフィールドは、テキスト形式のデータを表示します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。 データ型は英数字型で、大文字と小文字が区別されます。 パスワード文字数は 3 ~ 8 文字です。このフィールド内の文字はすべて安全上の理由から表示されません。
パスワード確認	確認のためパスワードを再入力します。
ユーザー タイプ	ドロップダウン リストから適切なユーザー タイプを選択します。 ユーザー タイプは、ユーザーの指定によって事前に定義されています。これは、タンクビジョン システムに対するアクセス権限に応じてユーザーをグループ化するときに表示されます。
E-Mail アドレス	ユーザーの E-mail アドレスを入力します。 この E-mail アドレスにすべてのシステム警報が通知されます。
リモート ログイン許可	リモート ログインする場合は、このチェックボックスを選択します。 このフィールドにより、ファイアウォールを越え、インターネットや低速接続を介してタンクビジョン システムにログインすることが可能になります。

2. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
3. 「送信」ボタンをクリックしてユーザー詳細を保存するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

#### 注意！

新規ユーザーを追加すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

### 14.1.2 既存ユーザー「詳細」の変更

このセクションでは、既存ユーザー「詳細」の変更方法について説明します。

#### 既存ユーザー詳細の変更方法

1. ユーザー リスト表示で適切なユーザー ID オプションを選択します。
2. 「変更」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。


ユーザー管理 - ユーザー詳細 - 変更

ユーザー ID: SUPER

ユーザー氏名:	Supervisor	?
パスワード:	●●●●	?
パスワード確認:	●●●●	?
ユーザータイプ:	2] 管理者	?
E-Mail アドレス:		?
リモート ログイン許可:	<input type="checkbox"/>	?

送信    キャンセル

フィールド	説明
ユーザー氏名	ユーザーのフルネームを入力します。 このフィールドは、テキスト形式のデータを表示します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。 データ型は英数字型で、大文字と小文字が区別されます。 パスワード文字数は 3 ~ 8 文字です。このフィールド内の文字はすべて安全上の理由から表示されません。
パスワード 確認	確認のためパスワードを再入力します。
ユーザー タイプ	ドロップダウン リストから適切なユーザー タイプを選択します。 ユーザー タイプは、ユーザーの指定によって事前に定義されています。これは、タンクビジョン システムに対するアクセス権限に応じてユーザーをグループ化するとき使用されます。
E-Mail アドレス	E-mail アドレスを入力します。 この E-mail アドレスにすべてのシステム警報が通知されます。
リモート ログイン許可	リモート ログインする場合は、このチェックボックスを選択します。 このフィールドにより、ファイアウォールを越え、インターネットや低速接続を介してタンクビジョン システムにログインすることが可能になります。

3. または、ナビゲーション ツリーの「ユーザー」ヘッダーをクリックしてから、「ユーザー」ノード横の  をクリックすると、「ユーザー」ノードが展開し、ユーザー リストが表示されます。適切なユーザーをクリックして、ユーザー詳細を変更します。上のような「ユーザー管理 - ユーザー詳細 - 変更」画面が表示されます。
4. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
5. 「送信」ボタンをクリックしてユーザー詳細を変更するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
6. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

**注意！**

ユーザー詳細の変更を行うと、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

**14.1.3 既存ユーザーの削除**

このセクションでは、既存ユーザーのログイン情報を削除することにより、有効なまたは登録されたユーザー名やパスワードを持たないユーザーのアクセスを拒否することが可能です。

**既存ユーザーの削除方法**

1. ユーザー リスト表示で適切なユーザー ID オプションを選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックすると、次のようなダイアログ ボックスが表示されます。



3. 「OK」ボタンをクリックしてユーザーを削除するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
4. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

**注意！**  
ユーザーを削除すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。

## 14.2 ユーザー アクセス権限の管理

タンクビジョン システムには、事前定義されたユーザー グループ アクセス権限があり、ユーザー アクセス権限の管理に使用することができます。各ユーザーは、そのプロフィールに応じて社内の特定のユーザー グループに分けられます。各自が利用できるシステム機能は、属するユーザー グループが使用できる機能に制限されます。

ユーザー アクセス権限の管理方法

1. ナビゲーション ツリーの「ユーザー」ヘッダーをクリックします（設定されたユーザー数がヘッダー名の後のカッコ内に表示されます）。次のような画面が表示されます。

\* 画面 V.1. 「9. グループ権限画面」参照



2. 「ユーザー管理」画面の「グループ権限」タブをクリックすると、次のような「ユーザー管理 - グループ アクセス権限」画面が表示されます。



フィールド	説明
ログインの必要性	タンクビジョン システムへのアクセス時にログインを要求されるよう設定する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、ログインせずにタンクビジョン システムのあらゆる機能にアクセスできます。このフィールドは、タンクビジョンの機能へのアクセス時にログインする必要があるかないかを示します。
ゲスト ログインの必要性	タンクビジョン システムへのアクセス時にゲスト ユーザーがログインを要求されるよう設定する場合は、このチェックボックスを選択します。チェックボックスの選択を解除すると、ゲスト ユーザーはゲストが使用できる機能にのみアクセスできます。このフィールドは、タンクビジョンの機能へのアクセス時に第三者またはゲスト ユーザーがシステムにログインする必要性があるかないかを示します。

列	説明
データ要素	この列は、特定のユーザー グループのみがアクセスできるデータ要素のリストを示します。このデータ要素にアクセスするためには、有効なアクセス権限を有するユーザー（例えば、管理者 / エンジニア）が、ユーザー グループにアクセス権限を割当てする必要があります。
オペレータ	オペレータは、タンク ファームにおける日常的な操作を実行し、更新されたデータや警報通知を表示することができます。オペレータ グループの当該データ要素へのアクセスを可能にするには、適切なチェックボックスを選択します。
管理者	管理者は、タンクビジョン システムの設定と保守を行います。管理者は、更新されたデータや警報通知を表示することができます。管理者グループの当該データ要素へのアクセスを可能にするには、適切なチェックボックスを選択します。
エンジニア	エンジニアは、タンクビジョン システムのセットアップと設定を行うエンドレスハウザーのサービス要員です。エンジニア グループの特定データ要素へのアクセスを可能にするには、適切なチェックボックスを選択します。

データ要素	説明
ファイル アクセス	ファイルのアップロードまたはダウンロード（例：ファームウェアまたはウェブ ページのテンプレート）のためのアクセス
設定アクセス	設定変更のためのアクセス
タンク グループ設定変更	スタティックおよびダイナミック タンク グループのタンク グループ設定の追加、変更、および削除が可能
警報設定変更	警報設定の作成、変更、および削除が可能
警報確認許可	作動中の警報の確認が可能
タンク操作許可	タンク ステータスや製品内容の変更、マニュアル データ入力操作が可能
製品設定変更	製品の作成、変更、および削除が可能
製品移送実行	製品移動の準備、開始、および停止が可能
ゲージ コマンド実行	ゲージ コマンドの発行、中止、およびスケジュール設定が可能
ユーザー設定変更	ユーザーの追加と削除、アクセス権限の変更が可能
リアルタイムトレンドとヒストリカルトレンドの表示およびトレンド パラメータの変更	リアルタイムトレンドとヒストリカルトレンドの設定、開始と停止が可能

3. または、ナビゲーション ツリーの「ユーザー」ヘッダーをクリックしてから「ユーザー アクセス権限」をクリックすると、上の「ユーザー管理 - グループ アクセス権限」画面が表示されます。
4. 該当するフィールドに適切な情報を入力します。
5. 「送信」ボタンをクリックしてグループ アクセス権限を保存するか、または「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。
6. 「初期設定」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
7. 設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

#### 注意！

ユーザー アクセス権限を変更すると、イベントが発生します。イベント詳細は「イベント」または「警報とイベント」概要に表示されます。



## 15 警報とイベント パネル

### 15.1 警報とイベント パネルの概要

タンクビジョン システムの警報とイベント パネルには、発生した警報とイベントの概要が表示されます。このインターフェイスには3つのセクションがあります。

- ・ 警報サマリー
- ・ イベント サマリー
- ・ 警報とイベント サマリー

また、ローカル コンピュータに警報ポップアップ アプリケーションがインストールされている場合は、メッセージがポップアップ表示されます。

#### 15.1.1 警報サマリー

##### 警報

警報とは、タンク機能またはタンク要素に関する状況です。この状況はユーザーに伝達する必要があります。ユーザーは画面に表示される危機警報に基づいて必要な処置を行うことができます。警報の状況は、有効なアクセス権限を有するユーザー（例えば、管理者 / エンジニア）により、タンクやタンク要素を設定する際に事前定義されます。タンクビジョン システムは、測定データ、演算されたタンク データ、および警報設定に基づいて各種の警報を発するように設定されます。測定データおよび演算データは継続的にモニタされ、ホールドオフ時間や設定値などの事前設定された警報状況と比較されます。測定データの値が設定値から逸脱し、ホールドオフ時間以上の期間逸脱状態にあった場合、該当する警報が発生します。警報は、各ユニットの「警報」概要タブに表示されます。オペレータは、コンピュータ画面にポップアップ ウィンドウ形式で表示される警報通知を受け取ります。

##### 警報サマリーの表示方法

1. 「警報」タブをクリックします。次のような「警報」情報が表示されます。

日付	イベント	ステータス	ステータス...	要素	警報内容	警報発生元	値	E-mail	ユーザーID	FG タグ	イベントID	オプション
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	6	OK
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HH	Tank-4	+17,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	5	OK
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HL	Tank-2	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	4	OK
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HH	Tank-3	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	3	OK
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-2	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	2	OK

フィールド	説明
日付	この列は、警報が発生した日付と時刻を示します。
イベント タイプ	この列は、発生した警報がシステム警報かどうかを示します。
ステータス	この列は、「作動中」または「非作動」の警報ステータスを示します。 作動中の警報：警報が作動しており、オペレータが確認していない。 非作動の警報：警報が作動しておらず、オペレータが確認していない。
ステータス確認	この列は、オペレータが警報を確認したかどうかを示します。 確認：警報は確認済み。 未確認：警報は未確認。
要素	この列は、警報をトリガしたデータ要素名を示します。例：レベル、温度、圧力など。データ要素の値が設定値から逸脱すると、警報が発生します。
警報内容	この列は、発生した警報の重要度を示します。警報タイプは、重要度の高い警報から低い警報までに分類されます。例えば、警報内容には「HH」、「HL」、「LA」などがあります。
警報発生元	この列は、タンク、製品、ユーザーまたはタンクビジョン ユニットなど、警報の発生元を示します。
値	この列は、警報の発生原因となったデータ要素の測定値を、対応する測定単位とともに示します。
E-mail	この列は、設定されたメール サーバへの E-mail 送信が成功したかどうかの E-mail 配信ステータスを示します。 OK：E-mail の送信成功。 エラー：E-mail の送信失敗。

フィールド	説明
ユーザー ID	この列は、警報発生時にログインしていたユーザーの名前を示します。
FG タグネーム	この列は、警報が発生したタンクビジョン ユニットのタグネームを示します。FG タグネームは、サーバのホスト名です。
イベント ID	この列は、警報のイベント ID を示します。各タンクビジョン ユニットには固有の数字の ID があります。
オプション	この列では、必要に応じてユーザーが警報を確認することができます。特定の状況が制御されていることを確認してから警報確認を実行することができます。この確認ステータスはすべてのタンクビジョン ユニットに伝えられます。 確認：「確認」ボタンは警報確認が必要な場合に表示されます。すでに警報の確認が済んでいる場合は、空白のフィールドが表示されます。 参照：「警報タイプ」(164 ページ) および「警報色機構」(165 ページ) を参照してください。

**注意！**

警報を確認すると必ず、適切なイベントが発生し、表示されます。

**15.1.2 イベント サマリー**

## イベント

警報とは別に、タンクビジョン システムは各種の「システム イベント」を発生させます。システム イベントは、システム状態の変更やユーザーが行った特定の処置に対して発生します。警報とは異なり、イベントは確認する必要はありません。システム イベントの例には、設定変更、フィールドスキャン開始、フィールドスキャン停止、警報確認などがあります。

## イベント サマリーの表示方法

- 「イベント」タブをクリックします。次のような「イベント」情報が表示されます。

日付	イベントタイプ	警報発生元	E-mail	ユーザー ID	FG タグネーム	イベント ID
07/13/2009 11:10:42 AM	設定変更	Diesel	未設定	なし	NXA820_A7002A01101	43
07/13/2009 11:10:14 AM	設定変更	Alcohol	未設定	なし	NXA820_A7002A01101	42
07/13/2009 11:09:59 AM	設定変更	Alcohol	未設定	なし	NXA820_A7002A01101	41
07/09/2009 02:11:48 PM	資料確認	Tank-3	未設定	なし	NXA820_A7002A01101	40
07/09/2009 02:11:41 PM	手動変更	Tank-4	未設定	なし	NXA820_A7002A01101	39

フィールド	説明
日付	この列は、警報が発生した日付と時刻を示します。
イベント タイプ	この列は、発生した警報がシステムの不具合による警報か、システム設定の変更によるものかを示します。
警報発生元	この列は、タンク、製品、ユーザーまたはタンクビジョン ユニットなど、警報の発生元を示します。
E-mail	この列は、設定されたメール サーバへの E-mail 送信が成功したかどうかの E-mail 配信ステータスを示します。 OK：E-mail の送信成功。 エラー：E-mail の送信失敗。
ユーザー ID	この列は、ユーザーのログイン名を示します。
FG タグネーム	この列は、イベントまたは警報が発生したタンクビジョン ユニットのタグネームを示します。FG タグネームは、サーバのホスト名です。
イベント ID	この列は、関係するタンクビジョン ユニットの識別番号 (ID) を示します。各タンクビジョン ユニットには固有の数字の ID があります。

### 15.1.3 警報とイベント サマリー

発生した警報とイベントのリストは同じウィンドウに表示することができます。属性が特定の警報やイベントに関係ない場合、その属性項目に対する入力値は「なし」となります。

警報とイベント サマリーの表示方法

1. 「警報 & イベント」タブをクリックします。次のような「警報 & イベント」情報が表示されます。

日付	イベント...	ステータス	ステータス...	要緊	警報内容	警報発生元	値	E-mail	ユーザーID	FG タブネ...	イベントID	オプション
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17.000 m未設定	なし		NXA820_A700	6	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HH	Tank-4	+17.000 m未設定	なし		NXA820_A700	5	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-3	+19.000 m未設定	なし		NXA820_A700	4	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HH	Tank-3	+19.000 m未設定	なし		NXA820_A700	3	DD
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-2	+19.000 m未設定	なし		NXA820_A700	2	DD

警報とイベント サマリー画面の属性については、「警報サマリー」を参照してください（上記参照）。

## 15.2 警報タイプ

警報内容：

タンクビジョン システムは、製品レベル、温度、圧力などのデータ要素の値に応じて、これらを設定値と比較して、各種の警報タイプを発します。各種の警報タイプについては、以下の表を参照してください。

警報内容	説明	作動条件
HH	HH 警報	データ要素の値が HH 設定値を上回り、警報のホールドオフ時間以上の期間そのままであった場合。 予め設定された次の設定値からデータ要素が逸脱した場合、警報が作動します。 製品レベル、温度、圧力、密度、製品第 2 レベル、水レベル、ペーパー圧力、ペーパー温度。
HA	H 警報	データ要素の値が HA 設定値を上回り、警報のホールドオフ時間以上の期間そのままであった場合。 この警報内容は HH と似ていますが、HH より重要度が低くなっています。 HA 設定値は、HH 設定値より低くなります。
LA	L 警報	データ要素の値が LA 設定値を下回り、警報のホールドオフ時間以上の期間そのままであった場合。
LL	LL 警報	データ要素の値が LL 設定値を下回り、警報のホールドオフ時間以上の期間そのままであった場合。 この警報内容は LA と似ていますが、LA より重要度が高くなっています。 LL 設定値は、LA 設定値より低くなります。
CH	CA 警報変更	データ要素レベルの変更レートが CH 設定値を上回って増加し、警報のホールドオフ時間以上の期間上回ったままであった場合。 この警報は、タンクが「ロック」ステータスの場合のみ発生します (63 ページ参照)。
DF	DF 差分警報	製品レベルと製品第 2 レベルの差の絶対値が DF 設定値を上回って増加し、警報のホールドオフ時間以上の期間そのままであった場合。
FL	エラー警報	ゲージから受信したゲージステータスがゲージエラーを示した場合。
CO	ゲージ通信エラー警報	タイムアウト エラーによりゲージとの通信が失敗した場合。
TO	タイムアウト / エイジ警報	ゲージから受信したデータが古すぎた場合。

### 15.3 警報色機構

タンクビジョン システムは、次の図に示すように警報の重要度を異なるテキスト色と背景色でハイライト表示して区別します。

日付	イベント	ステータス	ステータス	警報	警報内容	警報発生元	値	E-mail	ユーザーID	FG タグ名	イベントID	オプション
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17,000 m未設定	なし		NXA820_A700	6	□□
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17,000 m未設定	なし		NXA820_A700	5	□□
07/09/2009 02	警報	作動中	確認	製品レベル	HA	Tank-3	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700	4	□□
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-3	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700	3	□□
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-2	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700	2	□□

背景色	テキスト色	内容
濃緑色	薄黄色	作動し、確認済みの警報
薄赤色	薄黄色	作動し、未確認の警報
黄色	赤色	非作動で、未確認の警報
白色	黒色	非作動で、確認済みの警報

## 15.4 警報の確認

警報の重要な側面の1つに警報確認があります。警報が確認されない限り、関連するデータが設定値を再度逸脱しても新規の警報は発生しません。そのため、同じタイプの新規警報が発生するのは、現在の警報が非作動になり、ユーザーが確認した後に限られます。警報確認により、確実にオペレータに対して警報状況に関する注意を促すことができます。警報は、ユーザー インターフェイスの警報とイベントパネルに表示される警報サマリーまたはポップアップ エージェント、あるいはタンクビジョン システムに接続されたホスト システムから確認することができます。

### 警報の確認方法

1. オプション列の「確認」ボタンをクリックします。

日付	イベント	ステータス	ステータス...	要緊	警報内容	警報発生元	値	E-mail	ユーザー ID	FG タグネ...	イベント ID	オプション
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	6	□
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-4	+17,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	5	□
07/09/2009 02	警報	作動中	確認	製品レベル	HA	Tank-2	+12,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	4	□
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-3	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	3	□
07/09/2009 02	警報	作動中	未確認	製品レベル	HA	Tank-2	+19,000 m未設定	なし		NXA820_A700...	2	□

### 注意！

数のユーザーが同時に警報確認を行った場合、最初に警報を確認したユーザーが記録され、その他のユーザーには「警報はすでに確認されました」というエラー メッセージが表示されます。

### エラー メッセージ

1. 「警報確認のためのアクセス権がありません！」  
警報確認の権限がない場合、このメッセージが表示されます。有効なアクセス権限を有するユーザー（例えば、管理者 / エンジニア）だけが警報を確認できます。

## 16 別のグローバル設定

この章では以下の方法について説明します。

### ・別のタンクビジョン ユニットのグローバル設定の表示と設定

タンクビジョン システムは、NXA820、NXA821、NXA822 といった各種のタンクビジョン サブシステムで構成されます。各サブシステムには特定の機能があります。

ドメイン ネットワーク内の各種のタンクビジョン ユニットが表示されます。このシステムでは、別のタンクビジョン ユニットを表示することができます。また、権限があれば、別のタンクビジョン ユニットのグローバル設定を変更することもできます。

### 別のタンクビジョン ユニットのグローバル設定の表示と設定方法

1. ナビゲーション ツリーの **システム** ヘッダーをクリックします。「システム」ヘッダーが次のように展開されます。

\* 画面 V.1. 「システム - ナビゲーションツリー」参照



2. 上の図は〈タンクビジョン サブシステム〉、つまりタンク スキャン ユニット (NXA820)、データ コンセントレータ (NXA821) およびホストリンク (NXA822) を示しています。タンク スキャン ユニット、データ コンセントレータとホストリンクは、そのドメイン ネットワーク内のすべての NXA820、NXA821、NXA822 ユニットそれぞれから成ります。
3. 〈タンクビジョン サブシステム〉の前 **▶** をクリックすると、次のような画面が表示されます。



4. 〈ユニット名〉をクリックすると、次のようなくユニット名〉のグローバル設定画面が表示されます。

Date	Event	Status	Ack St.	Element	Sub Ty...	Object	Value	Email	UserID	FG Ta...	Event ID	Option
03/17/200...	Alarm	Active	ACK	Product L...	HA	T-101	+27.500 m	Not Conf...	N/A	MSBTEST	8	
03/17/200...	Alarm	Active	ACK	Product L...	HH	T-101	+27.500 m	Not Conf...	N/A	MSBTEST	7	
03/10/200...	Alarm	Active	ACK	N/A	CO	T-109	0	Not Conf...	N/A	MSBTEST	6	
02/04/200...	Alarm	Active	ACK	N/A	CO	Tank-10	0	Not Conf...	N/A	localhost	1	

5. グローバル設定は表示、編集することができます。

注意！

グローバル設定を編集すると、イベントが発生します。イベント詳細は、編集したその特定のタンクビジョンユニットの「イベント」または「警報 & イベント」タブに表示されます。



●機器調整（新規調整、再調整、故障）不適合に関するお問い合わせ  
サービス部ヘルプデスク課

〒183-0036 府中市日新町 5-70-3  
Tel. 042(314)1919 Fax. 042(314)1941

■仙台サービス

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 2-5-12 今野ビル  
Tel. 022(265)2262 Fax. 022(265)8678

■新潟サービス

〒950-0923 新潟市中央区姥ヶ山 4-11-18  
Tel. 025(286)5905 Fax. 025(286)5906

■千葉サービス

〒290-0054 千葉県原市五井中央東 1-15-24 斉藤ビル  
Tel. 0436(23)4601 Fax. 0436(21)9364

■東京サービス

〒183-0036 府中市日新町 5-70-3  
Tel. 042(314)1912 Fax. 042(314)1941

■横浜サービス

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川 2-8-8 第1川島ビル  
Tel. 045(441)5701 Fax. 045(441)5702

■名古屋サービス

〒463-0088 名古屋市守山区鳥神町 88  
Tel. 052(795)0221 Fax. 052(795)0440

■大阪サービス

〒564-0042 吹田市穂波町 26-4  
Tel. 06(6389)8511 Fax. 06(6389)8182

■水島サービス

〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-5-5  
Tel. 086(445)0611 Fax. 086(448)1464

■徳山サービス

〒746-0028 山口県周南市鼓海 2-118-46  
Tel. 0834(25)6231 Fax. 0834(25)6232

■小倉サービス

〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町 3-7-6  
Tel. 093(963)2822 Fax. 093(963)2832

■計量器製造業登録工場 ■特定建設業認定工場許可（電気工事業、電気通信工事業）

Endress+Hauser 

People for Process Automation